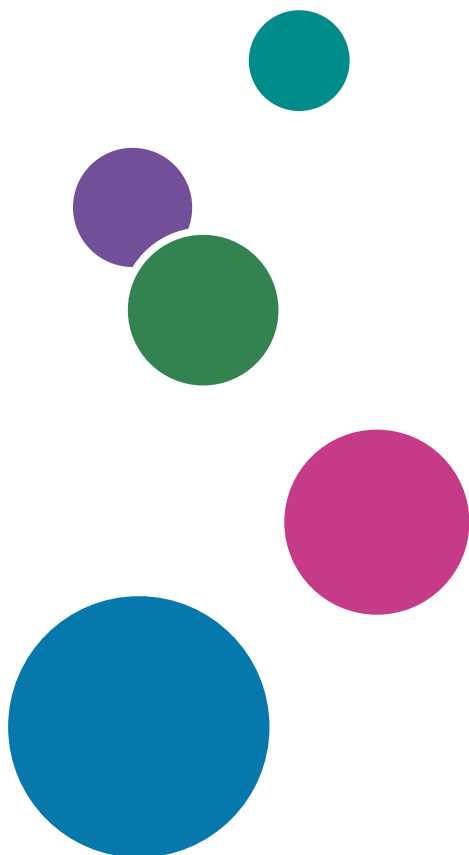




## ユーザーガイド

本機の概要	1
本機の基本操作	2
かんたん色調整	3
色見本合わせ	4
管理コンソール	5
カスタム測色	6
こまったときには	7

本書に記載されていない情報については、製品のヘルプ・システムを参照してください。





---

# はじめに

---

## 本機のマニュアル

---

RICOH Auto Color Adjusterに関する追加情報は、他のマニュアルにも記載されています。

### 使用説明書

本機には以下の使用説明書が付属されています。

- 「RICOH Auto Color Adjuster：安全上のご注意」  
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項、各規制や環境対応について説明しています。本機のご利用前に必ずお読みください。
- 「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」  
アプリケーションのインストールや、本機のご利用前に必要な各種設定について説明しています。本機のご利用前に必ずお読みください。
- 「RICOH Auto Color Adjuster：ユーザーガイド」  
本機の機能と各機能の操作方法について説明しています。また、エラーメッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。
- 「RICOH Auto Color Adjuster：クイックガイド」  
本機の基本的な使いかた、よく使用する機能について説明しています。また、エラーメッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。
- RICOH Auto Color Adjusterリリースノート  
新機能やアップデート、既知の制限、問題、回避策、コード変更要求など、RICOH Auto Color Adjusterリリースに関する情報が記載されています。

使用説明書は英語、日本語、オランダ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語で提供されています。リリースノートは英語版のみ提供されています。

使用説明書は、[RICOH Software Information Center \(https://help.ricohsoftware.com/swinfocenter/\)](https://help.ricohsoftware.com/swinfocenter/) または製品内のヘルプメニューからダウンロードできます。

### RICOH Auto Color Adjuster Information Center

Information Center には、管理者、監督者、およびオペレーターがRICOH Auto Color Adjuster について学び、インストールし、使用するのに役立つトピックが含まれています。Information Centerにはクイックナビゲーションと検索機能が提供されています。

### RICOH Auto Color Adjusterヘルプ

ヘルプシステムには、管理者、監督者、およびオペレーターがRICOH Auto Color Adjuster について学び、使用するのに役立つトピックが含まれています。RICOH Auto Color Adjusterヘルプは、アプリケーションのユーザーインターフェースとWebのユーザーインターフェースの両方から利用できます。

---

## 使用説明書に使用されているマークの意味

---

本書で使われているマークには次のような意味があります。



重要

本機をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。また、用紙の給紙エラーや原稿の破損、データの消失につながる可能性のある項目について、問題を引き起こしている可能性が高い原因も説明しています。



補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。



注意

指示に従わない場合、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

[太字]

角括弧の [太字] はキー、メニュー、メニュー項目、フィールドラベル、設定、ボタンの名称を示します。

[]

大括弧は、キー、メニュー、メニュー項目、フィールドラベル、設定、ボタンの名前を示します。

斜体

イタリック体は、ユーザー独自の情報に置き換える変数を示します。

等幅フォント

等幅フォントは、コンピューターの入出力やファイル名を示します。

---

## 本書で使用されている略語

---

A

アンペア

APPE

Adobe PDF印刷エンジン

AVE

平均

C

摂氏

C

シアン

CCW

反時計方向

CGATS

グラフィックアート技術基準委員会

CMY

シアン、マゼンタ、イエロー

CMYK

---

シアン、マゼンタ、イエロー、キー（ブラック）

**CPSI**

構成可能なPostScriptインタープリター

**CSV**

カンマ区切りの値

**CW**

時計方向

**dB**

デシベル

**dB (A)**

加重デシベル

**DFE**

デジタルフロントエンド

**F**

華氏

**g**

グラム

**GPL**

一般公衆ライセンス

**g/m<sup>2</sup>**

1平方メートルあたりのグラム

**HTTPS**

ハイパーテキスト転送プロトコル

**Hz**

ヘルツ

**ID**

識別子

**ICC**

インターナショナルカラーコンソーシアム

**IP**

インターネットプロトコル

**ISO**

国際標準化機関

**K**

---

ブラック

**kg**

キログラム

**lb**

ポンド

**M**

マゼンタ

**m**

メートル

**mm**

ミリメートル

**MAX**

最大

**NG**

不良

**nm**

ナノメートル

**PDF**

ポータブル文書形式

**PDF/X**

ポータブル文書形式 / レベルX

**REST**

レプリゼンテーションステイトトランスファー

**RIP**

ラスター画像処理装置

**RGB**

レッドグリーンブルー

**SSL**

セキュアソケット層

**TIF**

タグ付き画像ファイル

**TIFF**

タグ付き画像ファイル形式

**TXT**

---

テキスト

## USB

ユニバーサルシリアルバス

## UTF-8

8ビットユニコード変換フォーマット

## V

ボルト

## W

ワット

## Y

イエロー

---

## おことわり

---

本製品の故障による損害、文書やデータの消失による損害、その他本製品および使用説明書の使用または使用不能により生じた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

大切な文書やデータは、コピー（複製）をとってください。お客様が操作をミスした場合は、あるいは本製品に異常が生じた場合は、文書やデータが消失することがあります。また、コンピューターウイルス、ワーム、その他の有害なソフトウェア等に対する予防措置は、お客様の責任で講じてください。

お客様が本製品を使用して作成した文書やデータを運用した結果については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

---

## 本書についてのご注意

---

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品の改良または変更により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- お住まいの国によって、特定のユニットはオプションになります。詳しくは、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

---

## 商標

---

Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Apache、Tomcat は、Apache Software Foundation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Command WorkStation、Fiery、Fieryロゴ、EFIロゴは、Electronics For Imaging, Inc.の米国およびその他の国における商標です。

FOGRAはFOGRA Forschungsgesellschaft Druck e.V.の登録商標です。

Google Chromeは、Google LLCの商標です。

GRACoL®はIdeallianceの登録著作権です。

Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Visual C++、BitLockerは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows 10 の製品名は以下のとおりです。

- Microsoft® Windows® 10 Home
- Microsoft® Windows® 10 Pro
- Microsoft® Windows® 10 Enterprise
- Microsoft® Windows® 10 Education
- Microsoft® Windows® 10 Mobile
- Microsoft® Windows® 10 Mobile Enterprise

Windows 11 の製品名は以下のとおりです。

- Microsoft® Windows® 11 Home
- Microsoft® Windows® 11 Pro
- Microsoft® Windows® 11 Pro Education
- Microsoft® Windows® 11 Pro for Workstations
- Microsoft® Windows® 11 Enterprise
- Microsoft® Windows® 11 Education

Japan Color及びジャパンカラーは一般社団法人日本印刷学会と一般社団法人日本印刷産業機械工業会の商標登録です。

本書に記載されているその他の製品名は、識別のためにのみ使用されており、各社の商標である場合があります。当社では、このような商標に関する一切の権利を否認します。

Microsoft Corporationのガイドラインに従ってMicrosoft社製品の画面写真を使用しています。



---

## お問い合わせ

---

### 故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。

修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介します。

<https://www.ricoh.co.jp/support/repair/>

### 本製品に関する仕様・操作・修理のお問い合わせ

RICOH GC サポートデスク

0120-237-615

- 受付時間  
平日 / 9～17 時（修理受付のみ 9:00～17:30）  
土曜 / 9～17 時（修理受付のみ。日、祝祭日及び弊社休業日は除く）
- 土曜日は、修理のみ受付させていただきます。
- お問い合わせの際、機番を確認させていただきます。ご協力お願いいたします。
- 対応状況の確認と対応品質向上のため、録音させて頂いております。
- 弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

### Web でのお問い合わせ

ホームページからもお問い合わせ、修理のお申し込み・ご相談を承っております。

<https://www.ricoh.co.jp/contact/product.html>





# 目次

## はじめに

---

本機のマニュアル.....	1
使用説明書に使用されているマークの意味.....	2
本書で使用されている略語.....	2
おことわり.....	5
本書についてのご注意.....	5
商標.....	6
お問い合わせ.....	7

## 1 本機の概要

---

本機でできること.....	13
機器構成.....	13
コンピューターの使用環境.....	14
本体各部の名称.....	15
前面（左側）.....	15
前面（右側）.....	16
背面（左側）.....	17
仕様.....	18

## 2 本機の基本操作

---

本機の電源を入れる/切る.....	19
本機の電源を入れる.....	19
本機の電源を切る.....	20
RICOH Auto Color Adjuster アプリケーションを使用する.....	21
RICOH Auto Color Adjusterのメニュー画面を表示する.....	22
Webブラウザで管理コンソールを起動する.....	24
原稿/チャートを使用する.....	26
使用できる用紙のサイズと厚さ.....	26
給紙トレイに原稿/チャートをセットする.....	27

## 3 かんたん色調整

---

[かんたん色調整] の流れ.....	31
色調整.....	31
色判定.....	32
色調整と色判定を実行するとき.....	32
[kanたん色調整] 画面の使いかた.....	33
チャートの種類.....	34
プロフィール登録時の注意事項.....	35

---

かんたん色調整を実行する	36
色調整を実行する	37
色判定を実行する	44
こまったときには（かんたん色調整）	51
メッセージが表示されたとき（かんたん色調整）	51
【色判定結果】で【NG】が多発する	56

#### 4 色見本合わせ

---

色見本合わせの流れ	59
【色見本合わせ】画面の使いかた	60
色見本合わせに対応している原稿データ形式	62
色見本合わせを実行する	63
色見本合わせのデータを準備する	64
色合わせをしてプロファイルを作成する	69
応用	75
複数ページの原稿データを使用する	75
領域と向きを指定する	77
こまったときには（色見本合わせ）	80
メッセージが表示されたとき（色見本合わせ）	81
色再現性の品質を高くする	82

#### 5 管理コンソール

---

管理コンソールの流れ	85
管理コンソールで色調整結果を確認する	85
管理コンソール画面の使いかた	86
色の経時変化を確認する	88
こまったときには（管理コンソール）	92

#### 6 カスタム測色

---

カスタム測色の流れ	95
カスタム測色画面の画面構成	95
カスタム測色機能を使用する	97
測色用チャートの種類	97
新しい測色用チャートを登録する	97
測色用チャートを確認する	100
カスタム測色を実行する	102
こまったときには（カスタム測色）	103
読み込み結果がエラーになるとき	104

---

## 7 こまったときには

---

本機が操作できないとき .....	107
自動でログを収集する.....	107
手動でログを収集する.....	109
メッセージが表示されたとき（全機能共通） .....	110
用紙が詰まったとき .....	112
詰まった用紙を取り除くときの注意事項.....	113
詰まった用紙を取り除く .....	113
頻繁に用紙が詰まるとき.....	114
用紙がきれいに排紙されないとき.....	117



# 1. 本機の概要

- 本機でできること
- 機器構成
- 本体各部の名称
- 仕様

本機を使用するために必要な機器の構成と、本体各部の名称について説明します。また、本機を制御するためのアプリケーションについても説明します。

## 本機でできること

本製品は、プリンターの色調整、色合わせ、色度測定、管理を効率的に実現するソリューションです。

RICOH Auto Color Adjusterは、以下の4つの機能で構成されています。

### [かんたん色調整]

チャートを読み込んで、プロファイルを自動作成します。この機能を定期的に使用することで、印刷物の色味が機器の状態や印刷環境によって変化することを防ぎます。

### [色見本合わせ]

[色見本合わせ] 機能を使用して、印刷した色見本を読み込んで、それを基にプロファイルを作成します。作成したプロファイルを使用して、色見本の色味に近づけた色を印刷ページに再現します。

### [管理コンソール]

各種認証基準でプリンターの色調整結果を簡易判定します。プリンターごとに判定結果の経時変化の記録を管理できます。

### [カスタム測色]

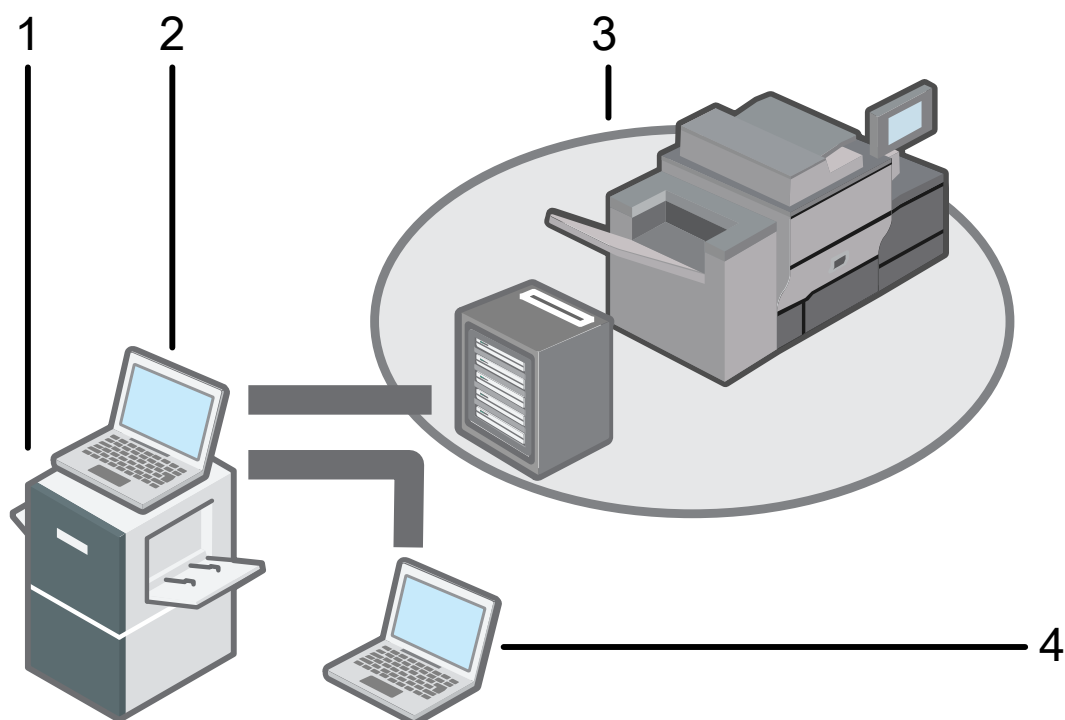
定期的に印刷したテストチャートの色を測定します。測定結果をファイルに保存し、色管理や他の類似したアプリケーションを使用して管理できます。

#### ↓ 補足

- [カスタム測色] を除く各機能を使用するときは、機能ごとの契約が必要です。

## 機器構成

USBケーブルで本機に接続しているコンピューターを使用して、本機の操作やDFEへのプロファイル登録などをします。本機に接続しているコンピューターは、以下のようなネットワーク環境で使用します。



M582IM0151

- 1 本機
- 2 付属の2本のUSBケーブルで本機に接続しているコンピューター。[かんたん色調整]、[色見本合わせ]、[カスタム測色]、[管理コンソール]などのすべての機能を使用できます。
- 3 プリンターとDFE：Fieryカラーコントローラー、TotalFlow プリントサーバー、または他のプリンター制御装置
- 4 ネットワーク上のコンピューター  
[管理コンソール] を使用して、プリンターの色を管理できます。

↓ 補足

- 本機のセットアップについて詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。

## コンピューターの使用環境

本機に接続するコンピューターは、以下の環境で使用することを推奨します。推奨する環境以外でコンピューターを接続した場合、ログインIDやパスワードなどが外部から閲覧されることがあります。

- ハードディスク暗号化 (BitLocker) 設定
- ファイアウォール設定  
HTTPS/8080ポートのアクセス元を適切に制限してください。
- コンピューターで適切なユーザーとログインの管理の実施



# 本体各部の名称

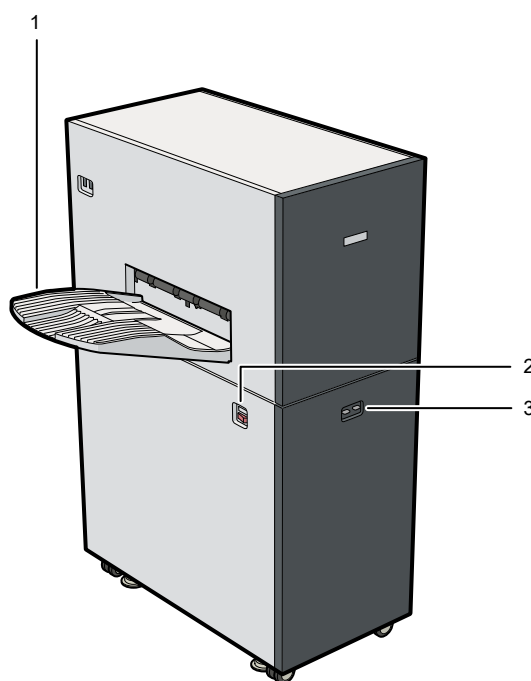
本機の基本部品と、使用される用語について説明します。

★重要

- 本機の上部に過度な荷重をかけないでください。本機が転倒してけがをする恐れがあります。

## 前面（左側）

本機の前面と左側にある基本的な部品について説明します。



M562M0152

### 1. 排紙トレイ

読み取った原稿やチャートがこのトレイに排紙されます。

排紙されたシートが丸まっていたり、きれいに積み重ねられなかったりする場合は、付属の補助トレイを取り付けてください。詳しくは、[P.114 「頻繁に用紙が詰まるとき」](#)を参照してください。

↓ 補足

- 排紙トレイに過度な荷重をかけないでください。本機が破損する原因になります。

### 2. 電源スイッチ

本機の電源を入れたり切ったりするときに押します。詳しくは、[P.19 「本機の電源を入れる」](#)および[P.20 「本機の電源を切る」](#)を参照してください。

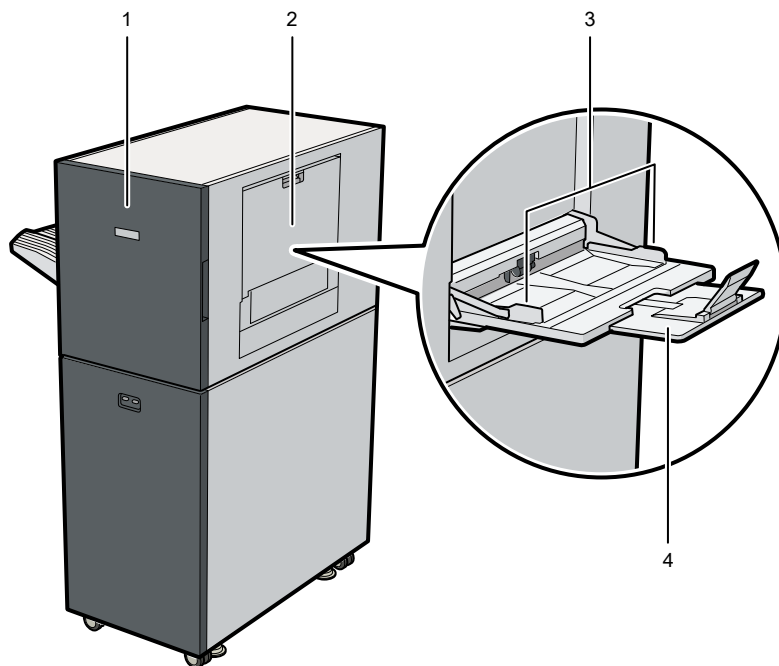
### 3. ランプ

本機の状態を示します。

- 青（左）：本機は正常に動作しています。原稿やチャートを読み取ることができます。
- 赤（右）：紙詰まりなどのエラーが発生しました。コンピューターに表示されるメッセージを確認してエラーの原因を解決してください。詳しくは、P.110「メッセージが表示されたとき（全機能共通）」を参照してください。

## 前面（右側）

本機の前面と右側にある基本部品について説明します。



M582M0153

### 1. 前ドア

詰まった用紙を取り除くときに、カバーを開けます。詳しくは、P.112「用紙が詰まったとき」を参照してください。

### 2. 給紙トレイ

本機で読み取る原稿やチャートをセットするときに、トレイを開けます。詳しくは、P.27「給紙トレイに原稿／チャートをセットする」を参照してください。

### 3. 用紙ガイド板

原稿やチャートを給紙トレイにセットするときに、用紙ガイド板を用紙の両端に合わせます。

### 4. 延長トレイ

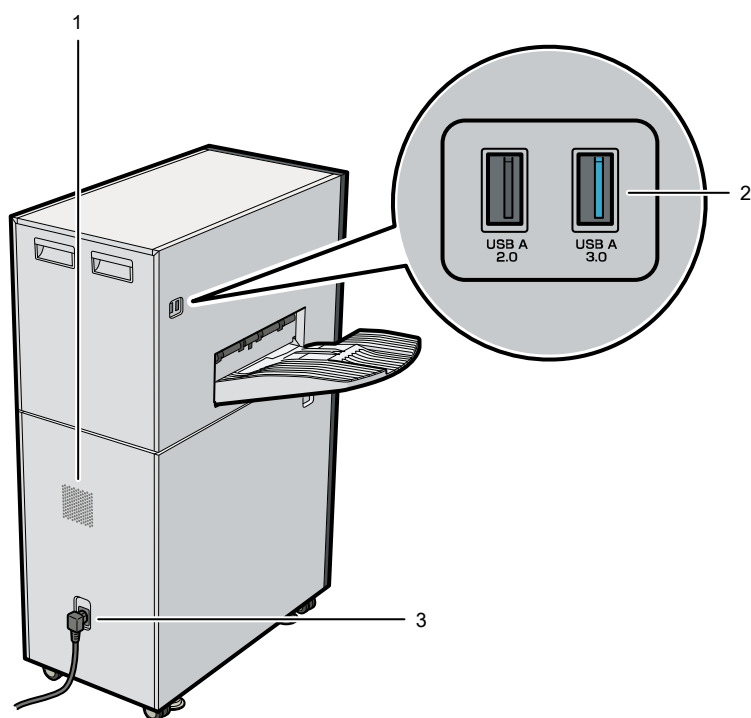
210 mm (8.3 inch) より長い原稿やチャートを給紙トレイにセットするときに、延長トレイを引き出します。

## ↓ 補足

- 前ドア、給紙トレイ、用紙ガイド板、延長トレイに過度な荷重をかけないでください。本機が破損する原因になります。

## 背面（左側）

本機の背面と左側にある基本部品について説明します。



MSB2M0154

### 1. 通風孔

本機の内部の温度上昇を防ぎます。通風孔をふさがないでください。

### 2. USBインターフェース

付属の2本のUSBケーブルでコンピューターを本機に接続します。

- USB A 2.0：このポートからUSBケーブルでコンピューターのUSB 2.0/2.1ポートに接続します。このポートは、コンピューターから本機を操作するために使用されます。
- USB A 3.0：このポートからUSBケーブルでコンピューターのUSB 3.0ポートに接続します。このポートは、本機で読み込んだデータをコンピューターに転送するために使用されます。

## ★重要

- 付属のUSBケーブル以外のケーブルは使用しないでください。本機の正常な動作は、付属のUSBケーブルでコンピューターに接続されているときにのみ保証されません。
- USB延長ケーブルやハブは使用しないでください。

## 3. 電源コード接続口

付属の電源コードをこの接続口に接続します。

- 電源コードは、100 V、1.5 A 以上、50/60 Hz の電源コンセントに接続します。
- 電源プラグは必ずアース線を接続してから、電源コンセントに直接、しっかりと接続してください。

## 仕様

本機の技術的な詳細と特性を指定します。

項目	仕様
分光出力	波長400~700 nmをピッチ10 nmで、31点の分光反射率出力
照明条件	M0 (A)、M1 (D50)、M2 (A+UVカット) ISO13655に準拠
測定バックング	白バックング ISO13655に準拠
ウォームアップタイム (20°C、定格電圧)	300秒未満
読み取り速度 <sup>1</sup>	1枚目：40秒、2枚目以降：35秒 (A3)
電源	100 V、1.5A、50/60 Hz
消費電力 (最大)	150 W以下
寸法 (幅×奥行き×高さ)	374 × 727 × 1,098 mm (14.8 × 28.7 × 43.3 inch)
本機の占有面積 (幅×奥行き)	1,102 × 727 mm (給紙トレイ、延長トレイを開放、排紙トレイを取り付け時)
質量	86 kg (同梱品含む)
インターフェース	USB 3.0 (測色画像データの転送用) USB 2.0/2.1 (本機の制御用)
推奨温湿度範囲	最適温湿度：23°C 50% • 温度10~32°C • 湿度：15~80%

<sup>1</sup>本機に接続されているコンピューターの仕様や使用状況によって読み取り速度が遅くなることがあります。

## ↓補足

- 用紙の仕様については、P.26 「[使用できる用紙のサイズと厚さ](#)」を参照してください。

## 2. 本機の基本操作

- 本機の電源を入れる/切る
- RICOH Auto Color Adjuster アプリケーションを使用する
- 原稿/チャートを使用する

本機とRICOH Auto Color Adjusterアプリケーションの操作に関する基本情報を説明します。

### 本機の電源を入れる/切る

本機の電源を入れたり切ったりするときは、本機の左側にある電源スイッチを使用します。

★重要

- 本機の電源を切った後は、すぐに電源を入れしないでください。本機の電源を入れ直す前に、ランプが10秒以上消灯するまで待ってください。
- 本機の電源を入れた後は、すぐに電源を切らないでください。本機の電源を切る前に、ランプが10秒以上点灯するまで待ってください。

### 本機の電源を入れる

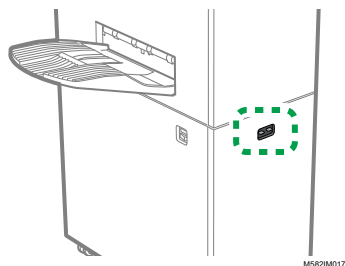
本機の電源を入れるには、本機の左側にある電源スイッチを使用します。

★重要

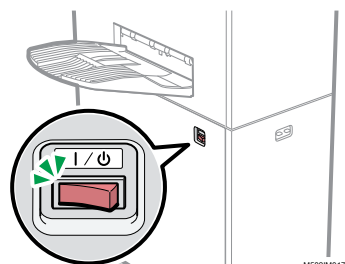
- 本機の電源を切った後は、すぐに電源を入れしないでください。本機の電源を入れ直す前に、ランプが10秒以上消灯するまで待ってください。

本機の電源を入れるには、次の手順を実行します。

1. 本機の電源ランプが点灯していないことを確認します。



2. 電源コードのプラグをコンセントにしっかりと差し込みます。
3. 本機の左側にある電源スイッチをオンにします。



ランプが青色に点灯します。

4. 本機に接続したコンピューターの電源を入れます。

## 本機の電源を切る

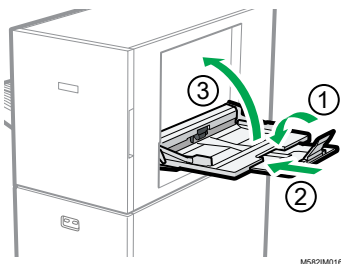
本機の電源を切るには、本機の左側にある電源スイッチを使用します。

### ★重要

- 本機の電源を入れた後は、すぐに電源を切らないでください。本機の電源を切る前に、ランプが10秒以上点灯するまで待ってください。

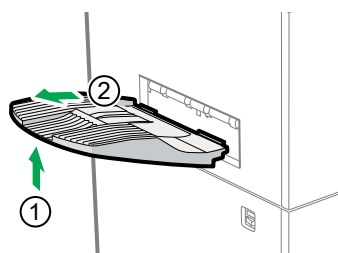
本機の電源を切るには、次の手順を実行します。

1. 本機に接続したコンピューターの電源を切ります。
2. 必要に応じて給紙トレイを閉じてください。
  1. 延長トレイを折りたたみ(1)、元の位置に戻します(2)。



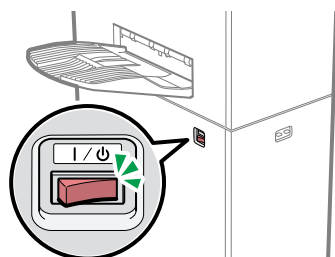
MS82M0160

2. 給紙トレイをロックがかかるまで持ち上げて閉じます(3)。
3. 必要に応じて、排紙トレイを固定台から取り外します。
  1. 排紙トレイを上を押上げます(1)。



MS82M0161

2. 排紙トレイを引き出します(2)。
4. 本機の左側にある電源スイッチをオフにします。



MS82M0172

ランプが消灯します。

## RICOH Auto Color Adjuster アプリケーションを使用する

本機を操作するには、コンピューターにインストールしたRICOH Auto Color Adjuster を使用します。RICOH Auto Color Adjusterの機能と設定、各機能の起動方法と設定メニューへのアクセス方法について説明します。

機能と設定へのアクセス方法	機能/設定	概要
RICOH Auto Color Adjusterのメニュー画面で機能または設定ボタンを選択します。	[かんたん色調整]	チャートを読み込んで、プロファイルを自動作成します。作成されたプロファイルを出力（プリンター）プロファイルとしてDFEに登録し、原稿データの印刷時に使用します。この機能を定期的に使用することで、印刷物の色味が機器の状態や印刷環境によって変化することを防ぎます。 詳しくは、P.31 「かんたん色調整」を参照してください。
	[色見本合わせ]	[色見本合わせ] 機能を使用して、印刷した色見本を読み込んで、それを基にプロファイルを作成します。作成されたプロファイルをCMYK入力（ソース）プロファイルとしてDFEに登録し、原稿データの印刷時に使用します。作成したプロファイルを使用すると、色見本の色味に近づけた色を印刷ページに再現できます。 詳しくは、P.59 「色見本合わせ」を参照してください。
	[カスタム測色]	定期的に印刷したテストチャートの色を測定します。測定結果をファイルに保存し、色管理や他の類似したアプリケーションを使用して管理できます。 詳しくは、P.95 「カスタム測色」を参照してください。
	[本体設定]	本機の各種設定を指定します。 詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。
Webブラウザで機能または設定ボタンを選択する	[管理コンソール]	各種認証基準でプリンターの色調整結果の簡易判定します。各プリンターの判定結果の経年変化の記録を管理できます。 詳しくは、P.85 「管理コンソール」を参照してください。
	[初期設定]	[かんたん色調整] で使用するプリンター、用紙種類、その他の設定を指定します。 詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。


### 補足

- [初期設定] と [管理コンソール] は、ネットワーク上のコンピューターからも使用できます。使用できるコンピューターについては、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。

## RICOH Auto Color Adjusterのメニュー画面を表示する

RICOH Auto Color Adjusterのメニュー画面を表示して、[かんたん色調整]、[色見本合わせ]、[カスタム測色]の機能を使用します。


RICOH Auto Color Adjusterのメニュー画面を表示するには、次の手順を実行します。

1. USBケーブルで本機に接続しているコンピューターを起動します。  
メニュー画面が表示されます。
2. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されていない場合は、[RICOH] アイコン (  ) をダブルクリックします。
3. 使用する機能を選択します。



m582om0850

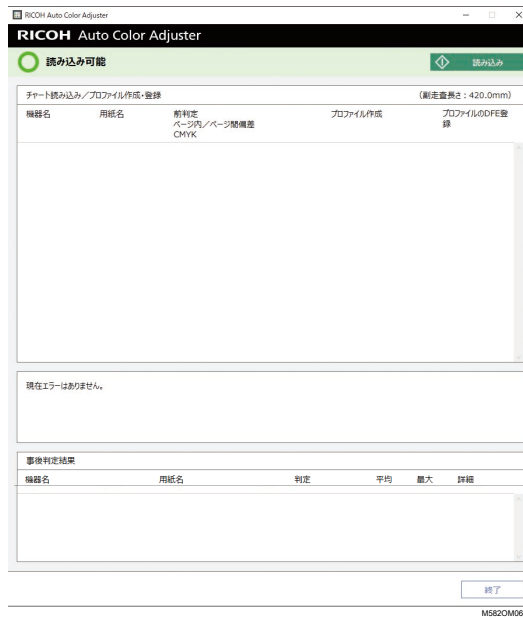
### ↓ 補足

- オンラインマニュアルを表示するには、メニュー画面で [ヘルプ] ボタン (  ) をクリックします。

各機能の画面が表示されます。

- [かんたん色調整] 画面



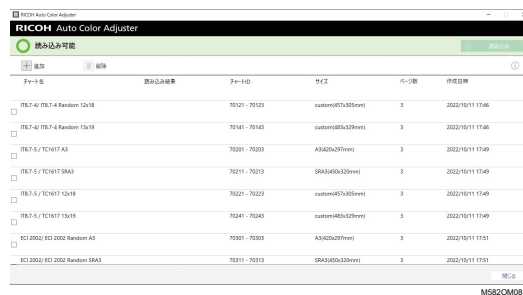


● [色見本合わせ] 画面



m582om0664


● [カスタム測色] 画面

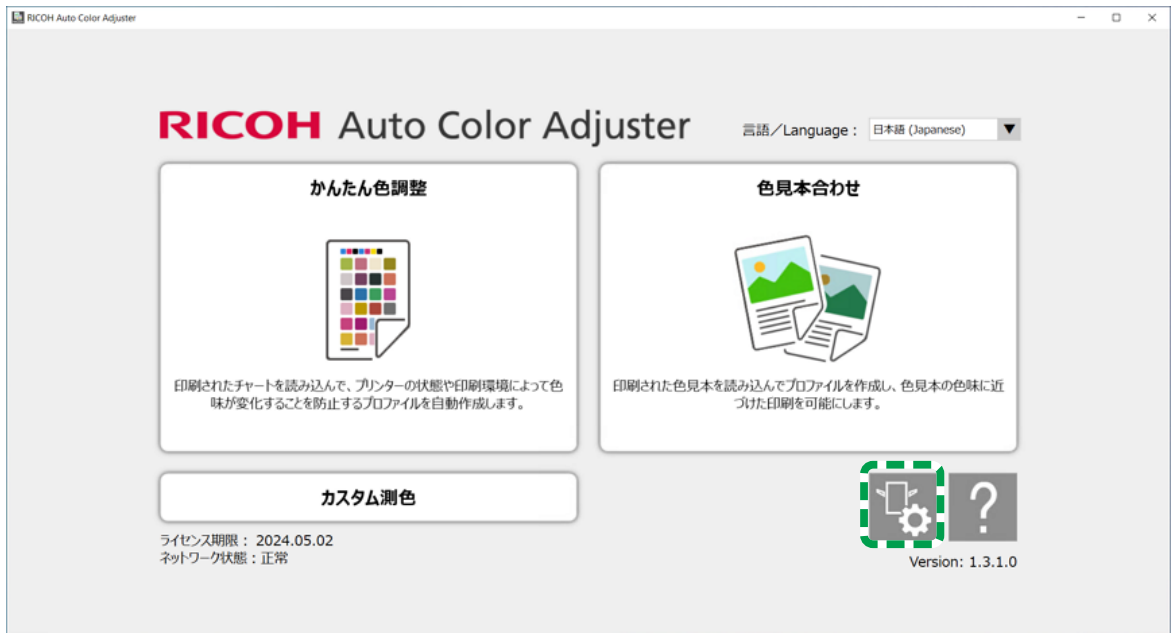


m582om0851


## Webブラウザで管理コンソールを起動する

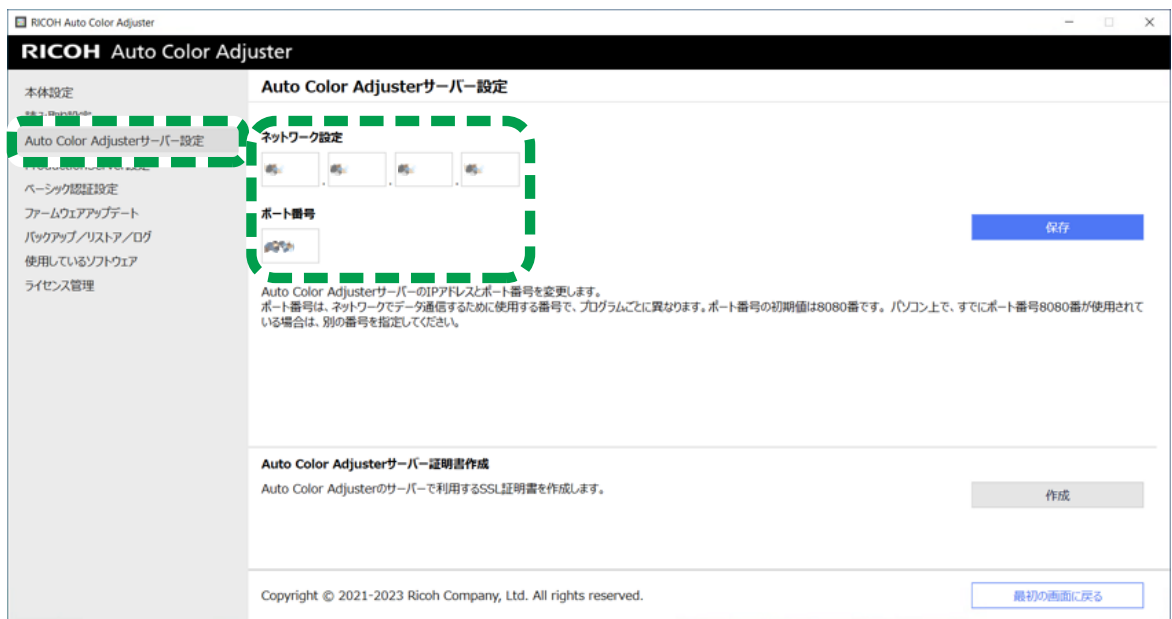
Webブラウザで管理コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

1. USBケーブルで本機に接続しているコンピューターを起動します。
2. サーバーのIPアドレスとポート番号を確認します。
  1. メニュー画面で [本体設定] ボタン (  ) をクリックします。



m5820m5958

2. RICOH Auto Color Adjusterメニュー画面が表示されていないときは、[RICOH] アイコン (  ) をダブルクリックします。
3. IPアドレスとポート番号を確認するには、[Auto Color Adjusterサーバー設定] をクリックします。



m582om8570

- Webブラウザを開き、アドレスバーにIPアドレスとポート番号を入力します。



↓ 補足

- 「https:// (IPアドレス): (ポート番号)」の形式でIPアドレスとポート番号を入力します。コロン (:) とピリオド (.) は省略しないでください。ポート番号が「80」の場合、「:」以降は省略できます。
- 管理コンソールは、ネットワーク上のコンピューターからも使用することもできます。Webブラウザのアドレスバーに、USBケーブルで本機に接続しているコンピューターのIPアドレスとポート番号を入力します。使用できるコンピューターについては、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。
- 複数のプリンターを運用し、1台のクライアントのコンピューターを使用する場合は、管理者にサーバーのIPアドレスとポート番号を問い合わせてください。

- ユーザー名とパスワードを入力します。

↓ 補足

- デフォルトのユーザー名とパスワードは次のとおりです。
  - ユーザー名: aca-user
  - パスワード: user

管理コンソール画面が表示されます。

## 原稿／チャートを使用する

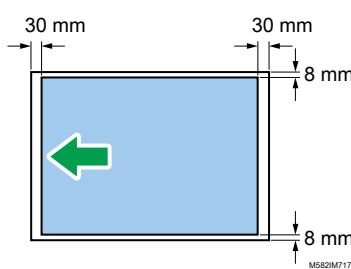
### 使用できる用紙のサイズと厚さ

本機では、以下の仕様の用紙を読み込むことができます。

★重要

- これらの仕様に適合しない用紙は、紙詰まりの原因になったり、正しく測定されなくなることがあります。
- 用紙が仕様に適合していても、本機の正常な動作や読み込み品質が保証されない場合があります。

#### 用紙仕様

項目	仕様
種類	上質紙、コート紙、マット紙、アート紙 ↓補足 ・ [かんたん色調整] 使用時は、推奨用紙を使用してください。 ・ 詳しくは、P.36 「かんたん色調整を実行する」を参照してください。
用紙サイズ：幅	210～330.2mm (8.3～13 inch) [かんたん色調整] 使用時は、297～330.2mm (11.7～13.0 inch)
用紙サイズ：長さ	210～487.7mm (8.3～19.2 inch) 420-487.7mm (16.5-19.3 inch) 使用時 [かんたん色調整]
紙厚	73.3～279.0g/m <sup>2</sup> (63～240kg : 5×7.4 inch 四六判)
枚数	104g/m <sup>2</sup> のグロスコート紙使用時：70枚
読み取り領域	本機は以下の青色の領域を読み取ります。 

↓補足

- [カスタム測色] を使用するときには、A4 (210 × 297mm、8.27 × 11.69 inch) または Letter (215.9 × 279.4mm、8.5 × 11 inch) からA3 (330.2 × 482.6mm、13 × 19 inch) までのサイズの用紙を使用してください。

## 使用できない原稿/チャート

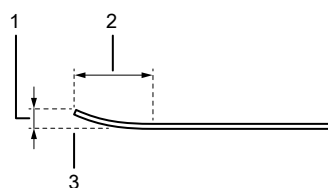
下記のような状態の原稿やチャートは本機にセットしないでください。

- ステープラーまたはクリップで綴じられている
- 穴、裂け目、切り欠きがある
- 破れやシワがある
- 別の紙と貼り合わせている
- 粘着テープやのりが付いている
- インデックスタブや付箋などのはみ出た部分がある

### ★重要

- 上記のような状態で原稿やチャートをセットすると、紙詰まりが発生したり、本機が故障したりすることがあります。

カールの大きい原稿やチャートは本機にセットする前に、カールを矯正してください。以下の条件を満たすカールの原稿やチャートは読み込むことができます。



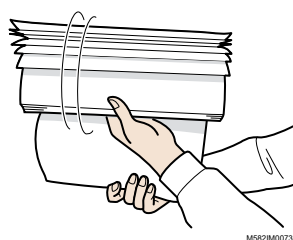
M582IM0174

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1 | 7.5mm (0.3 inch) 以下 |
| 2 | 30mm (3.9 inch) 以上  |
| 3 | 原稿/チャートの先端または後端     |

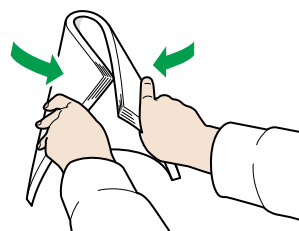
## 給紙トレイに原稿/チャートをセットする

### ★重要

- トレイに用紙が何枚か残っているときに、トレイに原稿を追加しないでください。重送の原因となります。
- コート紙やキズが付きやすい用紙に印刷された原稿やチャートを使用すると、用紙の表面にかすれたスジや線状の跡が付くことがあります。
- 複数枚の用紙をまとめてセットするときは、用紙束を十分にあおぐようにほぐし、両端を持ってゆっくりと数回曲げてから端を揃えてください。正しく送られない場合は、1枚ずつセットしてください。



M582IM0073

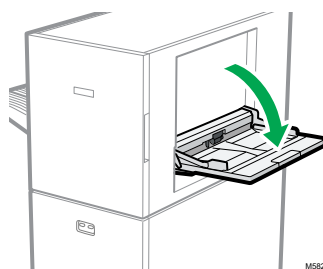


M582IM0074

2

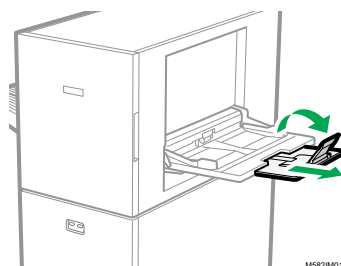
給紙トレイに原稿やチャートをセットするには、次の手順を実行します。

1. 給紙トレイを開けます。



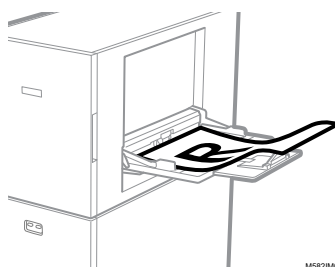
M582IM0175

2. トレイの端からはみ出る原稿（縦向きのA4サイズより長いサイズ）をセットするときは、延長トレイを引き出してください。



M582IM0176

3. 読み取り面を上にして用紙を軽く差し込みます。

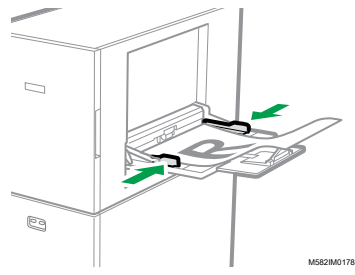


M582IM0177

↓ 補足

- 上限表示 (≡) を超えないように原稿をセットします。上限表示を超えて原稿をセットすると、斜めに読み取られたり、紙詰まりの原因となります。

4. 用紙ガイド版を調整して用紙サイズに合わせます。



M522M0178





### 3. かんたん色調整

- [かんたん色調整] の流れ
- かんたん色調整を実行する
- こまったときには (かんたん色調整)

チャートを読み込んで、プロファイルを自動作成します。この機能を定期的を使用することで、印刷物の色味が機器の状態や印刷環境によって変化することを防ぎます。

#### [かんたん色調整] の流れ

チャートを読み込んで、プロファイルを自動作成します。作成したプロファイルを出力プロファイル (プリンタープロファイル) としてDFEに登録し、原稿データの印刷時に使用します。この機能を定期的を使用することで、印刷物の色味が機器の状態や印刷環境によって変化することを防ぎます (色調整)。

また、色調整後や定期的に [初期設定] 設定で選択した基準の許容値内の色で印刷されているかを判断できます (色判定)。

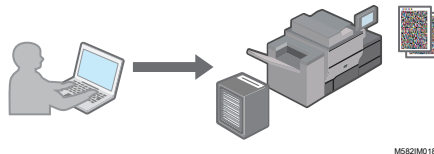
3

#### 色調整

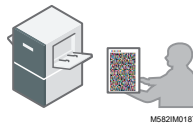
[かんたん色調整] を使用して、プリンターで色調整を実行して色判定します。

色調整を実行するには、次の手順を実行します。

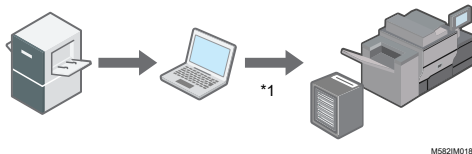
1. 色調整するプリンターでプロファイル作成用チャートを印刷します。



2. 本機で、印刷されたプロファイル作成用チャートを読み込みます。



3. プロファイルが自動的に作成され、DFEに登録されます。



\*1 使用しているDFEによっては、プロファイルが自動登録されない場合があります。この場合、プロファイルを手動でDFEに登録してください。

↓ 補足

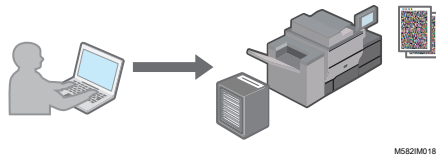
- 詳しくは、P.35 「プロファイル登録時の注意事項」を参照してください。

## 色判定

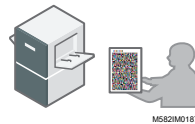
色調整を判定したり、指定したプリンターの状態を確認したりできます。

色判定を実行するには、次の手順を実行します。

1. 判定するプリンターで認証用チャートを印刷します。



2. 印刷した認証用チャートを本機にセットします。



3. コンピューターで、選択した基準の許容範囲内の色差で印刷されているか確認します。

## 色調整と色判定を実行するとき

大量印刷の前やプリンターのメンテナンスや画質調整をした後は、以下のように「色調整」または「色判定」を実行してください。

- 「色調整」をしていないとき：「色調整」を行います。
- 「色調整」をすでに行っているとき（プロファイルが作成されて登録されているとき）：「色判定」を行います。ただし、「色判定」で、[NG]と判定されたときは、「色調整」を実行してから、「色判定」を再度実行してください。

色判定では、選択した印刷標準に指定されている色の基準値と許容値を使用して色差の平均/最大値が判定されます。判定に使用されるチャートは、本機用に改変されており、各種認証規格に準拠することを保証するものではありません。

	チャート	評価項目	印刷標準	許容値
JA	[JC Digital 2011 Coated, Wedge]	平均と最大の $\Delta E_{00}$	Japan Color 2011 Coated	デジタル印刷認証
US	[ISO12647-8 Coated V3 F51]	平均と最大の $\Delta E_{00}$	GRACoL2013 CRPC6	GRACoL Digital Press Cert
EU	[Verify GRACoL2013, Wedge]	平均と最大の $\Delta E_{ab}$	Fogra51	ISO 12647-8

	チャート	評価項目	印刷標準	許容値
EU	[ISO12647-8:2021 Coated V3 F51]	平均 $\Delta E_{2000}$ (境界パッチなし) 95% $\Delta E_{2000}$ (境界パッチなし) CMY グレー平均 $\Delta Ch$ CMY グレー最大 $\Delta Ch$ 紙白 $\Delta E_{2000}$	Fogra51	ISO 12647-8
US	[Simple Gray Scale, Wedge 2013]	K グレー平均 w $\Delta L$ K グレー最大 w $\Delta L$ CMY グレー平均 w $\Delta L$ CMY グレー最大 w $\Delta L$ CMY グレー平均 w $\Delta Ch$ CMY グレー最大 w $\Delta Ch$	GRACol2013 CRPC6	G7 Grayscale

色判定で表示される色差や判定結果（[OK] / [NG]）は、別の測色器を使用した場合と異なる場合があります。

## [かんたん色調整] 画面の使いかた

[かんたん色調整] 画面を表示するには、コンピューターの [かんたん色調整] をクリックします。

プロフィール登録の作業状態を確認できます。また、色判定の結果も確認できます。



### 1. 本機の状態

本機の状態を表示します。

## 2. [読み込み]

ここをクリックして、プロファイル作成用チャートを読み込みます。

## 3. チャート読み込み/プロファイルの作成・登録

各プリンターの状態を表示します。最大1,000件の状態が表示されます。1,000件を超えると古い情報から削除されます。

- [機器名] : プリンター名
- [用紙名] : 初期設定でプリンターに登録されている用紙名
- [前判定] : [ページ内/ページ間偏差] と、CMYKの最大濃度の判定時刻と判定結果
- [プロファイル作成] : プロファイル作成の状態と更新時刻
- [プロファイルのDFE登録] : プロファイル登録の状態と更新時刻

プロファイル作成用チャートを読み込んだ後、[前判定]、[プロファイル作成]、[プロファイルのDFE登録]の順に作業が進みます。

## 4. エラー

色調整中にエラーが発生した場合にメッセージを表示します。

## 5. 色判定結果

各プリンターで調整された色の最新の判定結果を表示します。最大1,000件の判定結果が表示されます。1,000件を超えると、古い結果から削除されます。

- [機器名] : プリンター名
- [用紙名] : 初期設定でプリンターに登録されている用紙名
- [判定] : 色判定の結果
- [平均] : 平均色差の値 (小数点第一位まで)
- [最大] : 最大色差の値 (小数点第一位まで)
- [詳細] : 色判定の詳細を表示

## チャートの種類

[かんたん色調整] セクションでは、プリンターと用紙の組み合わせごとに個別に割り当てられたチャートを使用して色調整を行います。チャート作成時は、本機の初期設定時にDFEに登録したPDFを使用します。

チャートには以下の2種類があります。

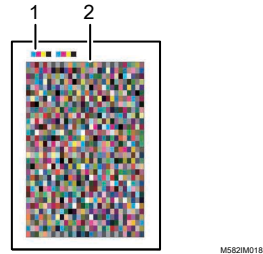
### プロファイル作成用チャート

プロファイルを登録するときは、このチャートを使用します。プロファイルを変換しない設定でチャートを印刷します。

### 認証用チャート

色調整の結果が基準を満たしているかを判断する場合は、このチャートを使用します。CMYKソース（入力）プロファイルとして各認証基準のプロファイル、出力（プリンター）プロファイルとして [かんたん色調整] で作成したプロファイルを使用する指定にしてチャートを印刷します。

印刷されたチャートには以下の情報が含まれています。



3

### 1. カラーコード

カラーコードは、初期設定で指定したプリンターと用紙の情報を示します。本機のカラーコードを読み込み、プリンターと用紙の組み合わせを識別します。

### 2. チャート

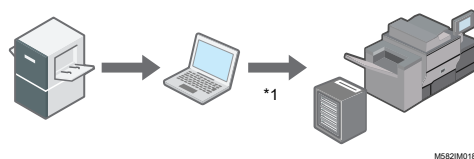
プロファイルの作成や品質の判定に使用するカラーパッチのグループです。

↓ 補足

- 色調整を実行するプリンターと用紙の組み合わせごとに割り当てられたチャート用 PDF ファイル名は、初期設定の [詳細] で確認できます。詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」参照してください。

## プロファイル登録時の注意事項

コンピューターでプロファイル作成用チャートを読み込むと、コンピューター上にプロファイルが自動的に作成されます。作成したプロファイルを使用するには、DFEに登録します（\*1）。



DFEへのプロファイルの登録手順は、「初期設定」の [DFE 種別] の設定によって異なります。

- [DFE 種別] にDFE名が指定されているとき：  
プロファイルは自動で登録されます。ユーザーの操作は必要ありません。また、Fiery では出力プロファイルがキャリブレーションセットに紐付けられています。Fiery にプロファイルを自動登録するには、プロファイルに紐付けるキャリブレーションセットを事前に指定します。[初期設定] の [用紙追加] 画面で [キャリブレーションセット名] 名を正しく入力すると、プロファイルがキャリブレーションセットと紐付いて自動で登録されます。

## ★重要

- 本機に接続されているコンピューターにインストールされているFiery Command Workstation またはColorGATE Productionserver のアップデートをしないでください。アップデートにより動作環境が変わると、プロファイルが自動で登録されなくなることがあります。
- [DFE 種別] に使用しているDFEがなく、[その他] が指定されているとき：コンピューターに保存されているプロファイルを手動でDFEに登録します。操作について詳しくは、DFEの取扱説明書を参照してください。  
プロファイルは [プロファイルの保存] に指定したフォルダーに保存されます。この画面を表示するには、初期設定の [その他の設定] をクリックします。

[初期設定] について詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。

## かんたん色調整を実行する

[かんたん色調整] を使用して、プリンターで色調整を実行して色判定します。

## ★重要

- 事前に画像濃度調整を実行しておくことを推奨します。
- この機能を使用する前に、以下を確認してください。
  - 色調整するプリンター：印刷した画像濃度が正常で、エラーが発生していないこと。 [初期設定] に登録された用紙がセットされていることを確認してください。
  - 本機：赤色ランプが点灯していないこと。
  - 本機に接続したコンピューター：RICOH Auto Color Adjuster のメニュー画面が表示されていること。また、ColorGATE Productionserverが起動し、実行中であること。詳しくは、[P. 22 「RICOH Auto Color Adjusterのメニュー画面を表示する」](#) を参照してください。
  - Fiery コントローラーで [かんたん色調整] 機能を使用するには、Fiery Command Workstation の言語を英語または日本語に設定してください。

↓ 補足

- チャートを印刷するときは、以下の設定に一致する用紙を使用し、印刷設定で用紙を正しく指定してください。設定について詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。
  - [読み取り設定] 画面で [かんたん色調整] に指定したサイズの用紙
  - [初期設定] 画面の [用紙追加] 画面で [紙種] に指定された用紙と同じ用紙
- [読み取り設定] 画面で [かんたん色調整] に指定されたサイズの用紙を使用してください。指定されていない用紙を使用すると、紙詰まりが発生することがあります。サイズが異なる用紙を使用するときは、設定を変更してください。
- 色判定で合否を判定するために、チャートは以下の用紙で印刷することを推奨します。

「認証確認用パッチレイアウト」で選択した色検証の検証基準	[Japan Color Digital 2011 Coated, Wedge]	[ISO12647-8 Coated V3 F51]
推奨用紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>– 王子製紙 OK トップコート+</li> <li>– 大王製紙 S ユトリロコート</li> <li>– 日本製紙 オーロラコート</li> <li>– 中越パルプ工業 雷鳥コート</li> <li>– 北越製紙 ミューコートネオス</li> <li>– 三菱製紙 パールコートN</li> </ul>	UPM Digi Finesse gloss (250 gsm)

- チャートは10部ほど印刷し、最後に印刷した1部を使用してください。

## 色調整を実行する

本機でチャートを読み込んでDFEに作成したプロファイルを登録することで、プリンターで印刷される色を調整します。

↓ 補足

- 色調整を実行するプリンターと用紙の組み合わせごとに割り当てられたチャート用PDFファイル名は、[初期設定] → [詳細情報] で確認できます。詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。

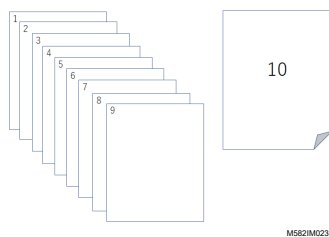
色調整をするには、次の手順を実行します。

1. Fiery Command Workstation または TotalFlow プリントサーバー の操作画面で、プロファイル作成用チャートのPDFファイルを印刷します。

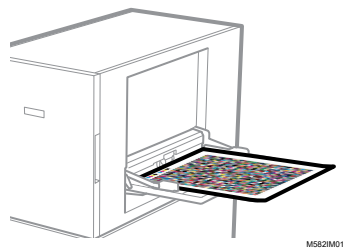
★ 重要

- 両面印刷は指定しないでください。
- 安定した色を出力するために、チャートを10部印刷します。最後に印刷されたプロファイル作成用チャートの1部を使用してください。

1. 色調整をするプリンターを選択します。
  2. 印刷設定に必要な指定をして原稿データを印刷します。印刷設定については、P. 40 「Fieryを使用して色調整用のチャートPDFファイルを印刷する」またはP. 42 「TotalFlow プリントサーバーを使用して色調整用のチャートPDFファイルを印刷する」を参照してください。
  3. Fieryを使用しているときは、印刷ジョブをジョブアーカイブに登録しておくことで、チャートのインポートを省略できます。
  4. TotalFlow プリントサーバーを使用しているときは、ジョブを保存済みジョブとして残しておくことで、チャートのインポートを省略できます。
2. 最後に印刷されたプロファイル作成用チャートの1部を取ります。



3. プロファイル作成用チャートの印刷面を上にして本機にセットします。



詳しくは、P. 27 「給紙トレイに原稿/チャートをセットする」を参照してください。

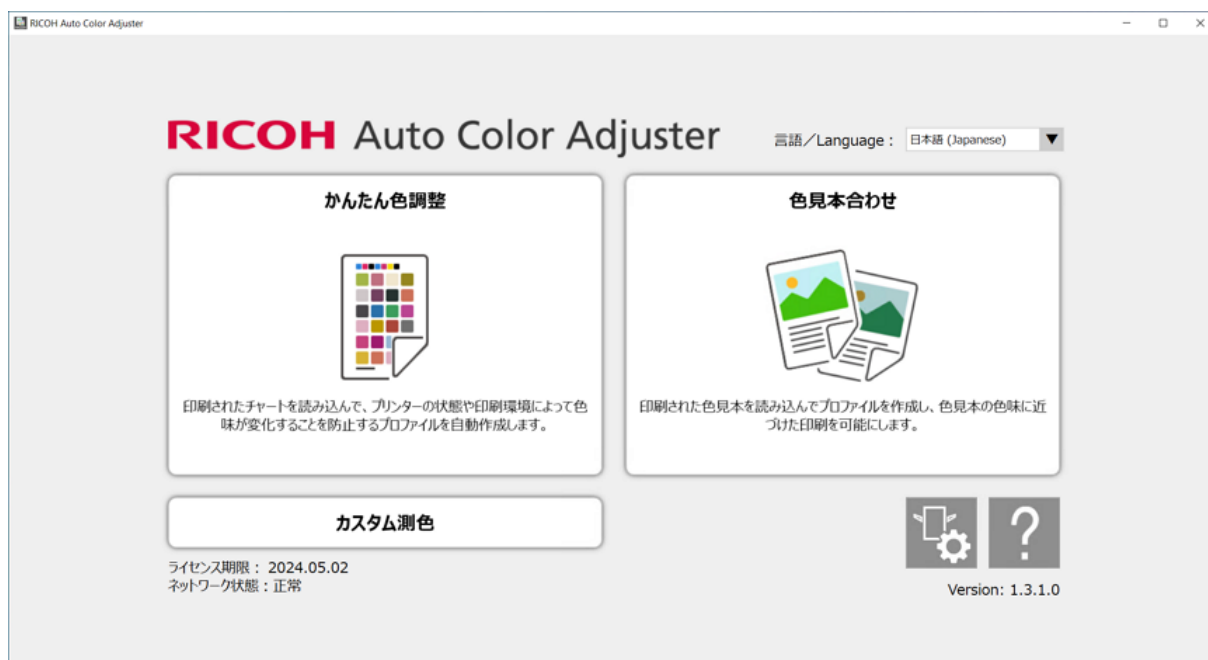
4. コンピューターのタスクバーで [RICOH] アイコン (  ) をクリックします。

↓ 補足

- 「Productionserver」画面を閉じないでください。

5. [かんたん色調整] をクリックします。





m582om0850

6. かんたん色調整ダイアログで、[読み込み] をクリックします。
7. 読み取りチャートダイアログで、[読み取り開始] をクリックします。



m582om0660

本機でプロファイル作成用チャートの読み取りが開始され、プロファイルが自動で作成されます。

★重要

- 画面に「Command WorkStation (TM) または TotalFlow が動作中です。」 「マウス、キーボードに触らないでください。」 のメッセージが表示されている間は、コンピューターを操作しないでください。

8. [前判定]、[プロファイル作成]、[プロファイルのDFE登録] にチェックマークが表示されていることを確認します。



↓ 補足

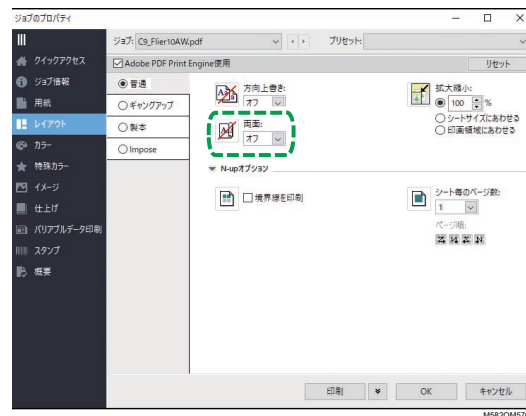
- 画面の各項目について詳しくは、P.33 「[かんたん色調整] 画面の使いかた」を参照してください。
9. エラーが発生した場合は、画面の指示に従ってください。詳しくは、P.51 「こまったときには (かんたん色調整)」を参照してください。
  10. [終了] をクリックします。
  11. プロファイルの自動登録に対応していないDFEを使用している場合は、保存されているプロファイルを手動でDFEに登録します。詳しくは、P.35 「プロファイル登録時の注意事項」を参照してください。

## Fieryを使用して色調整用のチャートPDFファイルを印刷する

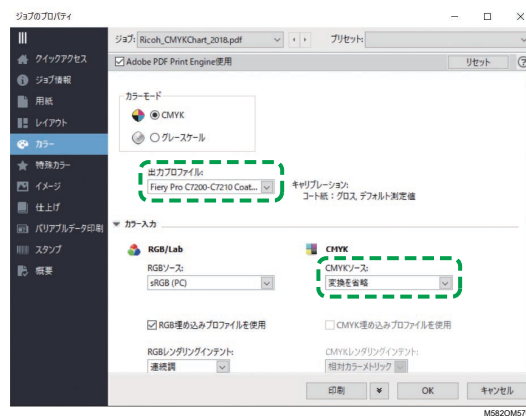
安定した色を出力するために、チャートを10部印刷します。最後に印刷されたプロファイル作成用チャートの1部を使用してください。

Fieryを使用して、色調整用のカラーPDFファイルを印刷するには、次の手順を実行します。

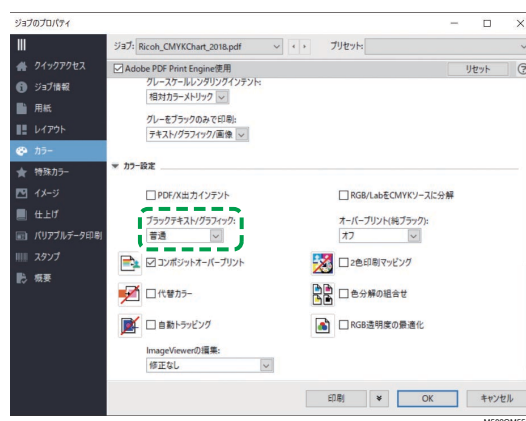
1. [初期設定] の [チャート追加/編集] 画面の [用紙名] に指定されている用紙を給紙トレイにセットします。
2. [用紙] セクションでは、[Paper Catalog] を選択するか、手動で [用紙種類]、[坪量]、[用紙サイズ] を指定します。
3. [レイアウト] セクションで、[両面] を [オフ] に設定します。



4. [カラー] セクションでは、[初期設定] の [チャート追加/編集] 画面に登録されている [認証確認用パッチレイアウト] に割り当てられた [出力プロファイル] を指定します。ただし、[認証確認用パッチレイアウト] で [Simple Gray Scale, Wedge 2013] を指定しているときは、[Verify GRACoL2013, Wedge] を指定してください。



5. [CMYKソース] を [変換を省略] に設定します。  
6. [ブラックテキスト/グラフィック] を [普通] に設定します。

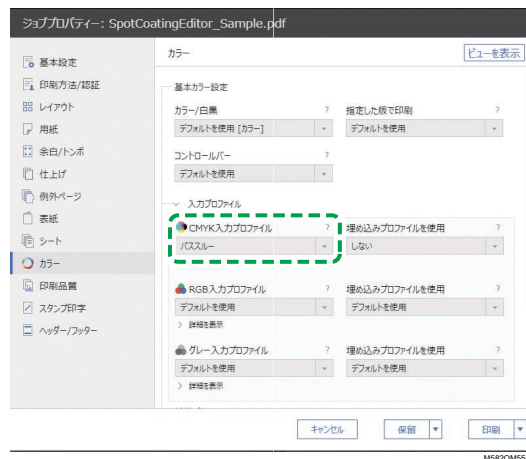


## TotalFlow プリントサーバーを使用して色調整用のチャートPDFファイルを印刷する

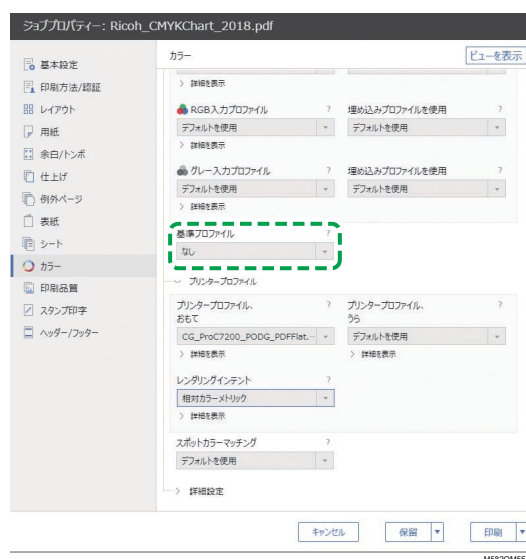
安定した色を出力するために、チャートを10部印刷します。最後に印刷されたプロファイル作成用チャートの1部を使用してください。

TotalFlow プリントサーバーを使用して、色調整用のカラーPDFファイルを印刷するには、次の手順を実行します。

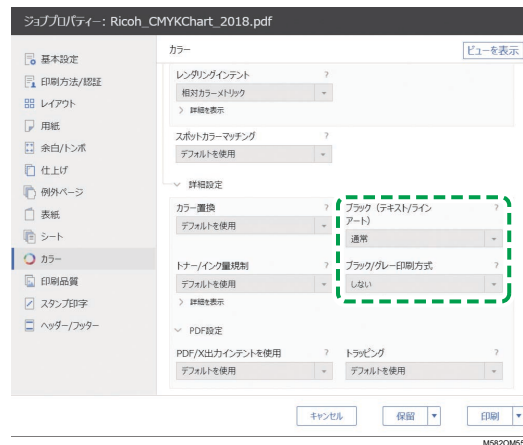
1. [初期設定] の [チャート追加/編集] 画面の [用紙名] に指定されている用紙を給紙トレイにセットします。
2. [用紙] セクションで、[Paper catalog] をクリックして、用紙リストから用紙を選択します。用紙の [種類]、[サイズ]、[坪量] を手動で指定するには、[手動用紙] をクリックします。
3. [カラー] セクションで、[CMYK入力プロファイル] を [パススルー] に設定します。



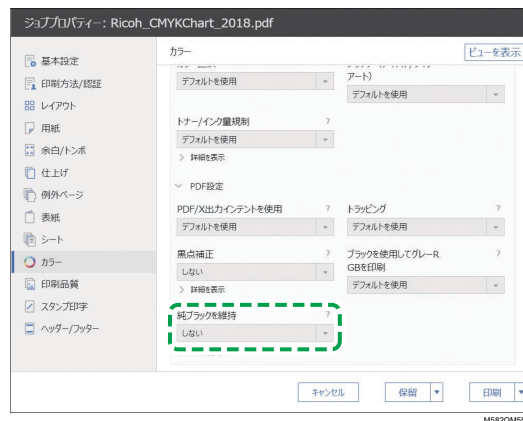
4. [基準プロファイル] を [なし] に設定します。



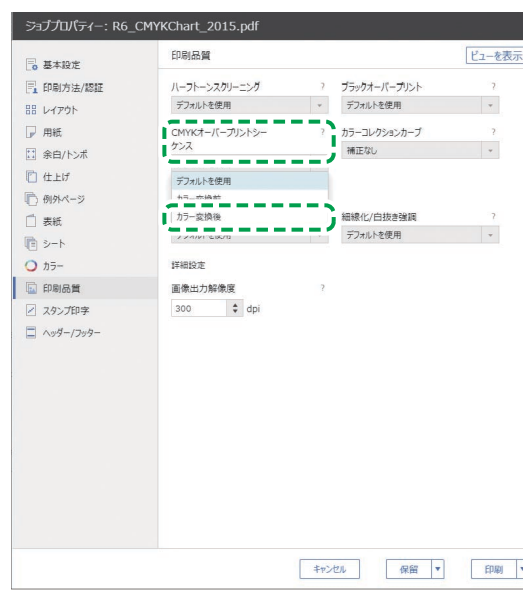
5. [ブラック (テキスト/ラインアート)] を [通常] に設定します。



6. [PDFジョブプロセッサ (RIP)] が SCREEN APPE/Kodak APPE/CPSI のとき、[ブラック/グレー印刷方式] を [しない] に設定します。
7. [PDF ジョブプロセッサ (RIP)] が Heidelberg APPE のとき、[純ブラックを維持] を [しない] に設定します。



8. [印刷品質] セクションで、[PDFジョブプロセッサ (RIP)] が SCREEN APPE/Kodak APPE のとき、[CMYKオーバープリントシーケンス] を [カラー変換後] に設定します。



## 色判定を実行する

色調整の結果を判定したり、指定したプリンターの状態を確認したりできます。

### ↓ 補足

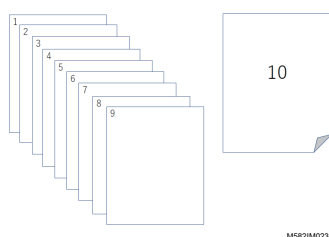
- 色調整を実行するプリンターと用紙の組み合わせごとに割り当てられたチャート用PDFファイル名は、[初期設定] → [詳細情報] で確認できます。詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。

色判定を実行するには、次の手順を実行します。

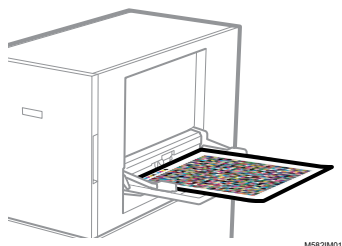
1. Fiery Command Workstation または TotalFlow プリントサーバー の操作画面で、判定用のチャートのPDFファイルを印刷します。

### ★ 重要

- 両面印刷は指定しないでください。
  - 安定した色を出力するために、チャートを10部印刷します。最後に印刷されたプロファイル作成用チャートの1部を使用してください。
1. 色判定を実行するプリンターを選択します。
  2. 印刷設定に必要な指定をして原稿データを印刷します。印刷設定については、P. 47 「Fieryを使用して色判定用チャートPDFファイルを印刷する」またはP. 48 「TotalFlow プリントサーバーを使用して色判定用チャートPDFファイルを印刷する」を参照してください。
  3. Fieryを使用しているときは、印刷ジョブをジョブアーカイブに登録しておく、チャートのインポートを省略できます。
  4. TotalFlow プリントサーバーを使用しているときは、ジョブを保存済みジョブとして残しておく、チャートのインポートを省略できます。
  5. 処理完了後は、RIP処理済みデータを保持しない指定にしてください。
2. 最後に印刷されたプロファイル作成用チャートの1部を取ります。



3. 判定用チャートの印刷面を上にして本機にセットします。



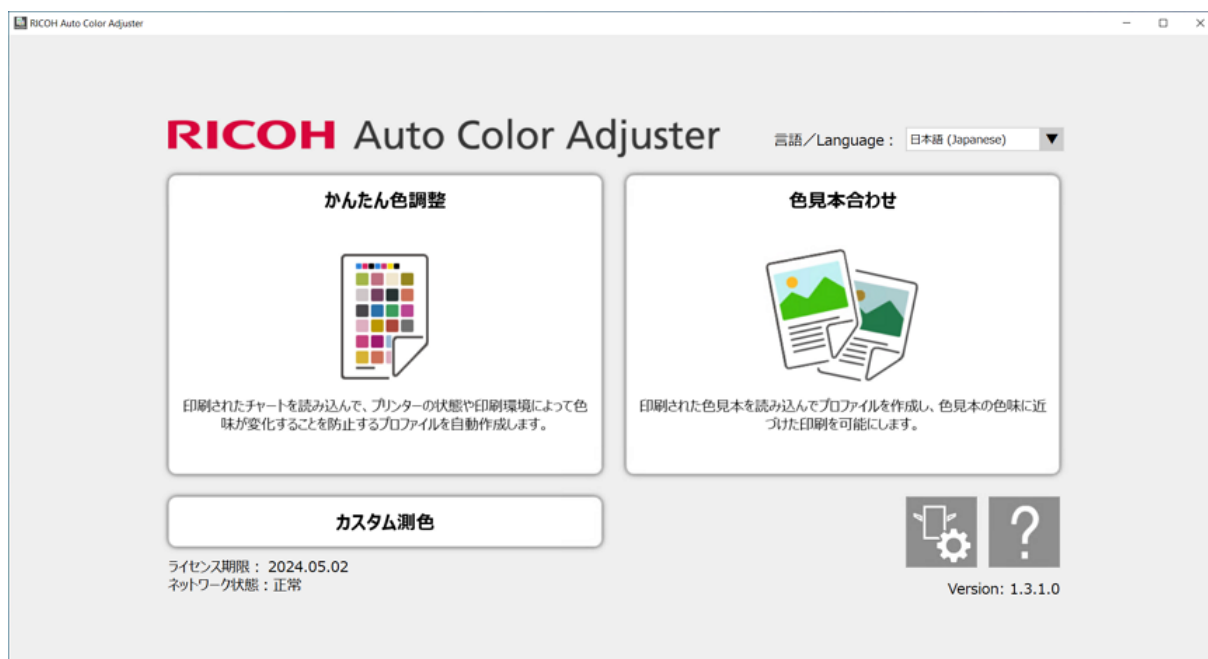
詳しくは、P.27 「給紙トレイに原稿／チャートをセットする」を参照してください。

4. コンピューターのタスクバーで [RICOH] アイコン (  ) をクリックします。

↓ 補足

- 「Productionserver」画面を閉じないでください。

5. 「かんたん色調整」をクリックします。



m582om0850

6. かんたん色調整ダイアログで、「読み込み」をクリックします。
7. 読み取りチャートダイアログで、「読み取り開始」をクリックします。



m582om0660

認証用チャートが読み取られ、読み取り結果が検証されます。

8. [色判定結果]を確認します。



9. [NG]が表示された場合、判定後の詳細を確認するには、[詳細] ボタンをクリックします。
10. [NG]が表示された場合、印刷設定が正しく指定され、用紙が指定された規格に準拠していることを確認してから、[かんたん色調整]を再実行してください。
11. [終了]をクリックします。  
色調整結果の色判定が完了しました。



## 補足

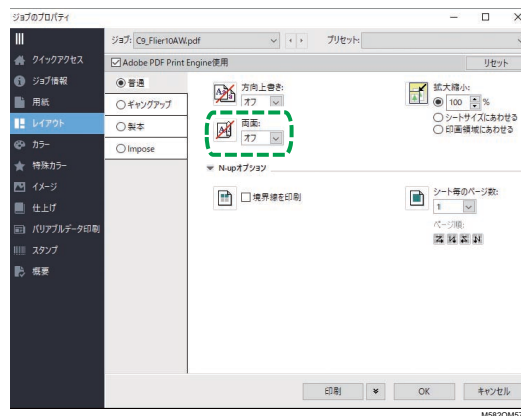
- [管理コンソール] で時間の経過による色の変化を確認できます。詳しくは、P.85 「[管理コンソールで色調整結果を確認する](#)」を参照してください。

## Fieryを使用して色判定用チャートPDFファイルを印刷する

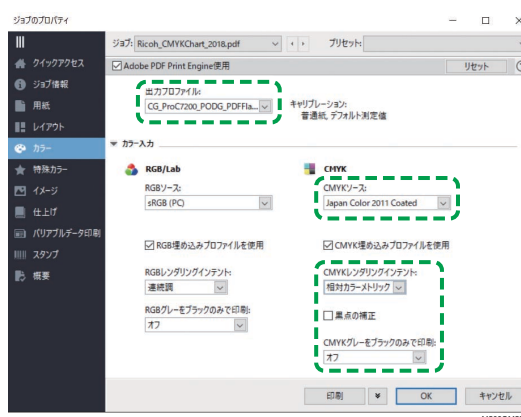
安定した色を出力するために、チャートを10部印刷します。最後に印刷されたプロファイル作成用チャートの1部を使用してください。

Fieryを使用して色判定用チャートPDFファイルを印刷するには、次の手順を実行します。

1. [初期設定] の [チャート追加/編集] 画面の [用紙名] に指定されている用紙を給紙トレイにセットします。
2. [用紙] セクションで、[Paper Catalog] を選択するか、手動で [用紙種類]、[坪量]、[用紙サイズ] を指定します。
3. [レイアウト] セクションで、[両面] を [オフ] に設定します。



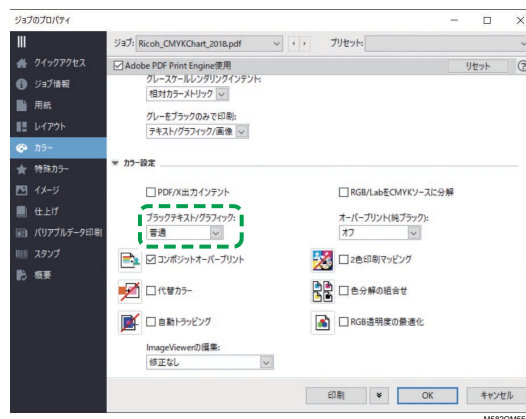
4. [カラー] セクションで、色調整プロセスで作成される [出力プロファイル] を選択します。



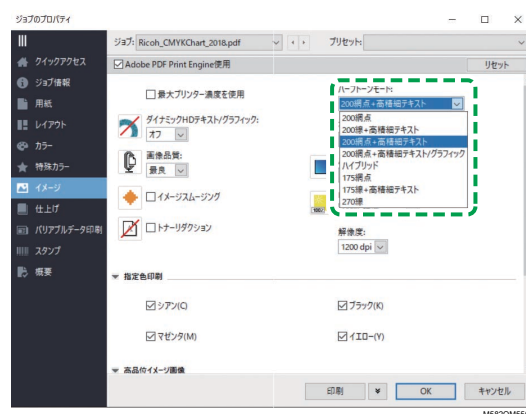
5. [初期設定] の [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] に指定したプロファイルに [CMYK ソース] を設定します。

## 補足

- [認証確認用パッチレイアウト] で [Japan Color Digital 2011 Coated, Wedge] が指定されているときは [Japan Color 2011 Coated] を、 [ISO12647-8 Coated V3 F51] が指定されているときは [PSO Coated FOGRA51 (EFI)] を、 [Verify GRACoL2013, Wedge] が指定されているときは [GRACoL2013 CRPC6 (EFI)] を指定します。
6. [CMYKレンダリングインテント] を [相対カラーメトリック] に設定します。
  7. [黒点補正] のチェックを外します。
  8. [CMYKグレーをブラックのみで印刷] を [オフ] に設定します。
  9. [ブラックテキスト/グラフィック] を [普通] に設定します。



10. [ハーフトーンモード] には、[初期設定] で指定した出力プロファイルを作成したときと同じ設定を指定します。



## TotalFlow プリントサーバーを使用して色判定用チャートPDFファイルを印刷する

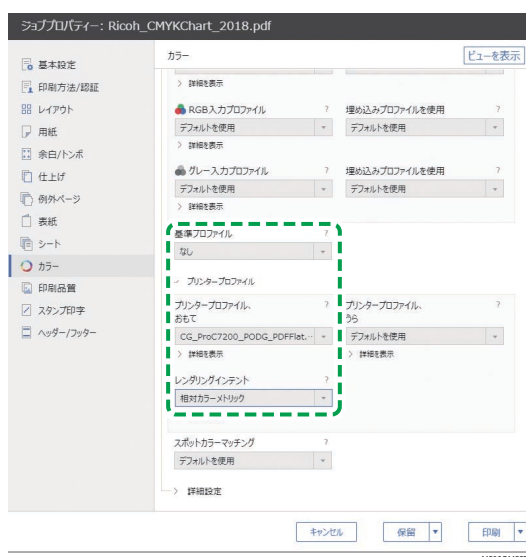
安定した色を出力するために、チャートを10部印刷します。最後に印刷されたプロファイル作成用チャートの1部を使用してください。

TotalFlow プリントサーバーを使用して色判定用チャートPDFファイルを印刷するには、次の手順を実行します。

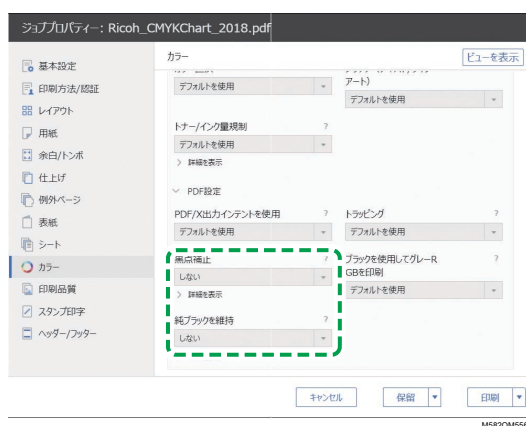
1. [初期設定] の [チャート追加/編集] 画面の [用紙名] に指定されている用紙を給紙トレイにセットします。
2. [用紙] セクションで、[Paper catalog] をクリックして、用紙リストから用紙を選択します。用紙の [用紙種類]、[用紙サイズ]、[坪量] を手動で指定するには、[手動用紙] をクリックします。
3. [カラー] セクションで、[CMYK入力プロファイル] を [初期設定] の [チャート追加/編集] 画面の [認証確認用パッチレイアウト] に指定されているプロファイルに設定します。

↓ 補足

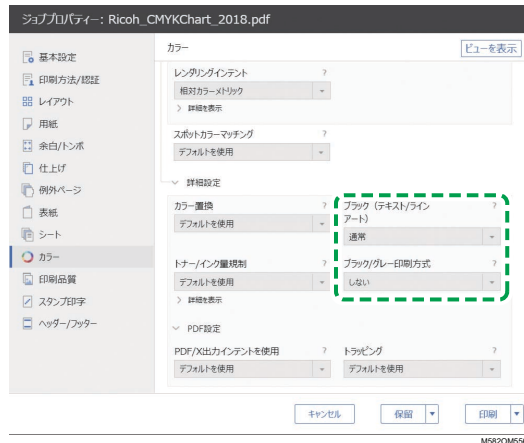
- [認証確認用パッチレイアウト] で [Japan Color Digital 2011 Coated, Wedge] が指定されているときは [Japan Color 2011 Coated] を、 [ISO12647-8 Coated V3 F51] が指定されているときは [PSO Coated v3] を、 [Verify GRACoL2013, Wedge] が指定されているときは [GRACoL2013 CRPC6] を指定します。
4. [基準プロファイル] を [なし] に設定します。



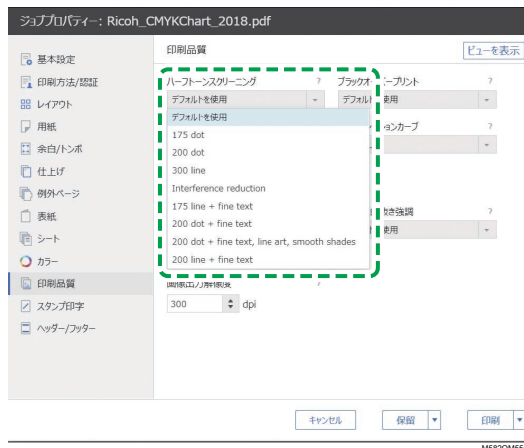
5. [プリンタープロファイル、おもて] を色調整で作成された出力プロファイルに設定します。
6. [レンダリングインテント] を [相対カラーメトリック] に設定します。
7. [PDF ジョブプロセッサ (RIP)] が Heidelberg APPE のとき、[黒点補正] を [しない] に設定します。



8. [PDF ジョブプロセッサ (RIP) ] が Heidelberg APPE のとき、[純ブラックを維持] を [しない] に設定します。
9. [ブラック (テキスト/ラインアート) ] を [通常] に設定します。



10. [PDFジョブプロセッサ (RIP) ] が SCREEN APPE/Kodak APPE/CPSI のとき、[ブラック/グレー印刷方式] を [しない] に設定します。
11. [印刷品質] セクションで、[ハーフトンスクリーニング] を、[初期設定] で指定された出カプロファイルを作成したときと同じ設定にします。



12. [PDFジョブプロセッサ (RIP) ] が SCREEN APPE のとき、[CMYKオーバープリントシーケンス] を [カラー変換後] に設定します。



## こまったときには (かんたん色調整)

[かんたん色調整] でメッセージが表示されるときや、が [色判定結果] で [NG] 多発するときの対処方法を説明します。

### ↓ 補足

- 本機で紙詰まりやその他の問題が発生したときや、アプリケーションの起動に失敗したときは、以下を参照してください。
  - P.107 「本機が操作できないとき」
  - P.110 「メッセージが表示されたとき (全機能共通)」
  - P.112 「用紙が詰まったとき」

メニュー画面で [かんたん色調整] をクリックしても [かんたん色調整] 画面が表示されないときは、メニュー画面を閉じてからWindowsを再起動してください。それでもメニュー画面から [かんたん色調整] 画面を表示できない場合は、サービス担当者に連絡してください。

## メッセージが表示されたとき (かんたん色調整)

メッセージ	原因	対処方法と参照先
「C/M/Y/Kの1つ、または複数の最大濃度が警告基準値を満たしていません。」	調整が必要なプリンターでチャートが印刷された。	プリンターの調整機能を使用して、警告基準を満たさない色のトナー濃度を調整します。リコー製プリンターを使用している場合は、最大画像濃度を調整してください。他のプリンターを使用している場合は、印刷濃度を調整してください。  プリンターの調整については、プリンターの使用説明書を参照してください。
	閾値が正しく指定されていない。	[初期設定] 画面で [閾値設定] をクリックし、適切な値が指定されているか確認してください。

メッセージ	原因	対処方法と参照先
		詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster : インストールガイド」を参照してください。エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
<p>「Command WorkStation (TM) または TotalFlow でのプロファイルの登録に失敗しました。初めからやり直してください。」 「このエラーメッセージが何度も表示される場合は、サービスへ連絡してください。」</p>	画面に「Command WorkStation (TM) または TotalFlow が動作中です。」 「マウス、キーボードに触らないでください。」のメッセージが表示されている間に、コンピューターを操作した。	画面に「Command WorkStation (TM) または TotalFlow が動作中です。」 「マウス、キーボードに触らないでください。」のメッセージが表示されている間は、コンピューターを操作しないでください。
	プリンターの電源が切れている。	プリンターの電源が入っていることを確認します。
	プリンターのDFEがネットワーク上で接続を確立できなかったか、ネットワークが混雑している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機とプリンターのDFEがネットワークに接続されていることを確認してください。ネットワーク環境について詳しくは、管理者に連絡してください。</li> <li>DFEとネットワークルーターを再起動します。</li> </ul>
	プリンターのDFEを別のコンピューターから操作している。	「かんたん色調整」を使用するときは、プリンターのDFEを操作しないでください。
	本機を複数台で操作しているときに、クライアントコンピューターからサーバーにアクセスできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピューターがネットワークに接続されていることを確認してください。</li> <li>コンピューターとサーバーのWindowsを再起動してください。</li> </ul>
<p>「Command WorkStation (TM) または TotalFlow でのプロファイルの登録に失敗しました。初めからやり直してください。」 「このエラーメッセージが何度も表示される場合は、サービスへ連絡してください。」</p>	Fieryを使用しているときに、[キャリブレーションセット名] が [初期設定] → [用紙追加] に正しく登録されていない。	<p>DFEに登録されているキャリブレーションセット名を確認し、[初期設定] → [用紙追加] に登録されている [キャリブレーションセット名] と一致していることを確認します。詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster : インストールガイド」参照してください。</p> <p>DFEに登録されているキャリブレーションセット名を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[スタート] メニューで、[Fiery] → [Fiery Command Workstation] をクリックします。</li> <li>[サーバー] → [デバイスセンター] をクリックします。</li> <li>[一般] → [ツール] → [キャリブレーター] をクリックします。</li> <li>[再キャリブレート] を指定して、[次へ] をクリックします。</li> <li>[キャリブレーション名] プルダウンメニューに表示される名前を確認します。</li> </ol> <p>また、[デバイスセンター] 画面で [リソース] → [プロファイル] → [インポート] → [出力] → [キャリブレーション] をクリックしてから、未登録の新しいICCプロファイルを指定するこ</p>

メッセージ	原因	対処方法と参照先
		<p>とでも、DFEに登録されているキャリブレーションセット名を確認できます。</p>
<p>「Command WorkStation (TM) または TotalFlow のプロファイルの登録に失敗しました。初めからやり直してください。」 「このエラーメッセージが何度も表示される場合は、サービスへ連絡してください。」</p>	<p>Fieryを使用しているときに、[DFEサーバー名] が[初期設定] → [チャートの追加/変更] で正しく登録されていない。</p>	<p>[初期設定] で登録した [DFE サーバー名] が正しいか確認するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[初期設定] 画面で、[機器名称] と [用紙名] の組み合わせを指定し、[チャート編集] をクリックします。</li> <li>[DFE サーバー名] を確認します。</li> </ol> <p>詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster : インストールガイド」を参照してください。</p>
<p>「Command WorkStation (TM) または TotalFlow のプロファイルの登録に失敗しました。初めからやり直してください。」 「このエラーメッセージが何度も表示される場合は、サービスへ連絡してください。」</p>	<p>正常な動作が保証されていないDFEシステムを使用している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Fieryを使用しているとき：Fieryの正常な動作が保証されるシステムを使用していることを確認してください。</li> <li>TotalFlow プリントサーバーを使用しているとき：TotalFlow プリントサーバーの正常な動作が保証されるシステムを使用していることを確認してください。</li> </ul>
<p>「TPS23の新しいバージョンが利用できる。」</p>	<p>Fieryを使用しているときに、使用しているプリンターに正常な動作が保証されないバージョンのシステムがインストールされている。</p>	<p>コンピューターにインストールされているFiery Command Workstation のバージョンを確認してください。</p>
<p>「初期設定で入力されたIPアドレスが間違っている可能性があります。確認してください。」</p>	<p>DFE上のパスワードがデータベースに登録されているパスワードと一致しない。</p>	<p>DFE上のパスワードがデータベースに登録されているパスワードと一致するか確認してください。エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</p>
<p>「初期設定で入力されたIPアドレスが間違っている可能性があります。確認してください。」</p>	<p>ColorGATE Productionserverの新しいバージョンが利用可能です。</p>	<p>ColorGATE Productionserverをアップデートすると、RICOH Auto Color Adjusterが正常に動作しなくなることがあります。意図しないアプリケーションのアップデートを防ぐには、[アップデートを通知する] のチェックを外してください。</p>
<p>「初期設定で入力されたIPアドレスが間違っている可能性があります。確認してください。」</p>	<p>Fieryを使用しているときに、[初期設定] → [チャートの追加/編集] に登録した [DFE IPアドレス] が正しく指定されていない。</p>	<p>[初期設定] で登録した [DFE IPアドレス] が正しいか確認するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[初期設定] 画面で、[プリンター名] と [用紙名] の組み合わせを指定し、[チャート編集] をクリックします。</li> <li>[DFE IPアドレス] が正しく指定されていることを確認します。</li> </ul> <p>詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster : インストールガイド」を参照してください。</p>
<p>「初期設定で入力されたキャリブレーションセット名が間違っている可能性があります。確認してください。」</p>	<p>Fieryを使用しているときに、[キャリブレーションセット名] が [初期設定] → [用紙追加] に正しく登録されていない。</p>	<p>DFEに登録されているキャリブレーションセット名を確認し、[初期設定] → [用紙追加] に登録されている [キャリブレーションセット名] と一致していることを確認します。詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster : インストールガイド」参照してください。</p> <p>DFEに登録されているキャリブレーションセット名を確認します。</p>

メッセージ	原因	対処方法と参照先
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [スタート] メニューで、[Fiery] → [Fiery Command Workstation] をクリックします。</li> <li>2. [サーバー] → [デバイスセンター] をクリックします。</li> <li>3. [一般] → [ツール] → [キャリブレーター] をクリックします。</li> <li>4. [再キャリブレーション] を指定して、[次へ] をクリックします。</li> <li>5. [キャリブレーション名] プルダウンメニューに表示される名前を確認します。</li> </ol> <p>また、[デバイスセンター] 画面で [リソース] → [プロファイル] → [インポート] → [出力] → [キャリブレーション] をクリックしてから、未登録の新しいICCプロファイルを指定することでも、DFEに登録されているキャリブレーションセット名を確認できます。</p>
「初期設定で入力されたパスワード、またはサーバー名が間違っている可能性があります。確認してください。」	Fieryを使用しているときに、[初期設定] → [チャートの追加/編集] で登録した [DFE サーバー名] または [DFEパスワード] の指定が正しくない。	<p>[初期設定] で登録した [DFE サーバー名] と [DFEパスワード] が正しいか確認するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [初期設定] 画面で、[プリンター名] と [用紙名] の組み合わせを指定し、[チャート編集] をクリックします。</li> <li>• [DFE サーバー名] と [DFEパスワード] が正しく指定されていることを確認します。</li> </ul> <p>詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。</p>
「判定に失敗しました。初めからやり直してください。」 「このエラーメッセージが何度も表示される場合は、サービスへ連絡してください。」	誤ったチャートを使用している。	<p>正しいチャートが印刷されているか確認してください。正しいチャート番号を確認するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [初期設定] 画面で、[機器名称] と [用紙名] の組み合わせを指定し、[詳細情報] をクリックします。</li> <li>2. [プロファイル作成用チャート] を確認します。</li> </ol> <p>詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。</p>
	チャートが正しく読み取られていない。	チャートを本機に正しくセットしてください。詳しくは、P.27 「給紙トレイに原稿/チャートをセットする」を参照してください。
	一時的に不具合が発生し、チャートが正しく読み取られなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機の電源を切り、入れ直してください。詳しくは、P.19 「本機の電源を入れる/切る」を参照してください。</li> <li>• [かんたん色調整]、[色見本合わせ]、[カスタム測色]、および本体設定が実行中の場合は終了し、メニュー画面から再起動してください。メニュー画面だけが表示される場合は、RICOH Auto Color Adjusterを再起動してください。</li> </ul>
「判定に失敗しました。初めからやり直してください。」	本機を複数台で操作しているときに、クライアント	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターがネットワークに接続されていることを確認してください。</li> </ul>



メッセージ	原因	対処方法と参照先
<p>さい。」 「このエラーメッセージが何度も表示される場合は、サービスへ連絡してください。」</p>	<p>トコンピュータからサーバーにアクセスできない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターとサーバーのWindowsを再起動してください。</li> </ul> <p>エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</p>
<p>「プロファイルの作成に失敗しました。初めからやり直してください。」 「このエラーメッセージが何度も表示される場合は、サービスへ連絡してください。」</p>	<p>プロファイルが作成される前に接続がタイムアウトした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ColorGATE Productionserverが実行していることを確認してください。</li> <li>• RESTが実行していないときは、[オプション] → [RESTサーバー...] → [開始] ColorGATE Productionserverをメニューからクリックします。</li> <li>• Windowsを再起動してください。クライアントコンピュータを使用している場合は、サーバー上のWindowsも再起動してください。</li> </ul>
	<p>プロファイルの作成に使用する「it8」や「icc」の拡張子のファイルを別のアプリケーションが使用している。</p>	<p>[かんたん色調整] を使用しているときは、他のアプリケーションをすべて終了してください。</p> <p>エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</p>
<p>「ページ間偏差が警告基準値を超えています。このまま調整を実行します。」</p>	<p>調整が必要なプリンターでチャートが印刷された。</p>	<p>メッセージに記載されている手順に従ってプリンターを調整してください。</p> <p>プリンターの調整については、プリンターの使用説明書を参照してください。</p>
<p>「プリンター本体の調整機能で画質調整を実施してください。」</p> <p>「リコー機器の場合、以下を実施してください。」</p> <p>「 [02 本体：画像品質調整] - [0201 画質調整実行] - [01：画像濃度調整] 」</p> <p>「その他の会社の機器の場合、ページ間偏差を軽減するように、プリンター本体の機能で調整ください。」</p>	<p>閾値が正しく指定されていない。</p>	<p>[初期設定] 画面で [閾値設定] をクリックし、適切な値が指定されているか確認してください。詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」参照してください。</p> <p>エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</p>
	<p>「ページ内偏差が警告基準値を超えています。このまま調整を実行します。」</p> <p>「プリンター本体の調整機能で画質調整を実施してください。」</p> <p>「リコー機器の場合、以下を実施してください。」</p> <p>「 [02 本体：画像品質調整] - [0201 画質調整実行] - [02：画像濃度調整：搬送方向] 」</p>	<p>調整が必要なプリンターでチャートが印刷された。</p>
<p>閾値が正しく指定されていない。</p>		<p>[初期設定] 画面で [閾値設定] をクリックし、適切な値が指定されているか確認してください。詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」参照してください。</p> <p>エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</p>

メッセージ	原因	対処方法と参照先
「 [10 濃度差調整印刷：直角方向] 」  「その他の会社の機器の場合、ページ内の印刷濃度ムラを軽減するように、プリンター本体の機能で調整ください。」		
「読み取りに失敗しました。」	誤ったチャートを使用している。	正しいチャートが印刷されているか確認してください。正しいチャート番号を確認するには、次の手順を実行します。  1. [初期設定] 画面で、[機器名称] と [用紙名] の組み合わせを指定し、[詳細情報] をクリックします。  2. [プロフィール作成用チャート] を確認します。  詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。
	チャートが正しく読み取られていない。	チャートを本機のトレイに正しくセットしてください。詳しくは、P.27 「給紙トレイに原稿/チャートをセットする」を参照してください。
	一時的に不具合が発生し、チャートが正しく読み取られなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の電源を切り、入れ直してください。詳しくは、P.19 「本機の電源を入れる/切る」を参照してください。</li> <li>[かんたん色調整]、[色見本合わせ]、[カスタム測色]、および本体設定が実行中の場合は終了し、メニュー画面から再起動してください。メニュー画面だけが表示される場合は、RICOH Auto Color Adjusterを再起動してください。</li> </ul>

↓ 補足

- その他のメッセージが表示された場合は、メッセージの指示に従ってください。

## 【色判定結果】で【NG】が多発する

原因	対処方法と参照先
誤ったチャートを使用している。	正しいチャートが印刷されているか確認してください。正しいチャート番号を確認するには、次の手順を実行します。  1. [初期設定] 画面で、[機器名称] と [用紙名] の組み合わせを指定し、[詳細情報] をクリックします。  2. [認証用チャート番号] を確認します。  詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。
チャートが正しく読み取られていない。	チャートを本機のトレイに正しくセットしてください。詳しくは、P.27 「給紙トレイに原稿/チャートをセットする」を参照してください。

原因	対処方法と参照先
チャートが適切な用紙に印刷されていない。	<p>【初期設定】画面の【用紙管理】の【紙種】に指定されている用紙の種類にチャートを印刷してください。</p> <p>詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster : インストールガイド」を参照してください。</p>
閾値が適切に指定されていない。	<p>【初期設定】画面で、【閾値設定】にデフォルト値を指定します。</p> <p>詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster : インストールガイド」を参照してください。</p>
プロファイル作成用チャートまたは認証用チャートが誤った印刷設定で印刷されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロファイル作成用チャートを正しい印刷設定で印刷してください。詳しくは、P.37 「色調整を実行する」を参照してください。</li> <li>認証用チャートを正しい印刷設定で印刷してください。詳しくは、P.44 「色判定を実行する」を参照してください。</li> </ul>
DFEに登録された認証用チャートの印刷ジョブにRIP処理済みデータが残っている。	<p>DFEで認証用チャートを印刷するジョブに、RIP処理済みデータが残っていないか確認し、データが残っている場合は削除してから再印刷してください。</p> <p>操作について詳しくは、DFEの取扱説明書を参照してください。</p>
プロファイルを作成した後に、プリンターの色再現の状態が変化した。	<p>【かんたん色調整】を再実行してください。詳しくは、P.37 「色調整を実行する」を参照してください。</p>

↓ 補足

- それでも [NG] が多発する場合は、サービス担当者に連絡してください。



## 4. 色見本合わせ

- 色見本合わせの流れ
- 色見本合わせを実行する
- 応用
- こまったときには（色見本合わせ）

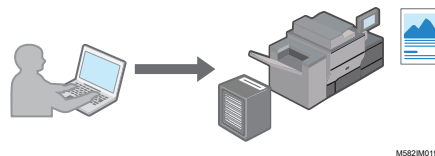
色見本合わせでは、印刷された色見本を読み込んで、それを基にプロファイルを作成します。作成されたプロファイルをCMYK入力（ソース）プロファイルとしてDFEに登録し、原稿データの印刷時に使用します。

作成したプロファイルを使用して、色見本の色味に近づけた色を印刷ページに再現します。

### 色見本合わせの流れ

本機で色見本と原稿データの試し刷り（PDF）を読み取ります。その後、[色見本合わせ]にある色と比較して合わせます。色合わせによって作成されたICCプロファイルを使用して、色見本の色味に近づけた色を印刷ページに再現します。

1. 保存された原稿データと色見本があれば、それらを読み込みます。
2. 保存された元データと保存された色見本がない場合は、原稿のPDFと色見本をご用意ください。
  1. 原稿データを用紙に印刷します（印刷した原稿）。



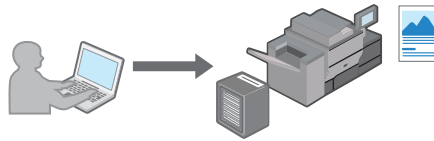
2. [色見本合わせ] を選択し、アプリケーションで原稿を表示します。



3. 色見本を給紙トレイにセットし、[色見本合わせ] から読み取ります。
3. 手順「2」で印刷した原稿の1部を本機にセットし、[色見本合わせ] から読み取ります。



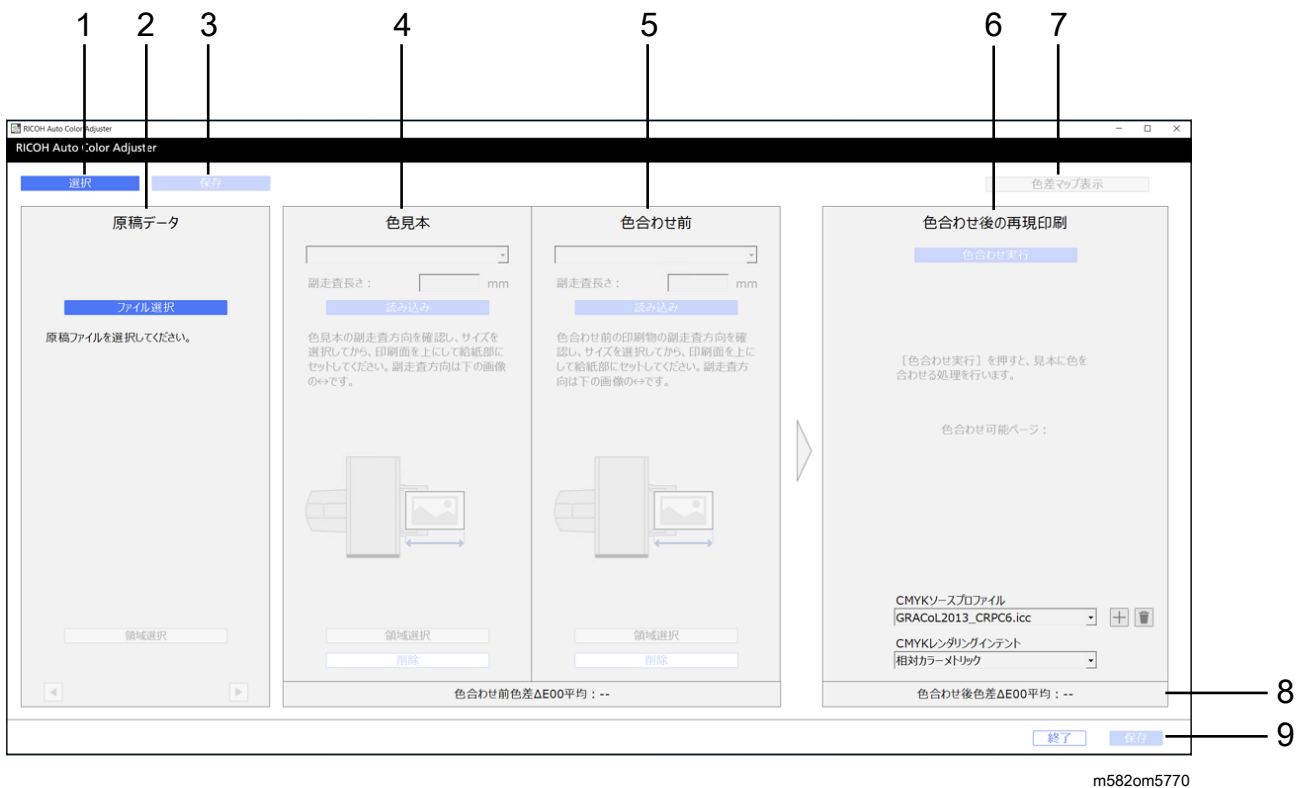
4. [色見本合わせ] で色合わせを実行し、プロファイルを保存します。
5. **オプション**：原稿データと色見本データを保存します。
6. DFEにプロファイルを登録し、そのプロファイルを使用して原稿データを印刷します。



色見本に色を合わせて原稿データが印刷されます。

## 【色見本合わせ】画面の使いかた

【色見本合わせダイアログを】開くには、【RICOH Auto Color Adjuster】アプリケーションで【色見本合わせ】を選択します。【色見本合わせ】ダイアログの項目を左から右に操作して、印刷時に使用するプロファイルを作成します。



### 1. 【選択】

【選択】ボタンを選択して、原稿データと読み取った色見本データを含むファイルを読み込みます。

### 2. 【原稿データ】

コンピューターで原稿データ（PDF）を開き、画像を表示します。

- 【ファイル選択】：原稿データを指定します。
- 【領域選択】：色見本と印刷した原稿の位置を合わせるために、画像の向きと領域を指定します。
- 【◀】 【▶】：ページを指定します。

### 3. 【保存】

原稿データと読み取った色見本を含むファイルを保存するには、[色見本合わせ] ダイアログの左上で[保存]を選択します。この操作により、物理的な色見本を保持して再度読み取ることなく、原稿PDFファイルと読み取った色見本を再利用することができます。

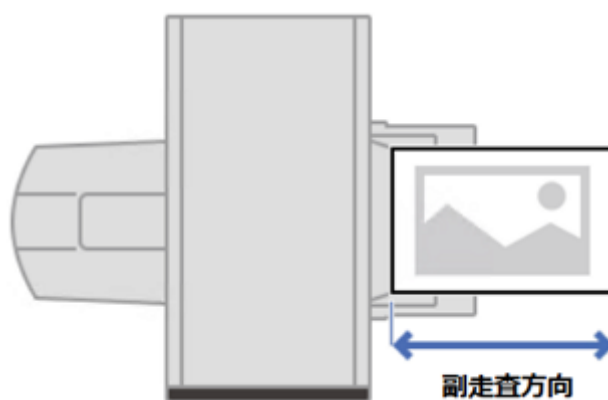
↓ 補足

- このボタンは、色見本合わせが完了した後にのみ有効になります。

#### 4. [色見本]

本機に色見本をセットし、その画像を画面に表示します。

- 用紙サイズ、[副走査]：本機にセットした色見本の用紙サイズを指定します。  
[不定形]を指定した場合は、[副走査]に副走査方向の用紙の長さを210～487.7 mm (8.3～19.2 inch)の範囲で入力します。



m582om9550\_1

- [読み込み]：色見本を読み込みます。
- [領域選択]：印刷した原稿データ (PDF) と位置を合わせるために、画像の向きと領域を指定します。
- [削除]：読み込んだ画像を削除します。

#### 5. [色合わせ前]

印刷した原稿を本機で読み込み、画像を画面に表示します。

- [読み込み]：印刷した原稿を読み込みます。
- [領域選択]：印刷した原稿データ (PDF) と位置を合わせるために、画像の向きと領域を指定します。
- [削除]：読み込んだ画像を削除します。

#### 6. [色合わせ後の再現印刷]

色合わせを実行します。色合わせ処理が完了すると、シミュレート画像が表示されます。

- [色合わせ実行]：[色見本]に合わせて印刷する色を調整します。
- [CMYKソース]、[CMYKレンダリング]：原稿データの印刷時に使用するソースプロファイルとレンダリングインテントを指定します。

## 7. [色差マップ表示]

色差を視覚的に検査します。[色合わせ前] に色合わせを適用する前の色差マップを、[色合わせ後の再現印刷] に色合わせを適用した後のマップを表示します。色差マップで明るい領域は、色差が大きいことを示します。色差は用紙の色の値を除いて端部を切り捨てて算出されます。

## 8. [色差平均値]

色合わせ前後の色差平均値（シミュレート）が表示されます。色差平均値は、画像内のすべての画素の色差を平均して算出されます。

## 9. [保存]

[色見本合わせ] ダイアログの右下で [保存] を選択すると、色合わせ処理後に作成されるプロファイルを保存します。

# 4

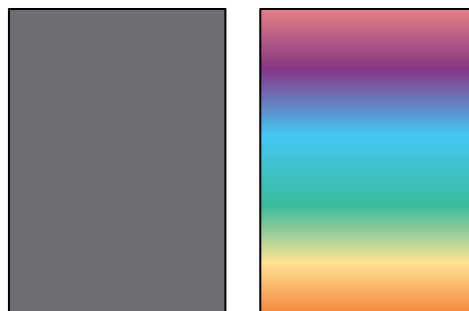
## 色見本合わせに対応している原稿データ形式

[色見本合わせ] は、以下のすべての条件に一致する原稿データに対応しています。

- 「原稿データ」の印刷に使用したプリンターに対応しているデータ形式
- CMYK（特色、RGB、グレースケール、DeviceNを含むデータは非対応）
- 以下のいずれかのバージョンのPDFファイル
  - PDF1.3（Acrobat 4.x）からPDF1.6（Acrobat 7.x）
  - PDF 1.7 Adobe Extension Level 3（Acrobat 9.x）
  - PDF1.7 Adobe Extension Level 8（Acrobat X）
  - PDF/X-1a
  - PDF/X-3
  - PDF/X-4
- フォントが埋め込まれているPDFファイル

上記の条件を満たしていても、以下の画像では色合わせに失敗することがあります。

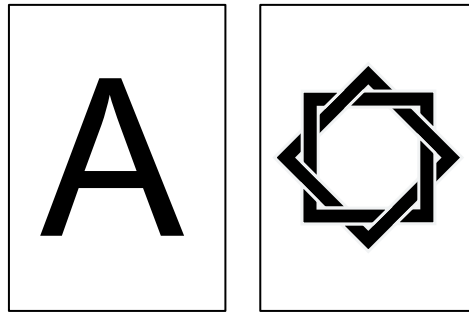
- 全体がベタ塗りや、グラデーションやエッジがない画像



M582/M0193

- 線対称または回転対称の絵柄の画像





MS20A0194

- 繰り返し同じ画像が面付けされているとき
- 文字と線画が多いページ
- 特定の色系の配色が主体など、極端な配色のページ
- 全体が細かい模様ページ
- 画面サイズが小さいとき

↓ 補足

- 色見本合わせでチャートを使用するときは、チャートを構成するカラーパッチ外部の領域も色合わせの対象になります。
- 色見本合わせで利用できる原稿データを使用している場合、次のときは色合わせで失敗することがあります。
  - 原稿データを印刷するプリンターの色域が小さすぎる
  - 原稿データに使用されているインクの数と、印刷に使用するプリンターのインクの数異なる場合（たとえば、4色インクのプリンターで色見本が印刷され、7色インクのプリンターで原稿データが印刷される場合など）
  - 色見本の用紙の色と、原稿データを印刷するプリンターにセットした用紙の色が異なる場合

## 色見本合わせを実行する

この機能では、印刷した色見本の色に原稿の色を合わせながら、原稿データを用紙に印刷します。ここでは、1ページの原稿データを色合わせするときの基本操作について説明します。

## ★重要

- 事前に画像濃度調整を実行しておくことを推奨します。
- この機能を実行する前に、以下を確認してください。
  - プリンター：原稿データで指定されているサイズ用の紙がセットされていて、エラーが発生していないこと。
  - 本機：赤色ランプが点灯していないこと。
  - 本機に接続したコンピューター：RICOH Auto Color Adjuster のメニュー画面が表示されていて、他のアプリケーションが実行されていないこと。詳しくは、P.22 「[RICOH Auto Color Adjusterのメニュー画面を表示する](#)」を参照してください。
  - 原稿データ：[色見本合わせ] で使用できるデータを指定していること。詳しくは、P.59 「[色見本合わせ](#)」を参照してください。
  - 印刷された色見本：色見本が原稿データで指定されているサイズと同じサイズで印刷されていること。

## 色見本合わせのデータを準備する

原稿データを選択し、本機で色見本と印刷原稿を読み込んで、[色見本合わせ] 画面に表示します。

## ↓補足

- 原稿データ (PDF) を複数部印刷し、最後に印刷された1部を使用します。

色見本合わせに必要なデータを準備するには、次の手順を実行します。

1. 原稿データ (PDF) を印刷します。
  1. 色合わせを実行するプリンターを選択します。
  2. 印刷設定に必要な指定をして原稿データを印刷します。印刷設定については、P.67 「[Fieryを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷する](#)」またはP.68 「[TotalFlow プリントサーバーを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷する](#)」を参照してください。

## ★重要

- 印刷時は原稿データの拡大や縮小はしないでください。
2. コンピューターで [色見本合わせ] を選択します。



m582om0850

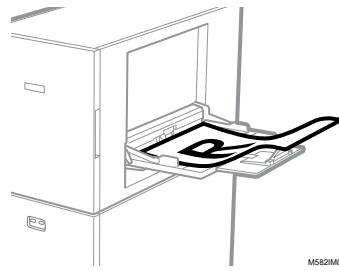
〔色見本合わせ〕画面が表示されます。

↓ 補足

- 画面に表示されている項目を左から右に操作します。
3. 保存された原稿データと色見本があれば、それらを読み込みます。
    1. 保存された原稿データと色見本を読み込むには、〔選択〕を選択します。
    2. 〔フォルダー選択〕ダイアログで、原稿データと読み取った色見本データを含むファイルを選択します。
    3. 〔フォルダーの選択〕をクリックします。  
原稿ファイルと色見本が〔色見本合わせ〕ダイアログに表示されます。
  4. 保存した色見本がない場合は、読み取ります。
    1. 〔原稿データ〕セクションで〔ファイル選択〕をクリックします。
    2. 〔原稿データを選択〕ダイアログで、原稿データを含むファイルを選択します。

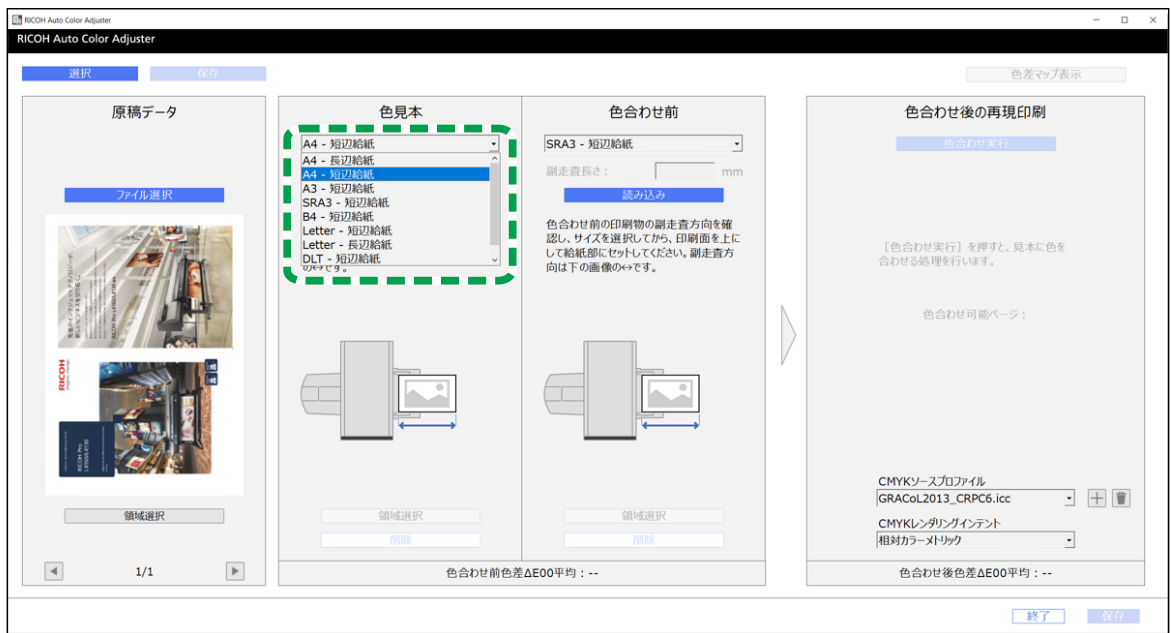
↓ 補足

- 〔色合わせ後の再現印刷〕の〔CMYKソース〕でプロファイルが指定されていないときは〔CMYKソースプロファイル設定エラー〕が表示されます。  
選択したファイルの画像が〔原稿データ〕セクションに表示されます。
3. 色見本の読み取り面を上にして本機の給紙トレイにセットします。詳しくは、P. 27 「給紙トレイに原稿／チャートをセットする」を参照してください。



M582M0177

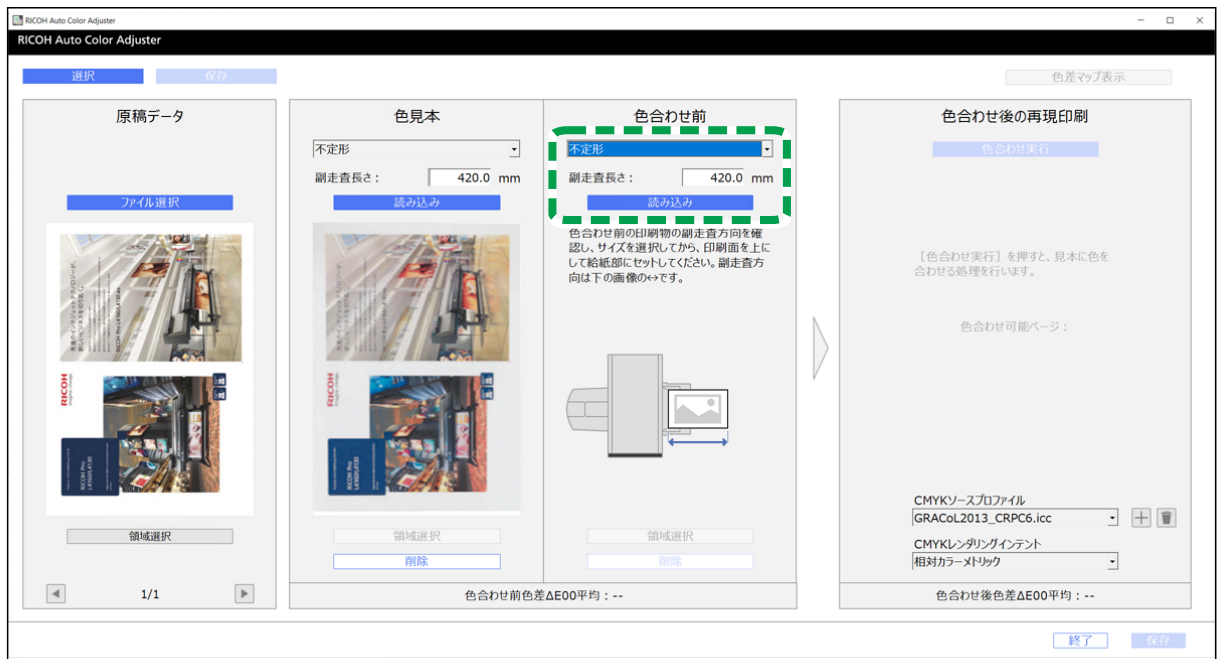
4. [色見本] セクションで、色見本の用紙サイズを選択します。
5. [不定形] を選択した場合は、[副走査] に副走査方向の用紙の長さを入力します。



m582om5772

★重要

- 読み取る色見本の用紙サイズと異なる選択をすると、紙詰まりが発生することがあります。
6. [色見本] セクションで、[読み込み] を選択します。  
読み取りが完了すると、[色見本] セクションに読み取った画像が表示されます。
  5. 印刷された原稿の読み取り面を上にして本機にセットします。
- ↓ 補足
- 原稿データ (PDF) を複数部印刷した場合は、最後に印刷された1部を使用します。
  6. [色合わせ前] で印刷原稿の用紙サイズを指定します。[不定形] を指定した場合は、[副走査] に副走査方向の用紙の長さを入力します。



m582om5774

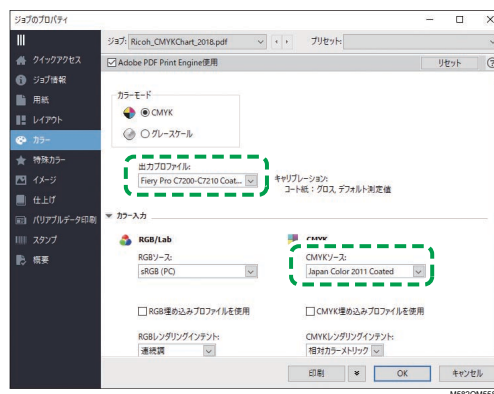
★重要

- 読み取る原稿の用紙サイズと異なる選択をすると、紙詰まりが発生することがあります。
7. 「色合わせ前」セクションで「読み込み」を選択します。読み取りが完了すると、「色合わせ前」セクションに読み取った画像が表示されます。
  8. プロファイルの作成に進みます。詳しくは、P.69 「色合わせをしてプロファイルを作成する」を参照してください。

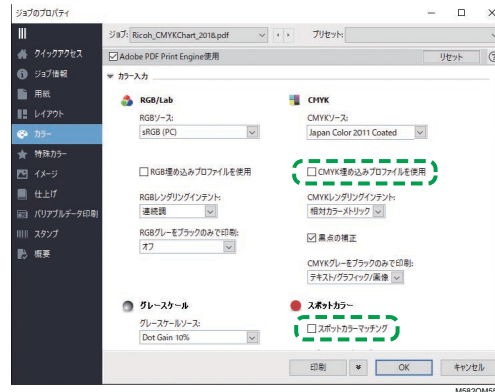
## Fieryを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷する

Fieryを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷するには、次の手順を実行します。

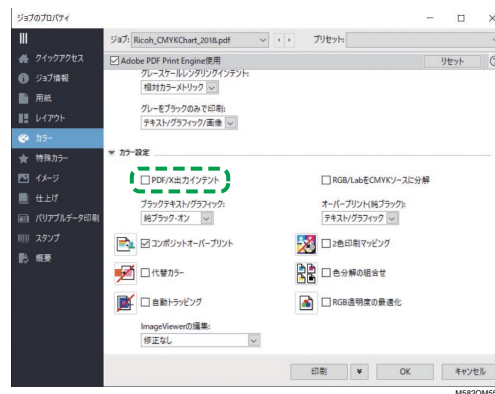
1. 「カラー」セクションで、「出力プロファイル」を使用する用紙に合わせたプロファイルに設定するか、「かんたん色調整」を使用して更新したプロファイルを指定します。



2. [CMYKソース] で、[ColorWise オフ] または [変換を省略] 以外の設定を選択します。
3. [埋め込みCMYKプロファイルを使用] のチェックを外します。



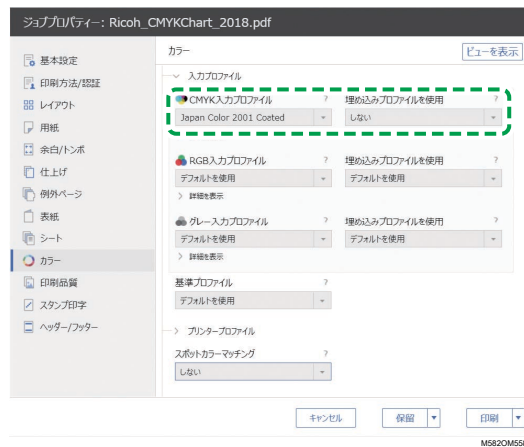
4. [スポットカラーマッチング] のチェックを外します。
5. [PDF/X出カインテント] のチェックを外します。



## TotalFlow プリントサーバーを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷する

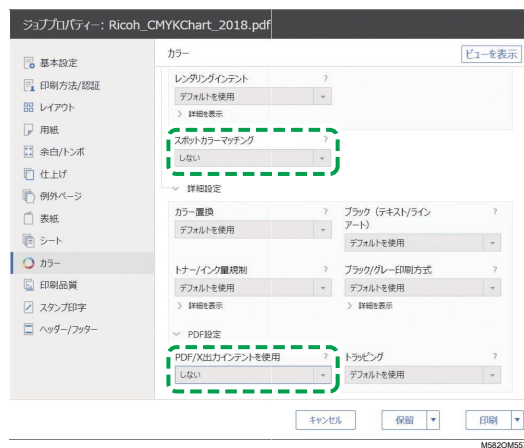
TotalFlow プリントサーバーを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷するには、次の手順を実行します。

1. [カラー] セクションで、[プリンタープロファイル、おもて] を使用する用紙と一致するプロファイルを設定するか、[かんたん色調整] を使用して更新したプロファイルを指定します。
2. [CMYK入力プロファイル] で、[パススルー] 以外の設定を選択します。



3. [CMYK入カプロファイル] の横にある [埋め込みプロファイルを使用] を [しない] に設定します。
4. [スポットカラーマッチング] を [しない] に設定します。

4



5. [PDF/X出カインテントを使用] を [しない] に設定します。

## 色合わせをしてプロファイルを作成する

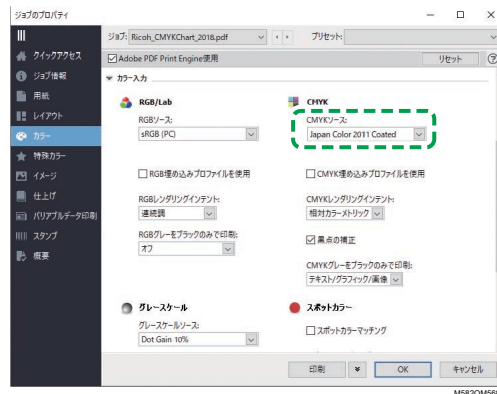
[色合わせ前] セクションに表示されている画像で色合わせを実行し、プロファイルを作成します。

色合わせを実行し、プロファイルを作成するには、次の手順を実行します。

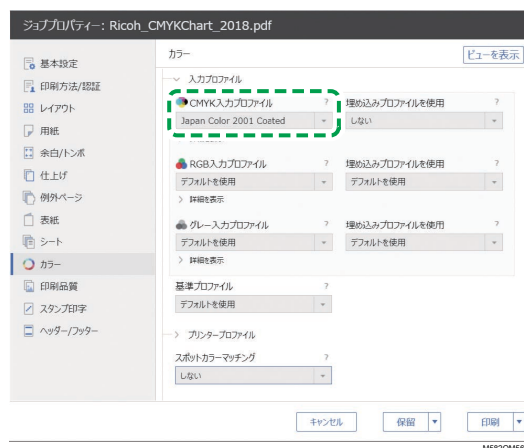
1. 原稿データを印刷するときに、印刷設定に指定したプロファイルを確認します。

↓ 補足

- 確認する項目名は、使用するDFEによって異なります。
  - Fiery では、設定名は [CMYKソース] です。



- TotalFlow プリントサーバーでは、設定名は [CMYK入力プロファイル] です。



- [色合わせ後の再現印刷] の [CMYKソース] のP.69「1」で、手順2で使用したプロファイルを指定します。



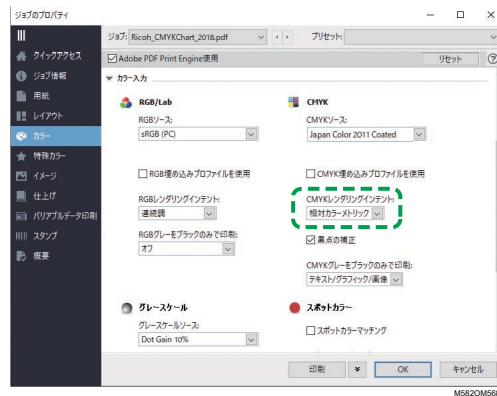
↓ 補足

- プロファイルを追加するには、[追加] ボタン (+) を選択し、追加するプロファイルを指定します。
- 原稿データを印刷したときに、印刷設定に指定されていたレンダリングインテントを確認します。

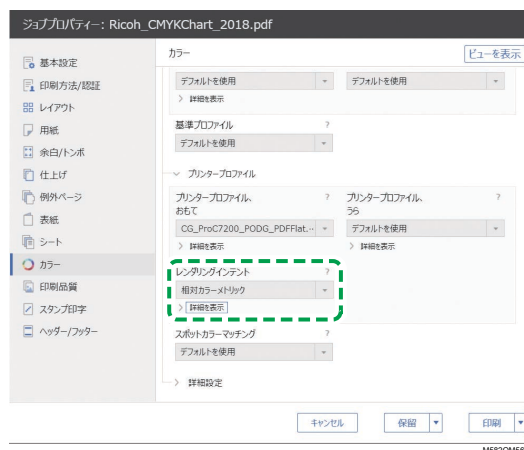


↓ 補足

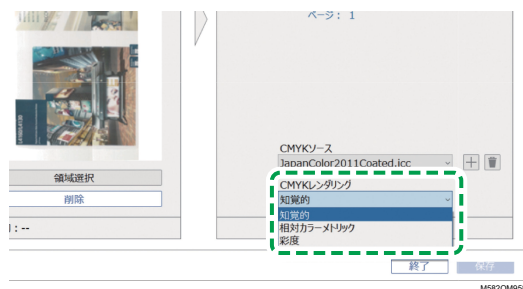
- 確認する項目名は、使用するDFEによって異なります。
  - Fiery では、設定名は [CMYKレンダリングインテント] です。



- TotalFlow プリントサーバー では、設定名は [レンダリングインテント] です。



- [色合わせ後の再現印刷] で [CMYKレンダリング] を指定します。



↓ 補足

- Fieryで [連続調] を指定していたときは [知覚的] を、 [ビジネスグラフィック] を指定していたときは [彩度] を指定します。
- [色合わせ実行] を選択します。



色合わせ処理が開始され、プロファイルが作成されます。処理が終わるまで待ってください。色合わせ処理が完了すると、[色合わせ後の再現印刷] に処理された画像が表示されます。

6. 色合わせが適用された後の色差平均値（シミュレート）を確認します。



m5820m5775

#### 補足

- 色差平均値は、画像内のすべての画素の色差を平均して算出されます。

7. 色差マップで色差を確認します。

1. [色差マップ表示] を選択します。



色差マップが表示され、ボタンのラベルが [色差マップ非表示] に変更します。

2. 色差を確認します。



m582om5776

↓ 補足

- 色差は用紙の色の値を除いて端部を切り捨てて算出されます。
- マップの明るい部分は色差が大きいいことを示します。

3. [色差マップ非表示] を選択します。

8. オプション：原稿データと読み取った色見本データを含むファイルを保存します。

1. 原稿データと読み取った色見本データを含むファイルを保存するには、[色見本合わせ] ダイアログの左上で [保存] を選択します。
2. 原稿データと色見本データを保存するフォルダーがまだ作成されていない場合は、[フォルダー選択] ダイアログで [新しいフォルダー] を選択します。次に、新しいフォルダーの名前を入力します。
3. 原稿データと色見本データを保存するフォルダーを選択し、[新しいフォルダー] をクリックします。  
原稿データと色見本データを選択したフォルダーに保存されます。

9. プロファイルを保存するには、[色見本合わせ] ダイアログの右下にある [保存] を選択します。

↓ 補足

- プロファイルのファイル名は *Match\_yyyymmddhhmm.icc* という形式で割り当てられます。必要に応じて変更してください。

10. [終了] を選択します。

色合わせ処理が完了し、プロファイルが保存されます。色見本のデータを保存しておけば、次回の色合わせが必要なときにそれを読み込み、同じ色見本をベースにプロファイルを作成することができます。

## Fieryでプロファイルを使用して原稿データを印刷する

色合わせで作成されたプロファイルを使用し、色見本に合わせた色で原稿データを印刷します。

### ↓ 補足

- 操作手順は、使用しているDFEによって異なります。FieryまたはTotalFlow プリントサーバー以外のDFEを使用しているときは、DFEの取扱説明書を参照してください。
  1. Fiery Command Workstationを開始します。
  2. システム管理者としてアプリケーションにログインします。
  3. [サーバー] → [データセンター] をクリックします。
  4. [リソース] → [プロファイル] をクリックします。
  5. [インポートを] をクリックし、[CMYKソースとシミュレーション] を指定します。
  6. 作成されたプロファイルを指定します。  
「Fiery」にプロファイルがインポートされます。
  7. 印刷設定の[CMYKソース:] でインポートしたプロファイルを指定します。
  8. その他の項目は、色合わせを実行する前の原稿データを印刷したときと同じ設定を指定します。
  9. 原稿データを印刷します。

## TotalFlow プリントサーバーでプロファイルを使用して原稿データを印刷する

色合わせで作成されたプロファイルを使用し、色見本に合わせた色で原稿データを印刷します。

### ↓ 補足

- 操作手順は、使用しているDFEによって異なります。FieryまたはTotalFlow プリントサーバー以外のDFEを使用しているときは、DFEの取扱説明書を参照してください。
  1. 管理者権限を持つアカウントでTotalFlow プリントサーバーを起動します。
  2. [設定] → [プロファイル] をクリックします。
  3. [カラーマネージメント] → [プロファイル] をクリックします。
  4. [CMYK入力プロファイルで]、[編集] ボタン (✎) をクリックします。
  5. [インポート] → [CMYKソースとシミュレーション] をクリックします。
  6. 作成したプロファイルを指定し、[インポート] をクリックします。
  7. [CMYK入力プロファイル] を指定し、[OK] をクリックします。
  8. 作成したプロファイルを指定します。  
「TotalFlow プリントサーバー」にプロファイルがインポートされます。
  9. 印刷設定の[CMYK入力プロファイル] でインポートしたプロファイルを指定します。

10. その他の項目は、色合わせを実行する前の原稿データを印刷したときと同じ設定を指定します。
11. 原稿データを印刷します。

## 応用

複数ページの原稿データを使用したり、ページの特定の領域を指定したりすることで、色の再現性の品質を高くすることができます。

### 複数ページの原稿データを使用する

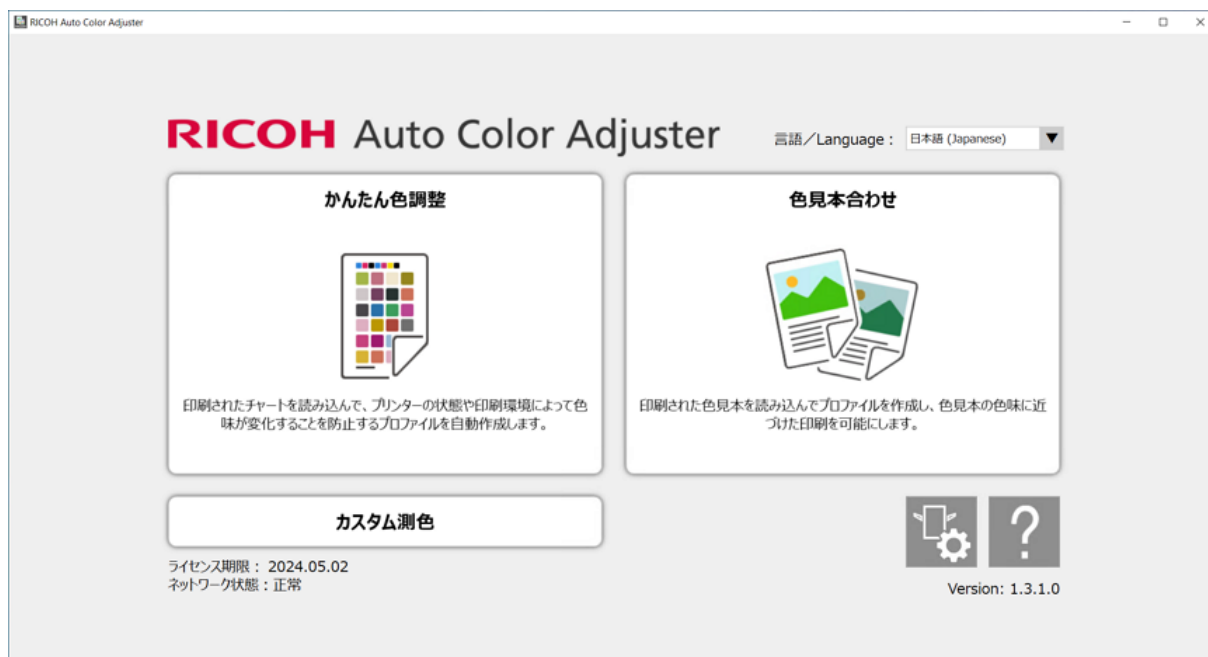
最大15ページの原稿を使用して、色の再現性の品質を高くします。

複数ページの原稿データを使用するには、次の手順を実行してください。

1. 原稿データ（PDF）を印刷します。
  1. 色合わせを実行するプリンターを選択します。
  2. 原稿データを印刷します。印刷設定については、P.67 「Fieryを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷する」またはP.68 「TotalFlow プリントサーバーを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷する」を参照してください。

★重要

- 印刷時は原稿データの拡大や縮小はしないでください。
2. コンピューターで [色見本合わせ] をクリックします。

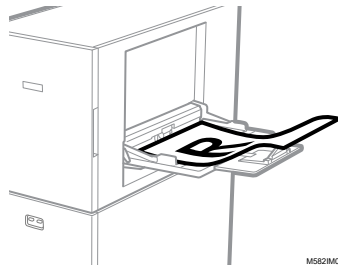


[色見本合わせ] 画面が表示されます。

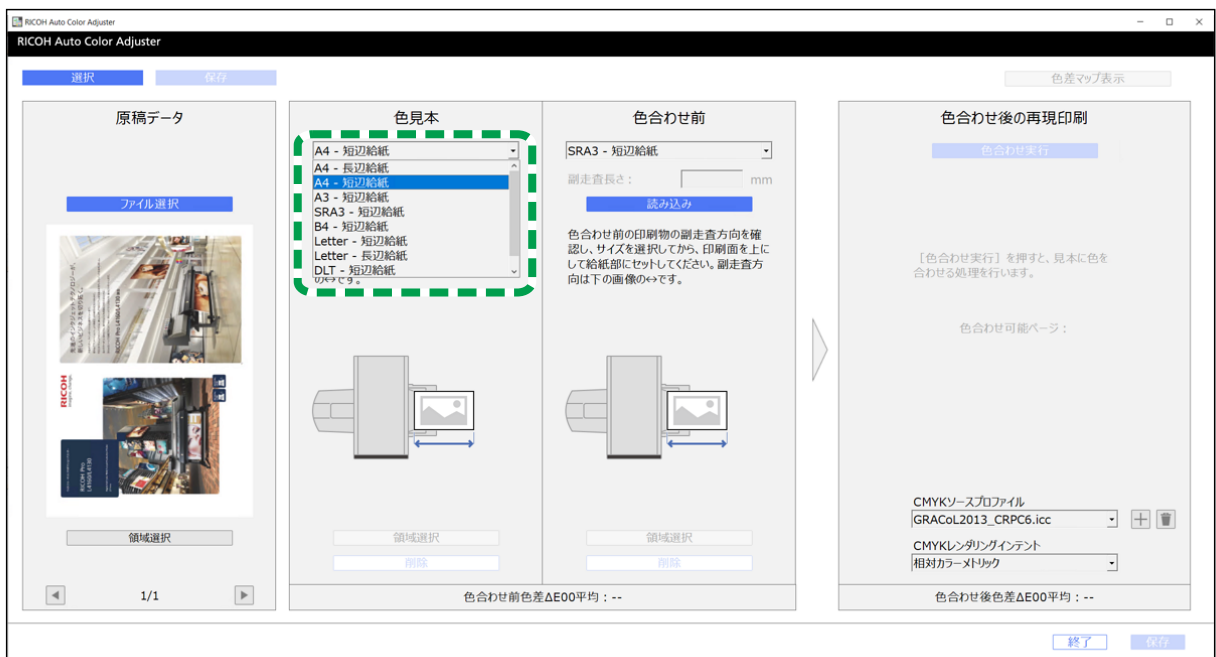
m582om0850

## 補足

- 画面に表示されている項目を左から右に操作します。
3. [原稿データ] セクションで [ファイル選択] をクリックします。
  4. [原稿データを選択] ダイアログで、原稿データを含むファイルを選択します。選択したファイルが [原稿データ] セクションに表示されます。
  5. [前のページ] ボタン (◀)、[次のページ] ボタン (▶) をクリックして、色合わせのページに移動します。
  6. 色見本の読み取り面を上にして本機の給紙トレイにセットします。詳しくは、P.27「給紙トレイに原稿/チャートをセットする」を参照してください。



7. [色見本] セクションで、印刷する色見本の用紙サイズを選択します。
8. [不定形] を選択した場合は、[副走査] に副走査方向の用紙の長さを入力します。



m582om5772

## ★重要

- 読み取る色見本の用紙サイズと異なる選択をすると、紙詰まりが発生することがあります。
9. [色見本] セクションで、[読み込み] を選択します。読み取りが完了すると、[色見本] セクションに読み取った画像が表示されます。

10. 印刷された原稿の読み取り面を上にして本機にセットします。
11. [色合わせ前] で印刷原稿の用紙サイズを指定します。[不定形] を指定した場合は、[副走査] に副走査方向の用紙の長さを入力します。



m5820m5774

★重要

- 読み取る原稿の用紙サイズと異なる選択をすると、紙詰まりが発生することがあります。
12. [色合わせ前] セクションで [読み込み] をクリックします。読み取りが完了すると、[色合わせ前] に読み取った画像が表示されます。
  13. すべてのページを読み取るには、手順3から13を繰り返します。
  14. [原稿データ] セクションで、[前のページ] ボタン (◀) と [次のページ] ボタン (▶) をクリックし、すべてのページが読み込まれたことを確認します。
  15. プロファイルの作成に進みます。詳しくは、P.69 「色合わせをしてプロファイルを作成する」を参照してください。

## 領域と向きを指定する

面付けされた原稿データがページごとに印刷されているときに色合わせする場合は、すべてのページで同じ領域と向きを指定すると、色再現性の品質が向上します。また、[位置合わせエラー] が表示されたときは、領域を指定して位置を合わせます。

領域と向きを指定するには、次の手順を実行します。

1. 原稿データ (PDF) を印刷します。
  1. 色合わせを実行するプリンターを選択します。

- 印刷設定に必要な指定をして原稿データを印刷します。印刷設定については、P. 67 「Fieryを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷する」またはP. 68 「TotalFlow プリントサーバーを使用して色合わせ用PDFファイルを印刷する」を参照してください。

★重要

- 印刷時は原稿データの拡大や縮小はしないでください。
- コンピューターで「色見本合わせ」をクリックします。



m582om0850

「色見本合わせ」画面が表示されます。

↓補足

- 画面に表示されている項目を左から右に操作します。
- 保存された原稿データと色見本があれば、それらを読み込みます。
    - 指定された領域の保存された原稿データと色見本を読み込むには、「選択」を選択します。
    - 「フォルダー選択」ダイアログで、原稿データと読み取った色見本データを含むファイルを選択します。
    - 「フォルダーの選択」をクリックします。  
原稿ファイルと色見本の指定された領域が「色見本合わせ」ダイアログに表示されます。
  - 指定された領域の保存した色見本がない場合は、読み取ってください。
    - 「原稿データ」セクションで「ファイル選択」をクリックします。
    - 「原稿データを選択」ダイアログで、原稿データを含むファイルを選択します。  
選択したファイルの画像が「原稿データ」セクションに表示されます。
    - 「原稿データ」セクションで「領域選択」をクリックします。

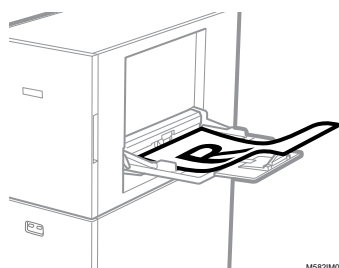


4. 画像の向きを変更するには、[左に90度回転] または [右に90度回転] をクリックします。
5. 領域を指定するには、指定する領域の角をクリックし、対角にドラッグします。

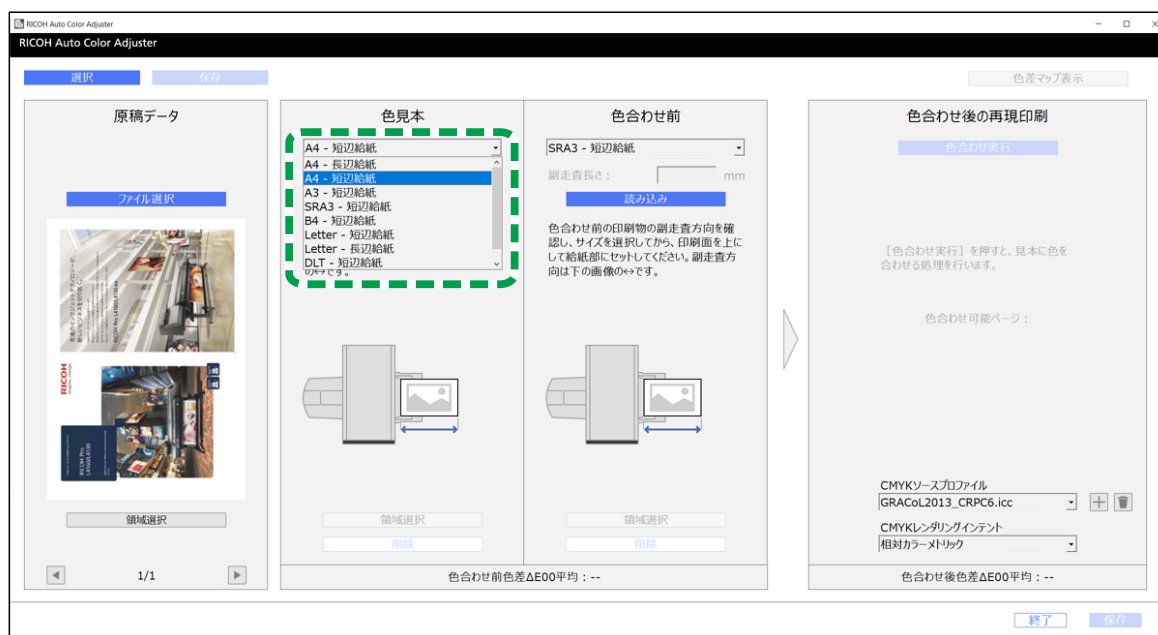


指定した領域が青枠で示されます。

6. [OK] をクリックします。  
[原稿データ] で指定した領域と向きの画像が表示されます。
7. 色見本の読み取り面を上にして本機の給紙トレイにセットします。詳しくは、P. 27 「給紙トレイに原稿/チャートをセットする」を参照してください。



8. [色見本] セクションで、色見本の用紙サイズを選択します。[不定形] を選択した場合は、[副走査] に副走査方向の用紙の長さを入力します。



m582om5772

## ★重要

- 読み取る色見本の用紙サイズと異なる選択をすると、紙詰まりが発生することがあります。
9. [色見本] セクションで、[読み込み] を選択します。  
読み取りが完了すると、[原稿データ] で選択した領域に合わせた画像が[色見本] に表示されます。
  10. 画像の選択した領域の指定を変更するには、[色見本] セクションの[領域選択] をクリックし、再度領域を指定します。手順「4」の4.4~4.6と同じ手順を使用します。
5. 印刷された原稿の読み取り面を上にして本機にセットします。
  6. [色合わせ前] セクションで、印刷した原稿のサイズを選択します。[不定形] を選択した場合は、[副走査] に副走査方向の用紙の長さを入力します。

## ★重要

- 読み取る原稿の用紙サイズと異なる選択をすると、紙詰まりが発生することがあります。
7. [色合わせ前] セクションで[読み込み] をクリックします。  
読み取りが完了すると、[原稿データ] で選択した領域に合わせた画像が[色合わせ前] に表示されます。
  8. 画像の選択した領域の指定を変更するには、[色合わせ前] の[領域選択] をクリックし、再度領域を指定します。手順「4」の4.4~4.6と同じ手順を使用します。
  9. プロファイルの作成に進みます。詳しくは、P.69 「色合わせをしてプロファイルを作成する」を参照してください。

## こまったときには（色見本合わせ）

[色見本合わせ] にメッセージが表示されたときの対処方法について説明します。色再現性の品質を改善するための手順についても説明します。

## ↓補足

- 本機で紙詰まりやその他の問題が発生したときや、アプリケーションの起動に失敗したときは、以下を参照してください。
  - P.107 「本機が操作できないとき」
  - P.110 「メッセージが表示されたとき（全機能共通）」
  - P.112 「用紙が詰まったとき」
- [色見本合わせ] 画面が表示されず、メニュー画面で[色見本合わせ] をクリックしてもメッセージが表示されない場合は、メニュー画面を閉じてからWindowsを再起動してください。それでも[色見本合わせ] 画面が表示されない場合は、サービス担当者に連絡してください。

## メッセージが表示されたとき（色見本合わせ）

メッセージ	原因	対処方法と参照先
[CMYKソースプロファイル設定エラー]	[色合わせ後の再現印刷]の[CMYKソース]が指定されていない。	[色合わせ後の再現印刷]の[CMYKソース]で、原稿データを印刷したときに印刷設定で指定したプロファイルを指定します。詳しくは、P.69「色合わせをしてプロファイルを作成する」を参照してください。
[位置合わせエラー]	[原稿データ]に指定した画像が色合わせに使用できない。	ベタ塗りの画像や線対称・回転対称の絵柄など、画像によっては色合わせができません。指定した画像が対応しているか確認します。詳しくは、P.62「色見本合わせに対応している原稿データ形式」を参照してください。
	読み取った原稿または色見本が[原稿データ]に表示される画像と一致していない。	[原稿データ]に表示されている画像と一致する原稿または色見本を読み取ってください。
	[色見本]や[色合わせ前]で読み込んだ画像の領域や向きが[原稿データ]の[領域選択]で指定されている領域や向きと一致していない。	[色見本]と[色合わせ前]の[領域選択]に[原稿データ]で指定されている画像と同じ画像を指定し、原稿データと同じ領域と向きを指定してください。詳しくは、P.77「領域と向きを指定する」を参照してください。
[色合わせエラー]	何らかの設定が正しく指定されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>手順を最初からやり直してください。</li> <li>[位置合わせエラー]が発生した場合は、対処してください。</li> </ul>
「[###]は上書き禁止です。」 [###]はプリインストールされたファイル名を表します。	[色合わせ後の再現印刷]の[CMYKソース]にプリインストールされているファイル名と同じファイル名を指定した。	<p>プリインストールされたファイルは上書きできません。</p> <p>別のファイル名を指定してください。</p>
「[###]は削除禁止です。」 [###]はプリインストールされたファイル名を表します。	[色合わせ後の再現印刷]の[CMYKソース]でプリインストールされたファイルを削除しようとした。	<p>プリインストールされたファイルは削除できません。</p>
[ファイル選択エラー] 「[###]を開けませんでした。カラースペースがサポートされていないか、またはファイルが破損している可能性があります。」 [###]はファイル名を表します。	[色合わせ後の再現印刷]の[CMYKソース]にCMYK以外のカラースペースのファイルが指定されているか、指定したファイルが破損している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>DFEのアプリケーションまたは他のアプリケーションでファイルを開くことを確認してください。</li> <li>[色合わせ後の再現印刷]の[CMYKソース]で別のファイルを指定し、ファイルが正しく動作することを確認します。</li> <li>カラースペースがCMYKのファイルを指定します。プロファイルのカラースペース情報を表示するには、プロファイル情報を表示できるアプリケーションを使用します。ICC (International Color Consortium) が提供する「ICC Profile Inspector」などで、プロファイル情報を読み込んだり、[カラースペース]の情報を確認することができます。このアプリケーションは無料</li> </ul>

メッセージ	原因	対処方法と参照先
		で使用でき、ICC Profile Inspector ( <a href="https://www.color.org/profileinspector.xalter">https://www.color.org/profileinspector.xalter</a> ) からダウンロードできます。
<p>[ファイル選択エラー]</p> <p>「[###] を開けませんでした。ファイル形式がサポートされていないか、またはファイルが破損している可能性があります。」</p> <p>[###] はファイル名を表します。</p>	<p>[原稿データ] で使用できないファイルが指定されているか、ファイルが破損している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルが [色見本合わせ] でサポートされている種類であることを確認します。</li> <li>詳しくは、P.62 「色見本合わせに対応している原稿データ形式」を参照してください。</li> <li>他のアプリケーションでファイルが開くことを確認してください。</li> <li>[原稿データ] で別のファイルを指定し、ファイルが正しく動作することを確認します。</li> </ul>
<p>[文字種類エラー]</p>	<p>プロファイル保存時にファイル名に半角英数字以外を入力した。</p>	<p>ファイル名を変更する場合は、半角英数字のみを使用してください。</p>
<p>[読み込み上限]</p>	<p>15 ページを超える数の色見本や原稿を読み取った。</p>	<p>色見本や原稿の読み取り可能なページ数は最大15ページです。事前に読み取った画像を削除するには、[原稿データ] で削除する画像に切り替え、[色見本] または [色合わせ前] で [削除] をクリックします</p>
<p>[ラスターイメージ処理エラー]</p>	<p>GPL Ghostscriptが正しくインストールされていないか、GPL Ghostscriptの環境変数が正しく指定されていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境変数の設定を確認します。</li> <li>GPL Ghostscriptを再インストールします。</li> </ul> <p>詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster : インストールガイド」を参照してください。</p> <p>エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</p>

↓ 補足

- その他のメッセージが表示された場合は、メッセージの指示に従ってください。

## 色再現性の品質を高くする

色合わせを実行した後も色差が大きいときに、色合わせを2回実行することで、色再現性の品質を改善する手順について説明します。

★ 重要

- この手順を実行した後も、色の再現性の品質が高くないことがあります。

色再現性の品質を高くするには、次の手順を実行します。

1. プロファイルを保存するには、[色見本合わせ] ダイアログの右下にある [保存] を選択します。



↓ 補足

- プロファイルのファイル名はMatch\_yyyymmddhhmm.iccという形式で割り当てられます。必要に応じて変更してください。
2. 保存したプロファイルを使用して原稿データを印刷します。詳しくは、P.74「Fieryでプロファイルを使用して原稿データを印刷する」とP.74「TotalFlowプリントサーバーでプロファイルを使用して原稿データを印刷する」を参照してください。
  3. [色合わせ前] セクションで [削除] をクリックします。
  4. 印刷された原稿の印刷面を上にして本機にセットします。
  5. [色合わせ前] で印刷した原稿のサイズを指定します。

↓ 補足

- [不定形] を指定した場合は、[副走査] に副走査方向の用紙の長さを入力します。
  - 読み取る原稿の用紙サイズと異なる選択をすると、紙詰まりが発生することがあります。
6. [色合わせ前] の [読み込み] をクリックします。  
読み取りが開始します。読み取りが終わるまで待ってください。読み取りが完了すると、読み込んだ画像が [色合わせ前] に表示されます。
  7. [色合わせ後の再現印刷] の [CMYKソース] で、手順P.70「2」で使用したプロファイルを指定します。詳しくは、P.69「色合わせをしてプロファイルを作成する」を参照してください。

↓ 補足

- プロファイルを追加するには、[追加] ボタン (+) をクリックし、追加するプロファイルを指定します。
8. [色合わせ実行] をクリックし、再度色差を確認します。



## 5. 管理コンソール

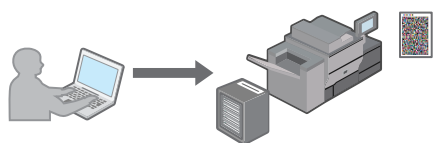
- 管理コンソールの流れ
- 管理コンソールで色調整結果を確認する
- こまったときには（管理コンソール）

各種認証基準でプリンターの色調整結果の簡易判定を行います。プリンターごとに、判定結果の経時変化の記録を管理できます。

また、レポートファイルを印刷して、各プリンターの印刷品質の管理に使用できます。

### 管理コンソールの流れ

1. 色判定で使用するテストチャートをプリンターの [かんたん色調整] で印刷し、色検証データを取得します。



2. [かんたん色調整] で認証用チャートを本機で読み込みます。



色検証データは、USBケーブルで本機に接続しているコンピューターに保存されます。

3. コンピューターに [管理コンソール] を表示し、経時変化を確認します。

#### ↓ 補足

- データを使用して、各プリンターの色の状態を管理したり、CSV形式のレポートファイルを印刷したりできます。
- 色検証データは、目的に応じて次の場合に取得します。
  - 色判定結果を確認する： [かんたん色調整] で色調整を実行した後
  - プリンターで色の経時変化を確認する：定期的に、または納品物の本番印刷を実行する前
- [管理コンソール] は、USBケーブルで本機と直接接続しているコンピューターから、または別のコンピューターからネットワーク経由で本機に接続して使用できます。

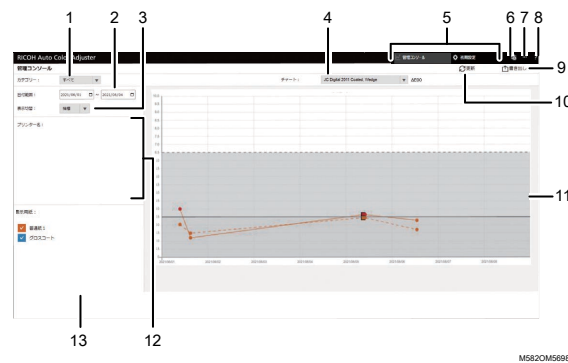
### 管理コンソールで色調整結果を確認する

[かんたん色調整] で色調整と色判定の結果の経時変化を確認し、プリンターのカラー状態を管理できます。

## 管理コンソール画面の使いかた

WebブラウザのアドレスバーにコンピューターのIPアドレスとポート番号を入力し、  
 [管理コンソール] 画面を表示します。

詳しくは、P.24 「Webブラウザで管理コンソールを起動する」を参照してください。



### 5

#### 1. [ロケーション:]

グラフを表示するロケーションを選択します。ロケーションは [初期設定] で登録されているプリンターのグループです。すべてのプリンターを表示するには、[すべて] を選択します。

#### 2. [日付範囲:]

グラフを表示する期間を指定します。

#### 3. [表示切替:]

グラフをプリンターの機種ごとに表示するか、用紙ごとに表示するかを指定します。

#### 4. [チャート:]

グラフに表示するチャートを以下から選択します。

- [JC Digital 2011 Coated, Wedge] : Japan Color control strip (54色) の測定結果と同色の測定結果の平均値からJapan Color 2011 Coatedの色再現性を確認します。
- [ISO12647-8 Coated V3 F51] : Fogra Media Wedge V3 (72色) の測定結果と同色の4回の測定結果の平均値からFogra51の色再現性を確認します。
- [Verify GRACoL2013, Wedge] : Digital Press control strip (84色) の測定結果と同色の4回の測定結果の平均値からGRACoL2013の色再現性を確認します。
- [Simple Gray Scale, Wedge 2013] : Digital Press control strip 2013 (84色 x 4セットの平均) の測定結果からSimple Grayscaleの色再現性を確認します。
- [ISO12647-8:2021 Coated V3 F51] : Fogra Media Wedge (72色 x 4セットの平均) の測定結果からISO 12647-8:2021 [VPC]の色再現性を確認します。

#### 5. [管理コンソール] / [初期設定]

[管理コンソール] と [初期設定] の画面を切り替えます。

#### 9. 表示言語選択アイコン (🌐)



表示言語を切り替えます。英語、日本語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、オランダ語、イタリア語に切り替えることができます。

#### 7. 使用しているソフトウェアアイコン (☰)

使用しているソフトウェアを確認します。

#### 8. マニュアル表示アイコン (?)

マニュアルが表示されます。

#### 9. [書き出し]

レポートファイルを CSV 形式で保存します。

#### 10. [更新]

[日付範囲:] を変更した後、値を更新します。

#### 11. グラフ

[ロケーション:]、[表示切替:]、[日付範囲:]、[チャート:] に指定した設定に対応する値が、日時を横軸としたグラフに表示されます。グラフについて詳しくは、P.87「[グラフの読みかた](#)」を参照してください。

#### 12. [プリンター名:]

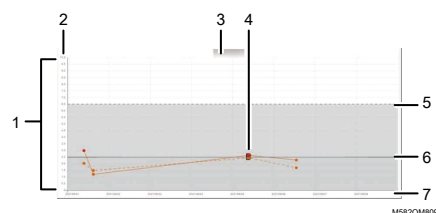
選択した [ロケーション:] に登録されているプリンターを示します。プリンターのチェックを外してグラフ上のプロットを非表示にすることで、表示するグラフを絞り込むことができます。

#### 13. [表示用紙:]

選択した [ロケーション:] に登録されている [表示用紙:] が表示されます。表示するグラフを絞り込むには、[表示用紙:] のチェックを外してグラフ上のプロットを非表示にします。

## グラフの読みかた

[管理コンソール] 画面では折れ線グラフが表示されます。



#### 1. 折れ線グラフ

各プリンターまたは用紙ごとにグラフ線が表示されます。線の色は、[プリンター名:] または [表示用紙:] のチェックの色に対応します。

実線は色差平均値、点線は最大色差を示します。

#### 2. 色差 ( $\Delta E_{2000}$ )

縦軸に色差の値が表示されます。

#### 3. プリンター名

## 4. プロット●

プロット上にマウスカーソルを合わせると、データが取得された日時と色差が表示されます。

表示された閾値を外れた値のプロットは赤で、色調整でICCプロファイルを登録した後に初めて色判定を実行したときの値は■で表示されます。

## 5. 閾値（最大）

〔初期設定〕で指定した閾値の最大値は横の破線で表示されます。

## 6. 閾値（平均）

〔初期設定〕で指定した閾値の平均値は横の実線で表示されます。

## 7. 日付



横軸に日付が表示されます。

## 色の経時変化を確認する

〔管理コンソール〕で色の経時変化を確認できます。プリンターの最新状態を確認するには、〔かんたん色調整〕の色判定を実行してから〔管理コンソール〕画面を開きます。

色判定について詳しくは、P.44 「色判定を実行する」を参照してください。

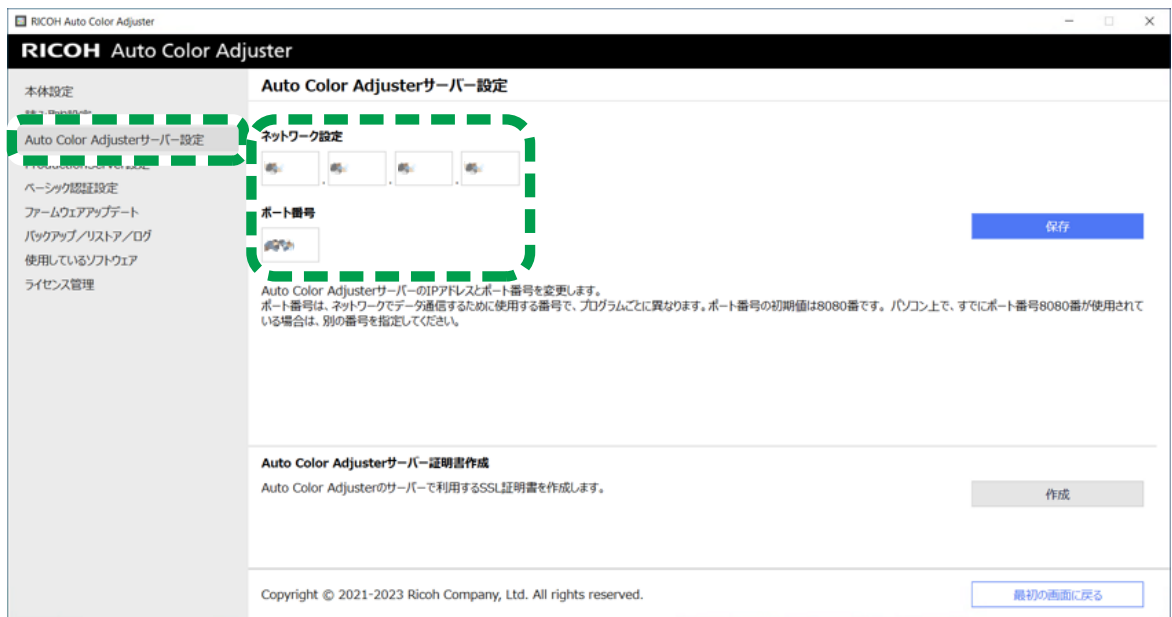
色の経時変化を確認するには、次の手順を実行します。

1. サーバーのIPアドレスとポート番号を確認します。
  1. メニュー画面が表示されていない場合は、デスクトップの〔RICOH〕アイコン（）をクリックして起動します。
  2. メニュー画面で〔本体設定〕ボタン（）をクリックします。



m5820m5958

3. [Auto Color Adjusterサーバー設定] をクリックし、IPアドレスとポート番号を確認します。



m582om8570

↓ 補足

- [管理コンソール] は、ネットワーク上のコンピューターからも使用できます。Webブラウザのアドレスバーに、USBケーブルで本機に接続しているコンピューターのIPアドレスとポート番号を入力します。使用できるコンピューターについては、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。
- 複数台の本機を運用している場合に、1台のクライアントコンピューターを使用しているときは、管理者にサーバーのIPアドレスとポート番号を確認してください。

2. Webブラウザを開き、アドレスバーにIPアドレスとポート番号を入力します。



↓ 補足

- 「https://(Pアドレス):(ポート番号)」の形式でIPアドレスとポート番号を入力します。コロン (:) とピリオド (.) は省略しないでください。ただし、ポート番号が「80」の場合、コロン (:) とポート番号は省略できます。

3. ユーザー名とパスワードを入力します。

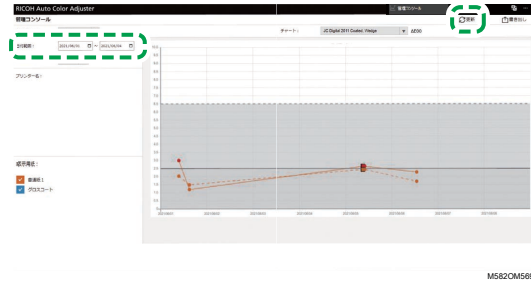
↓ 補足

- デフォルトのユーザー名とパスワードは次のとおりです。
  - ユーザー名: aca-user
  - パスワード: user

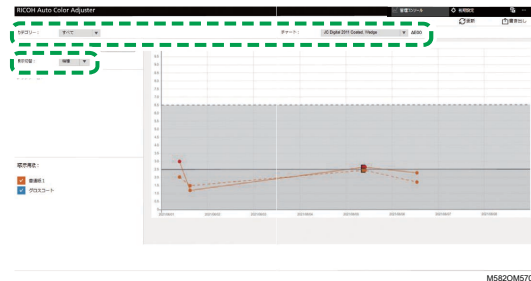
[管理コンソール] 画面が表示され、以下の設定でグラフを確認できます。

- [ロケーション:] [すべて]

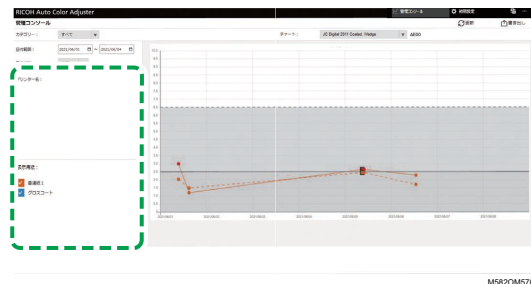
- [チャート:] [初期設定] で指定されたチャート
  - [日付範囲:] 7日前～本日
  - [表示切替:] [機種]
4. [日付範囲:] でグラフを確認する期間を指定し、[更新] をクリックします。



5. [ロケーション:]、[チャート:]、[表示切替:] の設定を変更します。



1. [ロケーション:] フィールドで、確認するプリンターがあるロケーションを指定します。
  2. [チャート:] フィールドで、色を比較する検証対象（基準）を指定します。
  3. [表示切替:] フィールドで、プリンター機種ごとにグラフを表示するか、用紙ごとにグラフを表示するかを指定します。
6. グラフに表示するプリンターや用紙を絞り込むには、非表示にする項目のチェックを外します。



7. グラフを確認します。グラフの読みかたについては、P.87 「[グラフの読みかた](#)」を参照してください。
8. レポートファイルを保存するには、[書き出し] をクリックします。レポートに保存される項目について詳しくは、P.91 「[グラフデータを含むレポート](#)」を参照してください。  
表示されている期間の各項目の値が、CSV形式で保存されます。
9. Webブラウザを閉じます。

## グラフデータを含むレポート

[管理コンソール] 画面に表示される折れ線グラフを基にしたレポートをエクスポートできます。レポートファイルはCSVファイルとしてエクスポートされます。

### レポートファイルに含まれる項目



レポートファイルの項目	説明
IP Address	IPアドレス
Server Name	DFE名
Machine Name	プリンター名
Location	ロケーション
Paper Type	用紙種類
Paper Name	用紙名
ICC Profile Name	ICCプロファイル名
Printing Condition	チャート名
Max Threshold <sup>1,2</sup> Ave Threshold <sup>1,2</sup> 95 Percentile [without boundary patches] Threshold <sup>2,5</sup> Ave [without boundary patches] Threshold <sup>2,5</sup> K gray average w $\Delta$ L Threshold <sup>4</sup> K gray maximum w $\Delta$ L Threshold <sup>4</sup> CMY gray average w $\Delta$ L Threshold <sup>4</sup> CMY gray maximum w $\Delta$ L Threshold <sup>4</sup> CMY gray average w $\Delta$ Ch Threshold <sup>4</sup> CMY gray maximum w $\Delta$ Ch Threshold <sup>4</sup> CMY gray DeltaCh AVE Threshold <sup>5</sup> CMY gray DeltaCh MAX Threshold <sup>5</sup> Paper White DELTA Threshold <sup>5</sup>	各種チャートの基準
Date Time	測色年月日時分秒
DELTA	個々の色差の値
DELTA AVE <sup>1,3</sup>	平均色差
DELTA AVE [without boundary patches] <sup>2,5</sup>	平均色差（境界パッチを除く）
95 Percentile [without boundary patches] <sup>2,5</sup>	95パーセンタイルの色差（境界パッチを除く）
CMY gray average w $\Delta$ L <sup>4</sup>	CMYグレーの平均加重デルタL
CMY gray maximum w $\Delta$ L <sup>4</sup>	CMYグレーの最大加重デルタL

レポートファイルの項目	説明
K gray average w $\Delta$ L <sup>4</sup>	Kグレーの平均加重デルタL
K gray maximum w $\Delta$ L <sup>4</sup>	Kグレーの最大加重デルタL
CMY gray average w $\Delta$ Ch <sup>4</sup>	CMYグレーの平均加重デルタCh
CMY gray maximum w $\Delta$ Ch <sup>4</sup>	CMYグレーの最大加重デルタCh
CMY gray DeltaCh AVE <sup>5</sup>	コンポジットグレーの平均色差
CMY gray DeltaCh MAX <sup>5</sup>	コンポジットグレーの最大色差
Paper White DELTA <sup>5</sup>	紙白の色差

- 1 [Japan Color Digital 2011 Coated, Wedge] のチャートを使用時
- 2 [ISO12647-8 Coated V3 F51] のチャートを使用時
- 3 [Verify GRACoL2013, Wedge] のチャートを使用時
- 4 [Simple Gray Scale, Wedge 2013] のチャートを使用時
- 5 [ISO12647-8:2021 Coated V3 F51] のチャートを使用時

## こまったときには（管理コンソール）

【管理コンソール】を正しく操作できないときの対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
WebブラウザでIPアドレスを入力しても、404エラーが発生し、【管理コンソール】画面が表示されない。	IPアドレスまたはポート番号が正しく入力されていない。	正しいIPアドレスとポート番号を入力してください。IPアドレスとポート番号の間には必ずコロン(:)を入力してください。  IPアドレスとポート番号は、【本体設定】ボタン（  ）をクリックすると表示される【本体設定】の【Auto Color Adjusterサーバー設定】で確認できます。クライアントコンピューターを使用するときは、管理者に正しいIPアドレスとポート番号を確認してください。
	古いデータキャッシュがWebブラウザに残っている。	【管理コンソール】画面で、【Shift】キーを押しながら【F5】キーを押してください。Webブラウザのキャッシュがクリアされ、ページが再読み込みされます。
	本機を複数台で操作しているときに、クライアントコンピューターからサーバーにアクセスできない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターがネットワークに接続されていることを確認してください。</li> <li>• コンピューターとサーバーのWindowsを再起動してください。</li> </ul> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>
404エラーが発生します。【初期設定】画面で【管理コンソール】をクリックしても、【管理コ	Webブラウザのキャッシュに古いデータが残っているか、サーバーのサービスに不具合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 【管理コンソール】画面で、【Shift】キーを押しながら【F5】キーを押してください。Webブラウザのキャッシュがクリアされ、ページがリロードされます。</li> </ul>

状態	原因	対処方法と参照先
ンソール] 画面が表示されない。		<ul style="list-style-type: none"> <li>Windowsを再起動してください。クライアントコンピュータを使用している場合は、サーバー上のWindowsも再起動してください。</li> </ul> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>
[管理コンソール] 画面が完全に表示されず、操作ができない。	Webブラウザのキャッシュに古いデータが残っているか、サーバーのサービスに不具合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>[管理コンソール] 画面で、[Shift] キーを押しながら [F5] キーを押してください。Webブラウザのキャッシュがクリアされ、ページがリロードされます。</li> <li>Windowsを再起動してください。クライアントコンピュータを使用している場合は、サーバー上のWindowsも再起動してください。</li> </ul> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>
[管理コンソール] 画面でグラフが表示されない。	誤ったチャートが指定された。	<p>正しいチャートが印刷されているか確認してください。次の手順を使用して、正しいチャート番号を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[初期設定] 画面で、[機器名称] と [用紙名] の組み合わせを指定し、[詳細情報] をクリックします。</li> <li>[認証用チャート番号] を確認します。</li> </ol> <p>詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster : インストールガイド」を参照してください。</p>
	古いデータキャッシュがWebブラウザに残っている。	[管理コンソール] 画面で、[Shift] キーを押しながら [F5] キーを押してください。Webブラウザのキャッシュがクリアされ、ページがリロードされます。
	指定されたデータに不整合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下のフォルダーが共有されていないことを確認してください。 「C:¥RicohAutoColorAdjuster¥DB」</li> <li>Windowsを再起動してください。クライアントコンピュータを使用している場合は、サーバー上のWindowsも再起動してください。</li> </ul> <p>↓ 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。</li> </ul>





## 6. カスタム測色

- カスタム測色の流れ
- カスタム測色機能を使用する
- こまったときには (カスタム測色)

定期的に印刷したテストチャートの色を測定します。測定結果をファイルに保存し、色管理や他の類似したアプリケーションを使用して管理できます。

### カスタム測色の流れ

色調整するプリンターで測色用のチャートを印刷し、本機で読み込んで色を測定します。測定結果は、IT8またはCGATS TXTの形式で保存します。このファイルを色管理アプリなどで読み込み、プリンターの色品質管理に使用します。

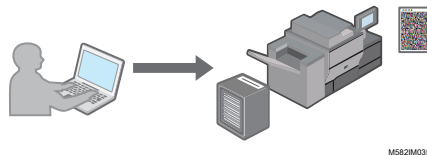
#### ↓ 補足

- 測色用チャートのリストからよく使用されるチャートを選択できますが、用紙サイズやカラーパッチを指定して新しい測色用チャートを作成できます。
1. [カスタム測色] を起動して、測色用のチャートを登録します。

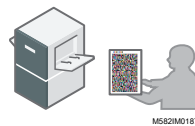


#### ↓ 補足

- 事前に登録済みの測色用チャートのいずれかを選択できます。
2. 測定するプリンターで測色用チャートを印刷します。



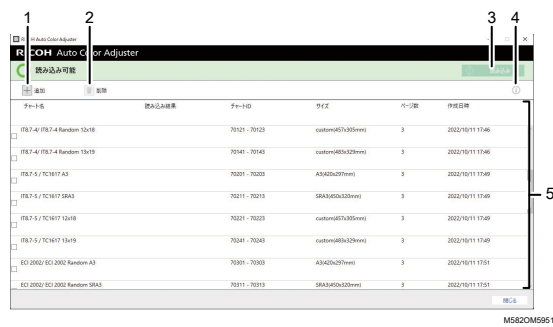
3. [カスタム測色] で、測定条件、測定結果の保存先、その他の設定を指定します。
4. 本機で、印刷した測色用チャートを読み込みます。



5. コンピューターで測定結果を管理します。

### カスタム測色画面の画面構成

コンピューターの [カスタム測色] をクリックし、[カスタム測色] 画面を表示します。画面で、測色用チャートの登録、管理、読み込みができます。



### 1. [追加]

測色用のチャートを登録します。

### 2. [削除]

選択した測色用チャートを削除します。

### 3. [読み込み]

[測定条件/保存設定] 画面を表示します。画面で、測定条件、測定結果の保存先、その他の設定を指定し、[OK] をクリックして、本機で測色用チャートを読み込みます。



- [ファイル名] フィールドに、測定結果を保存する名前を入力します。

↓ 補足

- 複数の測色用チャートを指定したときは、ファイル名を指定できません。
- 「(チャート名)+(mddd)」のファイル名が自動的に割り当てられます。
- [参照] をクリックし、ファイルの保存先フォルダーを指定します。
- [M0] (A)、[M1] (D50)、[M2] (A+UVカット) から [照明条件] を選択します。
- [測定カラースペース] フィールドで、[Lab]、[LCh]、[XYZ]、[分光]、[濃度 (ステータスT)]、[濃度 (ステータスE)] から測定用カラースペースを選択します。
- [保存ファイルフォーマット] フィールドで、測定結果を保存するファイル形式を [IT8] (\*.it8) および [CGATS.txt] (\*.txt) から選択します。

### 4. プレビュー (i)

選択したチャートのプレビューを表示します。

### 5. 測色用チャートの一覧

測色用チャートの一覧が表示されます。

## カスタム測色機能を使用する

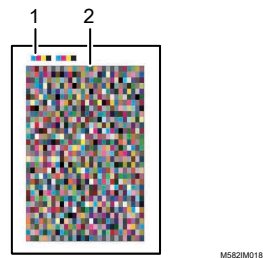
### 測色用チャートの種類

[カスタム測色] セクションでは、各種用紙サイズと各種カラーパッチのチャートを使用して、プリンターが作成する色を測定します。

測色用チャートリストには、IT8.7-3、IT8.7-4/IT8.7-4 Random、IT8.7-5/TC1617、ECI2002/ECI 2002 Random、Idealliance Control Strip 2009、Idealliance Control Wedge 2014などの測色用チャートが登録されています。準拠したい規格で対象色を測定するときに、リストからいずれかのチャートを使用します。

カスタマイズした配色のチャートで使用するときは、チャートの用紙サイズとカラーパッチを指定するテキストファイル「チャート情報ファイル」を作成し、リストに登録します。

印刷されたチャートには以下の情報が含まれています。



#### 1. カラーコード

測色用チャートのチャート番号を表示します。本機でテストチャートを読み取ると、本機でチャート番号を識別します。

#### 2. チャート

測色で使用するカラーパッチのグループです。

### 新しい測色用チャートを登録する

新しい測色用チャートを登録するには、チャート情報ファイルを作成して登録します。

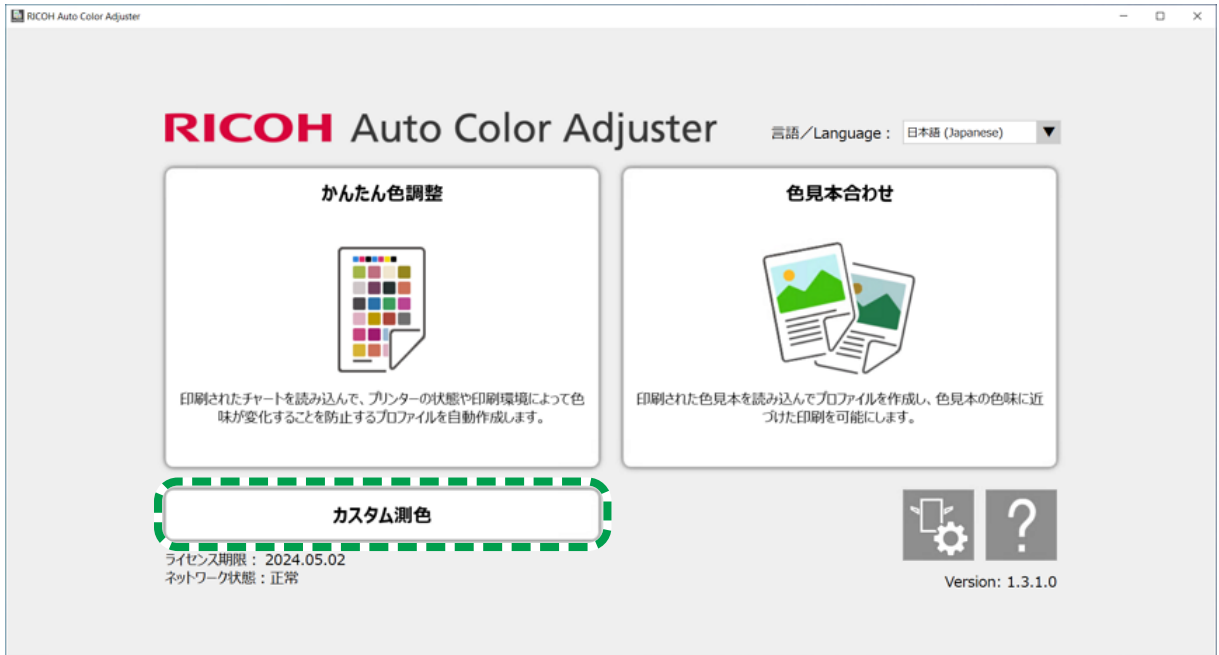
#### ★重要

- 事前に登録済みのチャートを使用するときは、測色用チャートの登録は不要です。
  1. Windows のメモ帳などのテキストエディターを使用して、テキスト形式 (.txt) のチャート情報ファイルを作成します。

↓ 補足

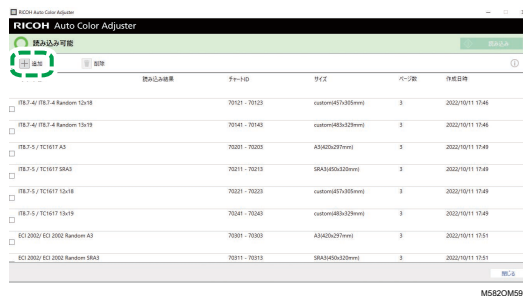
- ファイル名と保存先の指定は任意です。
- チャート情報ファイルに含める情報について詳しくは、P.99 「チャート情報ファイル」を参照してください。

2. コンピューターで [カスタム測色] をクリックします。



m582om5952

3. [追加] をクリックします。



4. [参照] をクリックして、チャート情報ファイルを選択します。



5. [OK] → [OK] をクリックします。

6. 測色用チャートの作成が終了したら、[OK] をクリックします。  
印刷用のPDFファイルやその他のファイルが作成され、測色用チャートが追加されます。

## チャート情報ファイル

チャート情報ファイルに以下の設定項目と設定値を入力します。

↓ 補足

- C:¥RicohAutoColorAdjuster¥ReferenceChart¥CMS  
¥SampleChartInfoFilesにあるサンプルチャート情報ファイルを元にカスタムチャートを作成できます。

ロケーション	設定項目	設定値
チャート情報	CHART_NAME	以下に従ったチャート名を二重引用符「"」で囲んで指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 文字コード：UTF-8</li> <li>• 禁則文字：/;*?&lt;&gt;¥ </li> <li>• 文字数：保存先フォルダのファイルパス文字列と4文字の拡張子を含めて最大259文字</li> </ul> 例：「Measure Sample1」
	SHEET_WIDTH SHEET_HEIGHT	用紙の幅と長さ（副走査方向）を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 幅：21000～33000（210～330 mm、8.2～13 inch）</li> <li>• 長さ：21000～48700（210～487 mm、8.2～19.2 inch）</li> </ul> 例：幅29700（297 mm、11.7 inch）、長さ42000（420 mm、16.5 inch）
	PATCH_WIDTH PATCH_HEIGHT	カラーパッチの横と縦の長さを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 単位：100（1mm、0.04 inch）</li> <li>• 最小：600（7mm、0.28 inch）</li> <li>• 最大：1500（15mm、0.6 inch）</li> </ul> 例：横と縦の長さともに700
カラーパッチ情報	NUMBER_OF_PATCHES	チャートのカラーパッチの総数を指定します。 例：200
	COLOR FORMAT	CMYKで固定 例のとおり、「END_DATA_FORMAT」までのすべての行を入力します。
	BEGIN_DATA END_DATA	パッチの色を定義するカラースペースでのデバイス値を指定します。 「BEGIN_DATA」行と「END_DATA」行の間に、「NUMBER_OF_PATCHES」で指定したカラーパッチ数のCMYK値を入力します。 例：「1 70 40 10 0」～「200 10 100 30 0」（4～199の値は省略）

## チャート情報ファイルの例

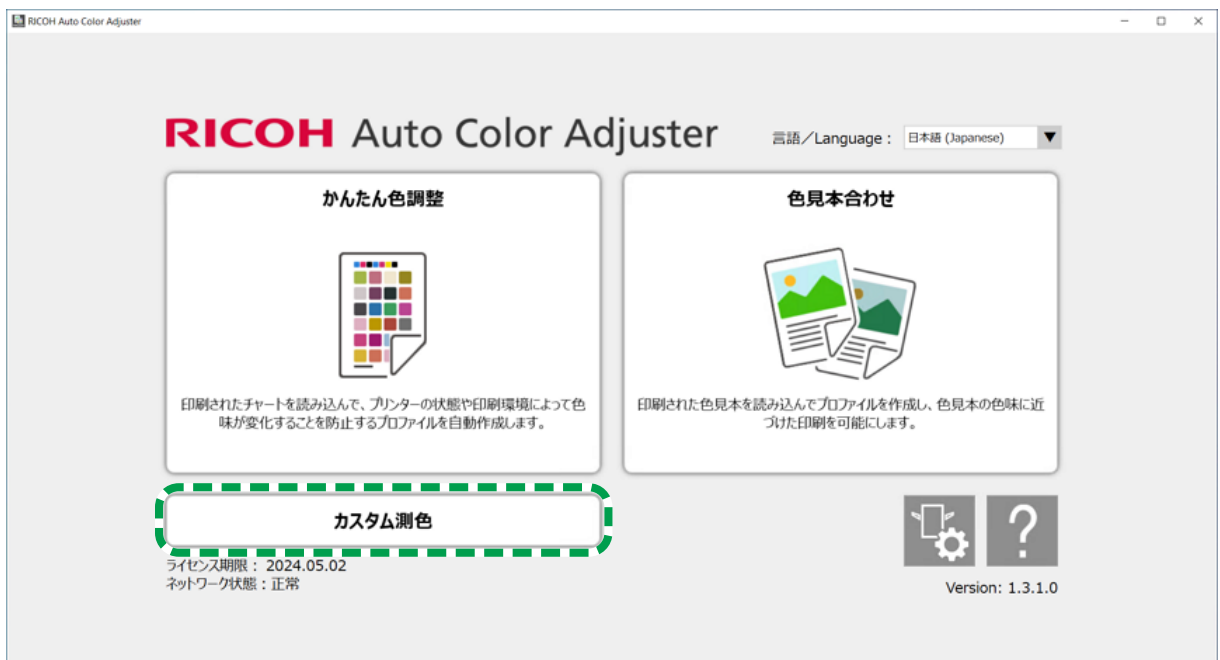
```
CHART_NAME "Measure Sample1"
SHEET_WIDTH 29700
SHEET_HEIGHT 42000
PATCH_WIDTH 700
PATCH_HEIGHT 700
NUMBER_OF_PATCHES 200
COLOR_FORMAT CMYK
BEGIN_DATA_FORMAT
SAMPLE_ID CMYK_C CMYK_M CMYK_Y CMYK_K
END_DATA_FORMAT
BEGIN_DATA
1 70 40 10 0
2 100 20 10 10
3 80 80 100 10
...
200 10 100 30 0
END_DATA
```

## 測色用チャートを確認する

[カスタム測色] セクションでは、各種用紙サイズと各種カラーパッチのチャートを使用して、プリンターが作成する色を測定します。

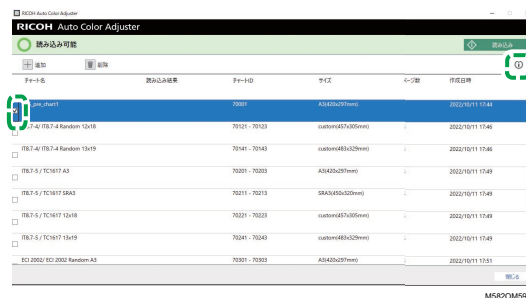
測色用チャートを確認するには、次の手順を実行します。

1. コンピューターで [カスタム測色] をクリックします。

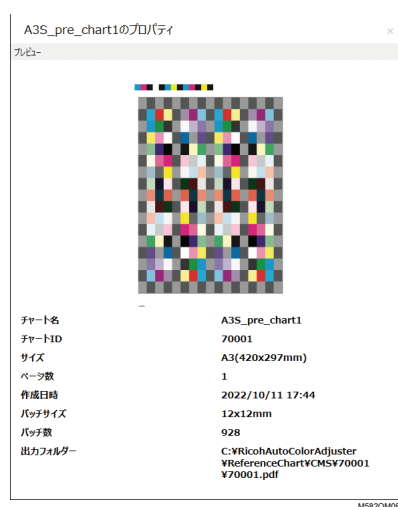


m582om5952

- 測色用チャートにチェックを付け、[情報] ボタン (i) をクリックします。



- 測色用チャートを確認します。



## カスタム測色を実行する

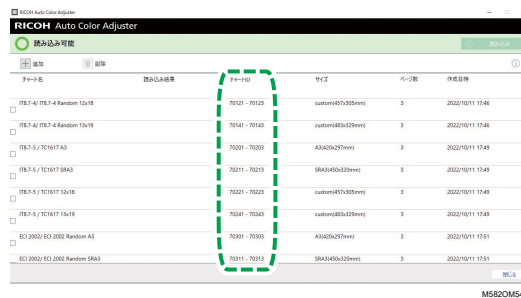
カスタム測色を実行するには、次の手順を実行します。

1. コンピューターで [カスタム測色] をクリックします。

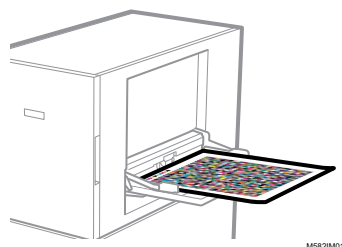


m582om5952

2. 使用する測色用チャートの [チャートID] を確認します。



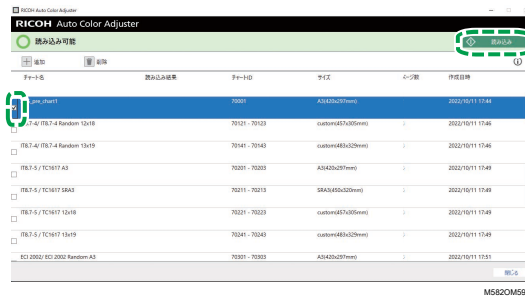
3. 測色するプリンターで、「C:¥RicohAutoColorAdjuster¥ReferenceChart ¥CMS」の各チャートIDのフォルダーに格納されているPDFを印刷します。
4. 測色用チャートの読み取り面を上にして本機にセットします。詳しくは、P.27 「給紙トレイに原稿/チャートをセットする」を参照してください。



MSR20M0185

5. 測色用チャートにチェックを付け、[読み込み] をクリックします。





6. [測定条件／保存設定] ダイアログで、測定条件、測定結果の保存先、その他の設定を指定し、[OK] をクリックします。詳しくは、P.95 「カスタム測色画面の画面構成」を参照してください。
7. [読み取り開始] をクリックします。



m582om0661

本機で測色用チャートの読み取りが開始され、指定したフォルダーにファイルが作成されます。

## こまったときには (カスタム測色)

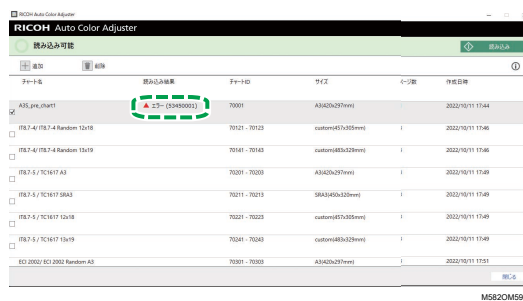
メニュー画面の [カスタム測色] をクリックしても [カスタム測色] 画面が表示されず、メッセージも表示されない場合は、メニュー画面を閉じてからWindowsを再起動してください。操作した後も [測色] 画面が表示されない場合は、サービス担当者に連絡してください。

## 補足

- 本機で紙詰まりやその他の問題が発生した場合、またはアプリケーションが起動しない場合は、以下を参照してください。
  - P.107 「本機が操作できないとき」
  - P.110 「メッセージが表示されたとき（全機能共通）」
  - P.112 「用紙が詰まったとき」

## 読み込み結果がエラーになるとき

測色用チャートを読み込んだ後、[読み込み結果] でエラーが表示された場合は、エラーコードを確認し、必要な操作をしてください。



エラーコード	原因	対処方法と参照先
02XX0002 04XX0003 04XX0009 04XX000A (XXは00~ffの16進数を表す)	システムエラーが発生した。	Windowsを再起動してください。
02XX0004 (XXは00~ffの16進数を表す)	想定外の問題が発生した。	サービス担当者に連絡してください。必要に応じて本機のログを収集してください。 詳しくは、P.107 「自動でログを収集する」またはP.109 「手動でログを収集する」を参照してください。
02010007	保存先フォルダーが削除されている。	[測定条件/保存設定] の [保存先フォルダーを選択してください。] で正しいフォルダーを指定してください。
02020008	保存先フォルダーに指定したファイル名がすでにある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>[測定条件/保存設定] の [保存先フォルダーを選択してください。] で指定したフォルダーから該当するファイルを移動または削除してください。</li> <li>[測定条件/保存設定] の [ファイル名] で正しいファイル名を指定してください。複数の測色用チャートを指定したときは、ファイル名を指定できません。「(チャート名)」</li> </ul>

エラーコード	原因	対処方法と参照先
		+(mddd)」のファイル名がファイルに自動的に割り当てられます。
0402000C	本機でエラーが発生した。	メッセージを確認し、必要に応じて操作してください。 詳しくは、P.110 「メッセージが表示されたとき (全機能共通)」を参照してください。 本機のエラーが解決した後に、本機とWindowsを再起動してください。
0403000C	読み取りに失敗した。	チャートをもう一度読み取ってください。エラーが続く場合は、チャートを用紙の中央に再印刷し、再印刷したチャートを読み取ってください。
00010006	カスタムチャートを読み取った後、測定結果ファイルが出力されない。この問題は、スキャンしたチャートのIDが、色度測定ダイアログで読み取り用に選択したチャートのIDと一致しないために発生します。	色度測定ダイアログで読み取り用に選択したチャートのIDとチャートIDが一致するチャートを読み取ってください。
020F0007	測定結果ファイルの保存先フォルダーを選択すると、[保存先フォルダーを選択してください。]フィールドは再び空白になります。	もう一度保存先フォルダーを選択します。エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
0403000D	読み取ったチャートのIDが、色度測定ダイアログで読み取り用に選択したチャートのIDと一致しない。	色度測色ダイアログで、用紙トレイに置かれたチャートと同じチャートを選択します。
[測色タイムアウトエラー] [測色ファイル作成エラー]	原稿の読み取り時に、紙詰まりや他の問題が発生した。	本機の不具合を解消してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• P.107 「本機が操作できないとき」</li> <li>• P.110 「メッセージが表示されたとき (全機能共通)」</li> <li>• P.112 「用紙が詰まったとき」</li> </ul> エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。



## 7. こまったときには

- 本機が操作できないとき
- メッセージが表示されたとき（全機能共通）
- 用紙が詰まったとき

プリンターやアプリケーションの問題を特定し、修正します。

### 本機が操作できないとき

状態	原因	対処方法と参照先
本機の電源が入らない。	本機の電源コードのプラグがコンセントから抜けている。	コンセントに電源コードのプラグを差し込んでください。
	延長コードを使用している。	延長コードは使用しないでください。 100 V、1.5 A 以上、50/60 Hz の電源コンセントに電源プラグを直接差し込んでください。
	電源コードのプラグが本機から抜けている。	付属の電源コードのプラグを本機の電源コード接続口にしっかりと差し込んでください。
	コンセントに問題がある。	他の電化製品を接続して通電を確認した別のコンセントに、電源コードのプラグを差し替えてください。 それでも本機が起動しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
ランプが赤色に点灯している。	本機に不具合が発生している。 コンピューターに表示されるメッセージを確認してそれに従って対処してください。 詳しくは、P.110 「メッセージが表示されたとき（全機能共通）」を参照してください。	

7



### 自動でログを収集する

ここでは、サービス担当者に連絡した場合などに、ログの自動収集を依頼されたときの手順について説明します。

↓ 補足

- ログには、特定の個人を識別できるデータや個人情報は含まれません。

自動でログを収集するには、次の手順を実行します。

1. RICOH Auto Color Adjuster画面が表示されていない場合は、デスクトップの [RICOH] アイコン () をクリックして起動します。
2. [本体設定] ボタン () をクリックします。



m5820m5958

3. [バックアップ/リストア/ログ] をクリックします。



m5820m5643

4. [ログの収集] セクションで [収集開始] をクリックします。
5. ファイル名と保存先を指定し、ログを保存します。  
ログはZIP形式のファイルとして保存されます。
6. [OK] → [最初の画面に戻る] とクリックします。

## 手動でログを収集する

【色見本合わせ】で色差をこれ以上小さくすることができず、ログの送信を依頼された場合は、サーバーコンピュータのログファイルをメールで送信してください。

### ★重要

- 現象が発生した直後にログを取得してください。現象が発生した後にRICOH Auto Color Adjusterを再起動したり、別の操作を実行したりすると、現象の解析に必要なログが正しく取得できません。

手動でログを収集するには、次の手順を実行します。

- サーバーコンピュータのログファイルを探します。ログの保存先については、P. 110 「ログファイルの保存先とファイル名」を参照してください。
- ログファイルをメールで送信します。

## ログファイルの保存先とファイル名

フォルダーパス	ファイル名書式
C:\¥RicohAutoColorAdjuster¥Apps¥AppsUI¥Sysdata¥reference	[yyyyMMddHHmmss]_a.csv [yyyyMMddHHmmss]_b.csv [yyyyMMddHHmmss]_L.csv
C:\¥RicohAutoColorAdjuster¥Apps¥AppsUI¥Sysdata¥target	[yyyyMMddHHmmss]_a.csv [yyyyMMddHHmmss]_b.csv [yyyyMMddHHmmss]_L.csv
C:\¥RicohAutoColorAdjuster¥Apps¥AppsUI¥tmp	after_dE_map_[ページ番号].tif before_dE_map_[ページ番号].tif org_cmyk_[PDF ファイル番号]_[PDF ページ番号].tif org_lab_[PDF ファイル番号]_[PDF ページ番号].bin org_lab_[PDF ファイル番号]_[PDF ページ番号].tif org_mask_[PDF ファイル番号]_[PDF ページ番号].tif ref_[ページ番号].bin ref_[ページ番号].tif ref_mask_[ページ番号].tif ref_registration_[ページ番号].tif tgt_[ページ番号].bin tgt_[ページ番号].tif tgt_mask[ページ番号].tif tgt_registration_[ページ番号].tif

## メッセージが表示されたとき（全機能共通）


コンピューターから本機を正しく操作できないときの対処方法について説明します。



↓ 補足

- 各機能固有のエラーメッセージの修正については、以下を参照してください。
  - P.51 「こまったときには (かんたん色調整)」
  - P.80 「こまったときには (色見本合わせ)」
  - P.92 「こまったときには (管理コンソール)」
  - P.103 「こまったときには (カスタム測色)」


メッセージ	原因	対処方法と参照先
「アプリケーションの起動に失敗しました。再実行してください。このエラーメッセージが何度も表示される場合は、サービスへ連絡してください。」	[色見本合わせ] の変数の初期化に失敗した。	RICOH Auto Color Adjuster設定のバックアップを作成し、ソフトウェアをアンインストールしてから、再度インストールしてください。  詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。  エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
「アプリケーションの起動に失敗しました。ネットワークに問題がありますので、確認してください。」	クライアントのコンピューターがサーバーにアクセスできなかったか、サーバー上のアプリケーションで問題が発生している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• コンピューターがネットワークに接続されていることを確認してください。</li> <li>• コンピューターとサーバーのWindowsを再起動してください。</li> </ul> エラーが解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
「以下の個所でエラーが発生しました。」 「主電源を一度切ってから入れ直し、アプリを再起動してください。」 「再度エラーが発生した場合には、お手数ですがサービスにご連絡ください。」  SCXXX-XX	本機に修理が必要な故障が発生した。	本機の電源を切り、再度入れ直してください。詳しくは、P.19 「本機の電源を入れる」とP.20 「本機の電源を切る」を参照してください。  エラーが解決しない場合は、メッセージとSC番号を用意してサービス担当者に連絡してください。
「以下の個所でエラーが発生しました。」 「主電源を一度切ってから入れ直し、アプリを再起動してください。」 「再度エラーが発生した場合には、お手数ですがサービスにご連絡ください。」  SCXXX-XX	本機とコンピューター間の通信に修復が必要な不具合が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機とコンピューターが2本のUSBケーブルで接続されていることを確認してください。</li> <li>• 本機の電源を切り、再度入れ直してください。詳しくは、P.19 「本機の電源を入れる」とP.20 「本機の電源を切る」を参照してください。</li> </ul> エラーが解決しない場合は、メッセージとSC番号を用意してサービス担当者に連絡してください。
「測色器が接続されていません。色度測定器を接続し、アプリケーションを再起動してください。」	本機とコンピューター間の通信に問題が発生した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本機とコンピューターが2本のUSBケーブルで接続されていることを確認してください。</li> <li>• 本機の電源が切れている場合は、電源を入れてください。</li> </ul>

メッセージ	原因	対処方法と参照先
		<p>本機の電源が入っている場合は、電源を切ってから、入れ直してください。詳しくは、P.19「本機の電源を入れる」とP.20「本機の電源を切る」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリンター設定が実行しているときは [かんたん色調整]、[色見本合わせ]、[カスタム測色]、および [本体設定] を終了し、メニュー画面から再度起動してください。メニュー画面だけが表示される場合は、RICOH Auto Color Adjusterを再起動してください。</li> <li>• Windowsを再起動します。クライアントコンピューターを使用しているときは、サーバー上のWindowsも再起動してください。</li> </ul>
「保護されていない」	クライアントコンピューターからサーバーにオンラインでアクセスしたときにサーバーに使用しているSSL証明書が導入されていない。	SSL証明書をサーバーに追加してください。詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」参照してください。
「ライセンス期限切れです。ライセンスを更新してください。」	ライセンスの有効期限が切れた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 営業担当者に連絡してください。サーバーコンピューターがインターネットに接続されているときは、ライセンスが更新された後にライセンスの状態が自動的に更新されます。</li> <li>• ライセンス情報はメニュー画面の下部に表示されます。</li> <li>• ライセンス情報を更新するには、[本体設定] ボタン (  ) をクリックし、[本体設定] → [ライセンス管理] に移動します。</li> </ul>

## 用紙が詰まったとき


本機の前ドアを開け、画面に「カバーを開けて原稿／チャートを取り除いてください。」と表示されたら用紙を取り出します。

### ⚠ 注意

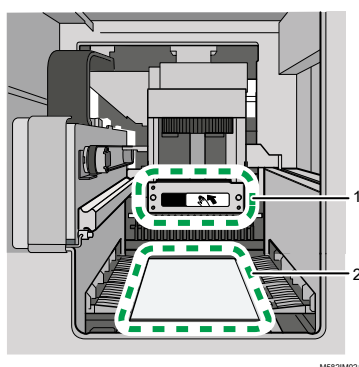
-  用紙を交換したり、詰まった用紙を取り除くときは、指を挟んだり、負傷をしないように注意してください。

## 詰まった用紙を取り除くときの注意事項

### ⚠ 注意

- 
 本機内部には、触れると故障する部品があります。詰まった用紙を取り除くときは、本機内部の部品に触れないでください。故障の原因となります。

詰まった用紙を取り除くために前ドアを開けるときは、以下に注意してください。



- 詰まった用紙を取り除くために読み取りユニットを押すときは、この箇所以外は触れないでください。
- この箇所に触れたり、部品を汚したり傷つけないように注意してください。

### ↓ 補足

- 用紙を取り除くときには、本機の電源を切らないでください。
- 用紙を取り除くには、両手で左右の端を持ち、用紙を均等に引っ張ってください。
- 詰まった用紙を取り除くときに、用紙が破れたり本機内部に紙片が残ったりしないように注意してください。本機内部に紙片が残ると、紙詰まりや故障の原因となります。
- 用紙が破れた場合は、ジグソーパズルのように紙片を組み合わせ、すべての紙片が揃っていることを確認してください。1つでも紙片が欠けている場合は、本機内部に残っていることがあります。サービス担当者に連絡してください。
- 詰まった用紙を取り除いてもメッセージが消えない場合は、本機内部に他の用紙が詰まっていないか確認してください。

## 詰まった用紙を取り除く

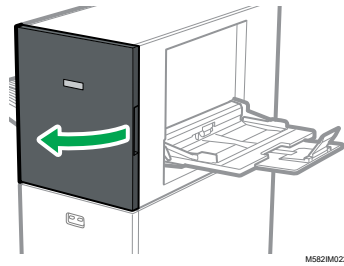
本機の前ドアを開け、以下の手順に従って詰まった用紙を取り除きます。説明は本機の前ドアの内側にも記載されています。

### ↓ 補足

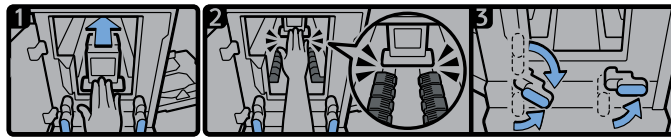
- 詰まった用紙の取り除きかたは本機の前ドアの内側にも記載されています。

詰まった用紙を取り除くには、次の手順を実行します。

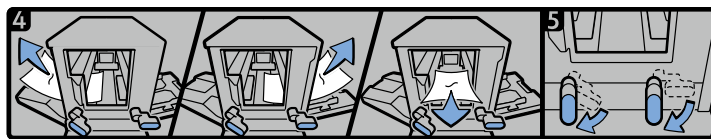
1. 本機の前ドアを開きます。



2. 読み取りユニットを押し、本機の奥に移動します(1)。



3. 読み取りユニットが黒色の用紙搬送部(2)の後側に来るように、奥に移動します。
4. 右レバーを下から右に回します(3)。
5. 左レバーを上または下から右に回します(3)。
6. 両方のレバーが図(3)の位置にあることを確認します。
7. 給紙側または排紙側から用紙を取り除きます(4)。



↓ 補足

- どちらの方向からも用紙が引き出せない場合は、本機内部から手前に向かって引き抜いてください。

8. 右レバーを下方方向に回します(5)。
9. 左レバーを下方方向に回します(5)。
10. 前ドアを閉じます。


## 頻繁に用紙が詰まる時

用紙の状態を確認してください。また、本機にどのようにセットされているか、用紙サイズが正しいかも確認してください。

## 用紙の状態

確認する項目	対処方法（該当する場合）
用紙にしわ、折れ、カールがないか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>しわ、折れ、破れのある用紙は使用しないでください。</li> <li>用紙のカールが大きい場合は、本機にセットする前にカールを直してください。</li> </ul> <p>用紙のサイズと厚さについて詳しくは、P.26「<a href="#">使用できる用紙のサイズと厚さ</a>」を参照してください。</p>
用紙のサイズと厚さは適切か。	<p>使用できるサイズと厚さの用紙を本機にセットしてください。</p> <p>用紙のサイズと厚さについて詳しくは、P.26「<a href="#">使用できる用紙のサイズと厚さ</a>」を参照してください。</p>
紙は湿気を多く含んでいるか。	<p>乾燥した環境で保管された用紙を使用し、再度印刷してください。</p> <p>お客様から受け取った色見本は、湿気を避けるためにビニール袋に入れて保管してください。</p>
用紙が密着していないか。	<p>複数の用紙をまとめてセットする場合は、給紙トレイにセットする前に、毎回、十分におおぐようにほぐしてください。</p> <p>詳しくは、P.27「<a href="#">給紙トレイに原稿/チャートをセットする</a>」を参照してください。</p>

## セットした用紙の状態

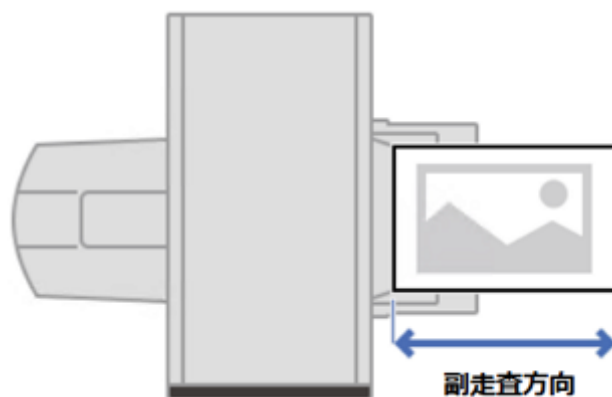
確認する項目	対処方法（該当する場合）
用紙と用紙ガイド板の間に隙間がないか。用紙に対して用紙ガイド板がきつくセットされていないか。	用紙ガイド板を用紙サイズに合わせてください。
給紙トレイは正しく使用されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>給紙トレイや用紙が周囲の壁などに当たらない場所に本機を設置してください。</li> <li>トレイの端からはみ出る用紙（縦置きでA4サイズより長いサイズ）をセットする場合は、延長トレイを引き出してください。</li> </ul>
給紙トレイの用紙が多すぎないか。	<p>トレイの上限表示 () を超えないように、用紙を給紙トレイにセットしてください。</p>

## 用紙サイズ

確認する項目	対処方法（該当する場合）
<p>【かんたん色調整】で頻繁に用紙が詰まるとき：チャートのサイズが【読み取り設定】に指定したサイズと一致しているか。</p>	<p>【読み取り設定】画面で【かんたん色調整】に指定したサイズとチャート印刷に使用する用紙のサイズが一致しているか確認してください。</p> <p>サイズが一致しない場合は、一致するサイズの用紙にチャートを印刷するか、【読み取り設定】で用紙サイズに一致するサイズを指定してください。</p> <p>詳しくは、「RICOH Auto Color Adjuster：インストールガイド」を参照してください。</p>
<p>【色見本合わせ】で頻繁に用紙が詰まるとき：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>色見本の用紙サイズが【色見本】に指定した用紙サイズや【副走査】の設定と一致しているか。</li> <li>印刷した原稿の用紙サイズが【色合わせ前】に指定した用紙サイズや【副走査】の設定と一致しているか。</li> <li>不定形小サイズの用紙（幅275 mmまたは11.3 inch以下 × 230 mmまたは9.1 inch以下）を使用していないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み取る前に、【色見本】で色見本のサイズを正しく指定してください。</li> <li>読み取る前に、【色合わせ前】で印刷済み原稿のサイズを正しく指定してください。</li> <li>本機にセットした用紙の向きを変更し、【副走査】を指定し直し、読み込みを実行します。</li> </ul> <p>詳しくは、P.64「色見本合わせのデータを準備する」を参照してください。</p>
<p>【カスタム測色】で頻繁に用紙が詰まるとき：</p> <p>印刷したチャートの用紙サイズは、指定した測色用チャートの【サイズ】と一致しているか。</p>	<p>指定した測色用チャートの【サイズ】がチャートを印刷するために指定した用紙のサイズと一致していることを確認してください。</p> <p>サイズが合わないときは、用紙を交換するか、用紙サイズに応じた測色用チャートを指します。</p> <p>詳しくは、P.100「測色用チャートを確認する」を参照してください。</p>

## ↓ 補足

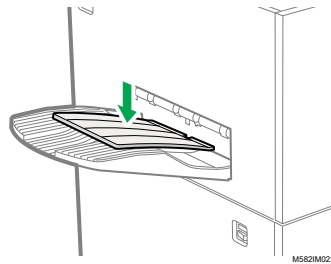
- 【読み取り設定】と【副走査】には、本機にセットする用紙の副走査方向の用紙の長さを入力します。



m582om9550\_1

## 用紙がきれいに排紙されないとき

読み込んだチャートや文書が丸まって排紙されたり、きれいに積み重ねられなかったりする場合は、付属の補助トレイを使用してください。この状態を解決しないと、紙詰まりを起こすことがあります。









# 株式会社リコー

東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555  
<http://www.ricoh.co.jp/>



## お問い合わせ

お買い上げいただきました弊社製品についての操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

転居の際は、販売店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店をご紹介します。

